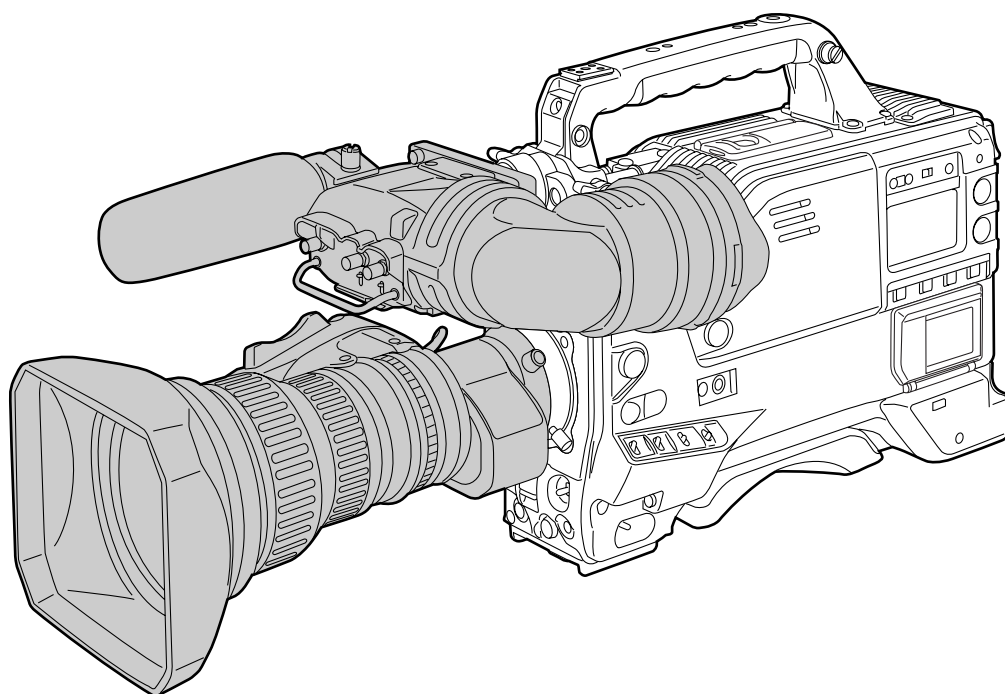


取扱説明書

カメラレコーダー

品番 AJ-SDX900

DVCPRO 50



このたびは、カメラレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(5～7ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

ご不要になった充電式電池はリサイクルへ



本製品には充電式電池を使用しております。
ご不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために
廃棄しないでリサイクルにご協力ください。
リサイクルに関するお問い合わせ先は、裏表紙をご参照
ください。

製造番号は、品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

次の点にご留意ください。

- ・重要な記録の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- ・ビデオカメラ、本機およびテープの使用時、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の保証についてはご容赦ください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">● Unislot は池上通信機株式会社の登録商標です。● ドルビー、DOLBY およびダブル D 記号 DD ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。● その他会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。 |
|---|

目次

安全上のご注意	5	4-5 タイムデータの設定	34
第1章 概要	8	4-5-1 ユーザーズビットの設定	34
1-1 カメラ部の特長	8	4-5-2 内蔵時計の日付/時刻の設定	35
1-2 VTR 部の特長	9	4-5-3 タイムコードの設定	36
1-3 システム構成	10	4-5-4 タイムコードを外部ロックさせる	36
第2章 各部の名称と機能	11	4-5-5 UMID 情報の設定	37
2-1 電源部及びアクセサリ取り付け部	11	4-6 ビューファインダー画面上のメニュー表示	38
2-2 音声機能部	12	4-6-1 メニューの構成	38
2-3 撮影・記録/再生機能部	14	4-6-2 メニューの基本操作	38
2-4 メニュー操作部	16	4-6-3 USER MENU の選択	39
2-5 タイムコード関連部	17	4-7 ビューファインダーの状態表示	40
2-6 警告/状態表示部	18	4-7-1 ビューファインダーのランプ表示	40
2-7 表示窓内表示	18	4-7-2 ビューファインダー画面の状態表示の構成 ..	40
2-8 ビューファインダー部	20	4-7-3 ビューファインダー画面の表示項目の選択 ..	40
第3章 記録と再生	21	4-7-4 表示モードと設定変更/調整結果メッセージ ..	45
3-1 カセットテープについて	21	4-7-5 マーカー表示の設定	45
3-2 基本手順	22	4-7-6 カメラ ID の設定	45
3-3 つなぎ撮り	24	4-7-7 状態確認画面の表示 (MODE CHECK ボタン機能)	46
3-4 NEWS REC 機能 (AJ-YA903G 非装着時)	24	4-7-8 マーカー確認画面の表示 (MARKER SELECT ボタン機能)	46
3-5 PRE RECORDING 機能 (AJ-YA903G 装着時)	25	4-7-9 リターンビデオ信号の ビューファインダーでの確認	46
3-6 INTERVAL REC 機能 (AJ-YA903G 装着時および非装着時)	25	4-8 メニューによる各機能のセットアップ ..	47
3-7 RETAKE 機能	27	4-8-1 USER SW GAIN の切換えの設定	47
3-8 レックレビュー機能	27	4-8-2 映像出力信号の選択	47
3-9 通常再生及び変速再生	27	4-8-3 F.AUDIO LEVEL ボリューム機能の選択	48
第4章 記録の為の調整と設定	28	4-8-4 USER MAIN、USER1 及び USER2 ボタンへの機能割り付け	48
4-1 ホワイトバランス/ ブラックバランスの調整	28	4-8-5 マニュアルでの色温度の設定	49
4-1-1 ホワイトバランスの調整	28	4-9 データの取り扱い	49
4-1-2 ブラックバランスの調整	30	4-9-1 セットアップカードの取り扱い	49
4-2 電子シャッターの設定	31	4-9-2 セットアップカードの操作	50
4-2-1 シャッターモードについて	31	4-9-3 ユーザーデータの使い方	53
4-2-2 シャッターモード/スピードの設定	31	4-9-4 シーンファイルデータの使い方	54
4-2-3 シンクロスキャンモードの設定	32	4-9-5 メニュー設定値の USER 標準 設定値への復帰方法	57
4-3 記録信号および記録方式の選択	32	4-9-6 メニュー設定値の工場標準 設定値への復帰方法	57
4-3-1 記録信号の選択	32	4-9-7 レンズファイルデータ	57
4-3-2 記録方式の選択	32	第5章 準備	58
4-4 音声入力の選択とレベルの調整	33	5-1 電源の供給	58
4-4-1 音声入力信号の選択	33	5-1-1 バッテリーの取り付けおよび設定	58
4-4-2 録音レベルの調整	33	5-1-2 AC 電源の使用	61
4-4-3 CH3/CH4 の録音レベルについて	34	5-2 ビューファインダーの取り付け および位置調整	61
		5-3 レンズの取り付けおよびフランジバック 調整とホワイトシェーディング調整	62
		5-4 音声入力の準備	66
		5-4-1 フロントマイクを使用する場合	66
		5-4-2 ワイヤレスレシーバーを使用する場合	67
		5-4-3 オーディオ機器を使用する場合	68

目次



5-5	三脚への取り付け	68	7-4	VF	88
5-6	ショルダーベルトの取り付け	69	7-4-1	VF DISPLAY	88
5-7	ショルダーパッドの位置調整	69	7-4-2	VF MARKER	89
5-8	レインカバーの取り付け	69	7-4-3	USER BOX	89
5-9	エクステンションコントローラ (AJ-EC3P) の接続	69	7-4-4	VF INDICATOR1	89
5-10	FRONT AUDIO LEVEL つまみノブの取り付け	70	7-4-5	VF INDICATOR2	90
第6章	保守・点検	71	7-4-6	MODE CHECK IND	90
6-1	撮影前の点検	71	7-4-7	ILED	90
6-1-1	点検の準備	71	7-5	OPERATION	91
6-1-2	カメラ部の点検	71	7-5-1	CAMERA ID	91
6-1-3	VTR 部の点検	72	7-5-2	SHUTTER SPEED	91
6-1-4	自己診断機能	73	7-5-3	SHUTTER SELECT	91
6-2	メンテナンス	74	7-5-4	USER SW	92
6-2-1	結露	74	7-5-5	SW MODE	92
6-2-2	ヘッドクリーニング	74	7-5-6	WHITE BALANCE MODE	93
6-2-3	ビューファインダー内のクリーニング	74	7-5-7	USER SW GAIN	93
6-2-4	CCD カメラ特有の現象について	74	7-5-8	IRIS	94
6-2-5	バックアップ電池の交換	74	7-6	FILE	94
6-2-6	コネクタ信号の内容	75	7-6-1	CARD READ/WRITE	94
6-3	警告システム	76	7-6-2	CARD R/W SELECT	94
6-3-1	警告内容一覧	76	7-6-3	LENS FILE	95
6-3-2	エラーコード	78	7-6-4	SCENE	95
6-3-3	EMERGENCY イジェクト	78	7-6-5	INITIALIZE	95
第7章	MENU 一覧	79	7-7	MAINTENANCE	95
7-1	メニューの構成	79	7-7-1	SYSTEM CHECK	95
7-2	SYSTEM SETTING	80	7-7-2	DIAGNOSTIC	95
7-2-1	SYSTEM MODE	80	7-7-3	LENS ADJ	95
7-2-2	OPTION MODE	81	7-7-4	BLACK SHADING	96
7-2-3	REC FUNCTION	81	7-7-5	WHITE SHADING	96
7-2-4	OUTPUT SEL	82	7-8	VTR MENU	96
7-2-5	GENLOCK	82	7-8-1	VTR FUNCTION	96
7-3	PAINT	83	7-8-2	BATTERY/TYPE	97
7-3-1	ROP	83	7-8-3	BATTERY SETTING1	97
7-3-2	MATRIX	83	7-8-4	BATTERY SETTING2	99
7-3-3	COLOR CORRECTION	84	7-8-5	MIC/AUDIO1	100
7-3-4	LOW SETTING	84	7-8-6	MIC/AUDIO2	101
7-3-5	MID SETTING	85	7-8-7	TC/UB	101
7-3-6	HIGH SETTING	85	7-8-8	UMID SET/INFO	102
7-3-7	ADDITIONAL DTL	86	7-8-9	VTR DIAG	102
7-3-8	SKIN TONE DTL	86	7-9	OPTION	102
7-3-9	KNEE/LEVEL	87	7-9-1	OPTION	102
7-3-10	GAMMA	87	第8章	保証とアフターサービス	103
7-3-11	FLARE	87	第9章	定格	104
7-3-12	CAMERA SETTING	88			

安全上のご注意




必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。







■ 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。










警告

機器が濡れたり、水が入らないようにする!  火災や感電の原因になります。 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。	表示された電源電圧以外は使用しない!  火災や感電の原因になります。 禁止	付属品・オプションは、指定の製品を使用する!  本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。
指定のカバー以外は外さない!  感電の原因になります。 分解禁止 ● 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。	機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない!  火災や感電の原因になります。 禁止	乾電池やバッテリーを分解・加熱しない! 火中・水中に投げ入れない!  ショートや破裂、液漏れにより、けがや火傷をす原因になります。 禁止




安全上のご注意

必ずお守りください

警告

<p>本機を改造しない!</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>分解禁止</p>	<p>水場で使用しない!</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>水場 使用禁止</p>	<p>不安定な場所に置かない!</p> <p> 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。</p> <p>禁止</p>
<p>煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く!</p> <p> そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。</p> <p>電源プラグ を抜く</p> <ul style="list-style-type: none">●お買い上げの販売店に修理を依頼してください。	<p>本機を落としたり破損した場合や、内部に異物や水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く!</p> <p> そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。</p> <p>電源プラグ を抜く</p> <ul style="list-style-type: none">●お買い上げの販売店にご相談ください。	<p>電源コード・電源プラグが破損するようなことはしない!</p> <p>傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない!</p> <p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none">●コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
<p>本機を落としたり破損した場合や、内部に異物や水などが入った場合は、電源スイッチを切り、バッテリーを外す!</p> <p> そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none">●お買い上げの販売店にご相談ください。	<p>煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、バッテリーを外す!</p> <p> そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none">●お買い上げの販売店に修理を依頼してください。	<p>乾電池やバッテリーは、極性（+，-）を正しくつなぐ!</p> <p> 破裂や液漏れにより、火災やけが、周囲の汚染原因になります。</p>

注意

<p>電源コードを熱器具に近づけない!</p> <p> コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない!</p> <p> 火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>ぬれた手で電源プラグやコネクターに触れない!</p> <p> 感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>
---	---	---

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意

<p>コードやショルダーベルトを下にたらしさない!</p> <p> 触れたり、引っかけたりすると、落ちてけがをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>専用の AC アダプター以外は使用しない!</p> <p> 定格外の AC アダプターを使用すると、火災の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>運転中や歩行中は、操作や鑑賞をしない!</p> <p> 操作や鑑賞をする場合、必ず車を停止させて行ってください。事故の原因になります。</p> <p>禁止</p>
<p>本機の上に重い物を置かない!</p> <p> バランスがくずれて落下し、けがをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>不安定な場所で、三脚を使わない!</p> <p> 倒れると、けがをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>雷が鳴り出したら、使うのをやめる!</p> <p> 落雷すると、感電死につながります。</p> <p>禁止</p>
<p>使用時は、安定した場所と、十分な体勢を確保する!</p> <p> けがや事故につながる恐れがあります。</p>	<p>お手入れの際は、電源スイッチを切り、バッテリーを外す!</p> <p> 火災や感電の原因になる恐れがあります。</p>	<p>本機の通風孔をふさがない!</p> <p> 内部に熱がこもり、火災の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>本機に乗らない!</p> <p> 倒れたり壊れたりして、けがをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>長時間使用しないときは、バッテリーを外す!</p> <p> 火災の原因になる恐れがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none">● 風通しの悪い所に押し込まないでください。● テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。
<p>1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を!</p> <p> 本機の内部にほこりがたまったまま、使用すると、火災や故障の原因になる恐れがあります。</p>	<p>カセットテープ挿入口に、指をはさまれないように注意する!</p> <p> けがをする恐れがあります。</p> <p>指に注意</p>	<p>プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない!</p> <p> コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>指定外の乾電池やバッテリーは、使用しない!</p> <p> 破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す!</p> <p> コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none">● 必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。

第1章 概要

本機は、プログレッシブ駆動に対応した2/3型オンチップレンズ付き3CCDを搭載したカメラ部とDVCPROおよびDVCPRO50フォーマットに対応したVTR部を一体化したカメラレコーダです。

特に、カメラはインターレース駆動とプログレッシブ駆動の選択が可能で、制作分野での用途を拡大しています。

また本機は、小型で軽量、低消費電力、高画質、高感度、機動性、防塵、防湿性に優れており、ENG用としてもご使用頂けます。

さらにカメラ部、VTR部ともにデジタル信号処理技術を採用しており、画質、安定性の一層の向上を図ると共に、セットアップカードでのデータ管理が図れるシステムを実現しています。

1-1 カメラ部の特長

●プログレッシブ駆動対応2/3型オンチップレンズ付き3CCD搭載

アスペクト比は、16:9と4:3に対応し、インターレース駆動とプログレッシブ駆動の選択を可能にし、制作用途の幅を広げています。

なおVTR部への信号受け渡しは、プログレッシブ駆動時はインターレース信号に変換しています。

●蓄積型高感度機能搭載

プログレッシブ駆動による蓄積型のゲインアップ機能を搭載しています。通常のゲインアップから更に最大20dBの高感度化が可能になります。

●デジタルズーム機能搭載

プログレッシブ機能によるデジタルズーム機能を搭載しております。よりズームアップしたいときに効果を発揮します。

●12ビットA/D変換デジタル信号処理回路搭載

標本化周波数18MHz/36MHz、12ビットのAD変換により映像処理をデジタル化しており、信号処理部は36MHzで動作させることにより、より繊細な映像再現を可能にし、安定性、信頼性を向上させています。

●12軸独立色補正機能搭載

ペイント機能として12軸を独立に色補正する事が可能です。細かな画作りに効果を発揮します。

●フィルムライクガンマ機能搭載

3種類のガンマを選択可能にしています。フィルムライクなガンマを2種類準備しており、制作での映像表現を広げています。

<ノート>

本機はプログレッシブ駆動に対応していますが、CCDの特性上、蓄積型のゲインアップをあげていくと画面左上部がうっすらと明るくなる現象が発生します。またプログレッシブ駆動時は映像信号のダイナミックレンジがインターレース時の約半分になります。

●データ管理機能搭載

本機単独で、1つのユーザーデータと、4つのシーンファイルデータを登録可能です。またセットアップカードとしてSDカード、またはマルチメディアカードを使用する事で、最大8つのセットアップデータを保存する事が可能です。

<ノート>

本機で使用するSDカードおよびマルチメディアカードはSD規格には準拠していません。本機用にフォーマットしたカードは、他の機種では使用しないでください。また、NTFS、FAT32でフォーマットされたカードは使用できません。

なお、カードの推奨容量はSDカードは8Mバイト以上、マルチメディアカードは4Mバイト以上です。

●MARKER SELECT ボタンを搭載

本機の前面部に、ビューファインダー画面上のマーカー情報の確認用ボタンを搭載、撮影時の画角の確認等に有効です。

●ECU 対応

本機は、エクステンションコントロールユニットAJ-EC3Pに対応しています。

●肩パットワンタッチスライド機構搭載

オペレーション状態の最適バランス位置の調整をワンタッチ化しました。

使用レンズ、バッテリー、その他のカメラ周辺機器を装着時のバランスの最適化が容易にできます。

1-2 VTR 部の特長

●DVCPRO/DVCPRO50 フォーマット方式に対応

映像は、最新の圧縮技術を採用したコンポーネントデジタル記録方式で圧縮し、音声は、S/N・周波数帯域・波形特性・微細部分の再現特性などに優れた非圧縮のPCM記録を採用。一層の高画質化、高音質化を実現しています。

なお、画質を優先させる場合はDVCPRO50に、経済性を優先させる場合はDVCPROにと用途に応じた記録フォーマットの選択が可能です。

<ノート>

本機のカメラモードを24P、24PAで使用される場合は、タイムコードと映像の位相関係を5フレームシーケンスで同期させるため、一瞬映像の乱れが発生することがありますので取り扱いには十分ご注意ください。

なお、この映像の乱れは電源ON時から2～3秒後、60i、30Pモードから24P、24PAに切り換えたときなどに発生します。

●パワーセーブマネジメント機能

本機の消費電力を効率的に押さえる為に、各VTRモードに応じて不要な回路を停止する機能を搭載しており、省電力での動作を可能にしています。

●RETAKE 機能

特にニュースやリポート、美術・芸術番組の撮影などでカットのNGが発生した場合に、余分なカットを残さないための機能です。

この機能によりワークテープへのコピー時間の節減など経済的運用に効果を発揮します。

ただし取り扱い時には十分ご注意ください。

●NEWS REC 機能

特にニュース取材やドキュメンタリー撮影でのシャッターチャンスを逃がさず撮影できることを、サポートする機能です。

記録中に一旦記録を停止し、すぐに再度記録の開始をした時に生じるシャッターチャンスの映像抜けを、スタートキーの受け付け時間を制御することで、記録を停止することなく継続して記録をすることを可能にします。

また、プレレコーディングボード(AJ-YA903G)装着時には、NEWS REC機能がPRE REC機能となり、一層強力な機能となります。

●PRE REC 機能 (AJ-YA903G 装着時)

本機は、プレレコーディングボード(AJ-YA903G)を装着時、VTR STARTボタン、またはレンズのVTRボタンを押された時点から最大15秒手前からの映像・音声を記録することが可能になります。撮り損ねの防止に有効です。

●INTERVAL REC 機能・ONE SHOT 記録機能 (AJ-YA903G 装着時)

本機はインターバル撮影が可能です。また、プレレコーディングボード(AJ-YA903G)装着時はメモリー制御で、最短で1フレーム記録(60i、30Pモード時)と5フレーム記録(24P、24PAモード時)が可能になります。特に科学・自然番組の撮影に効果を発揮します。またワンショット記録として使用すれば、ひとコマ撮りが簡単にできます。

●SDI 出力対応 (AJ-YA902AG 装着時)

本機は、SDIアウトボード(AJ-YA902AG)を装着したとき、VIDEO OUT端子からSDI信号を出力することが可能になります。

●音声独立4チャンネル入力対応

本機は音声入力を独立に4チャンネル選択する事ができます。またLCD表示窓で各々のレベルが確認できます。

●FRONT 音声レベル調整ボリューム機構搭載

本機の前面部に、音声記録レベルの微調用ボリュームを装備しています。特にワンマンでの撮影時の音声レベルを調整する時に有効です。なお、このボリュームを無効にする事も可能です。

●Unislot ワイヤレス内蔵機構対応

本機は、別売りのスロットインワイヤレスに対応した構造になっております。

●DOLBY NR システム内蔵

CUEオーディオの記録回路には、ドルビーB回路を内蔵しています。

●つなぎ撮り機能

VTR STARTボタン、またはレンズのVTRボタンを押すだけで、+1フレーム以内の精度でつなぎ撮りができます。

●レックレビュー機能

記録した最後の約2～10秒間を、自動的に巻き戻して再生しますので、記録内容の確認を速やかに行うことができます。

●タイムコードジェネレーター/リーダー内蔵

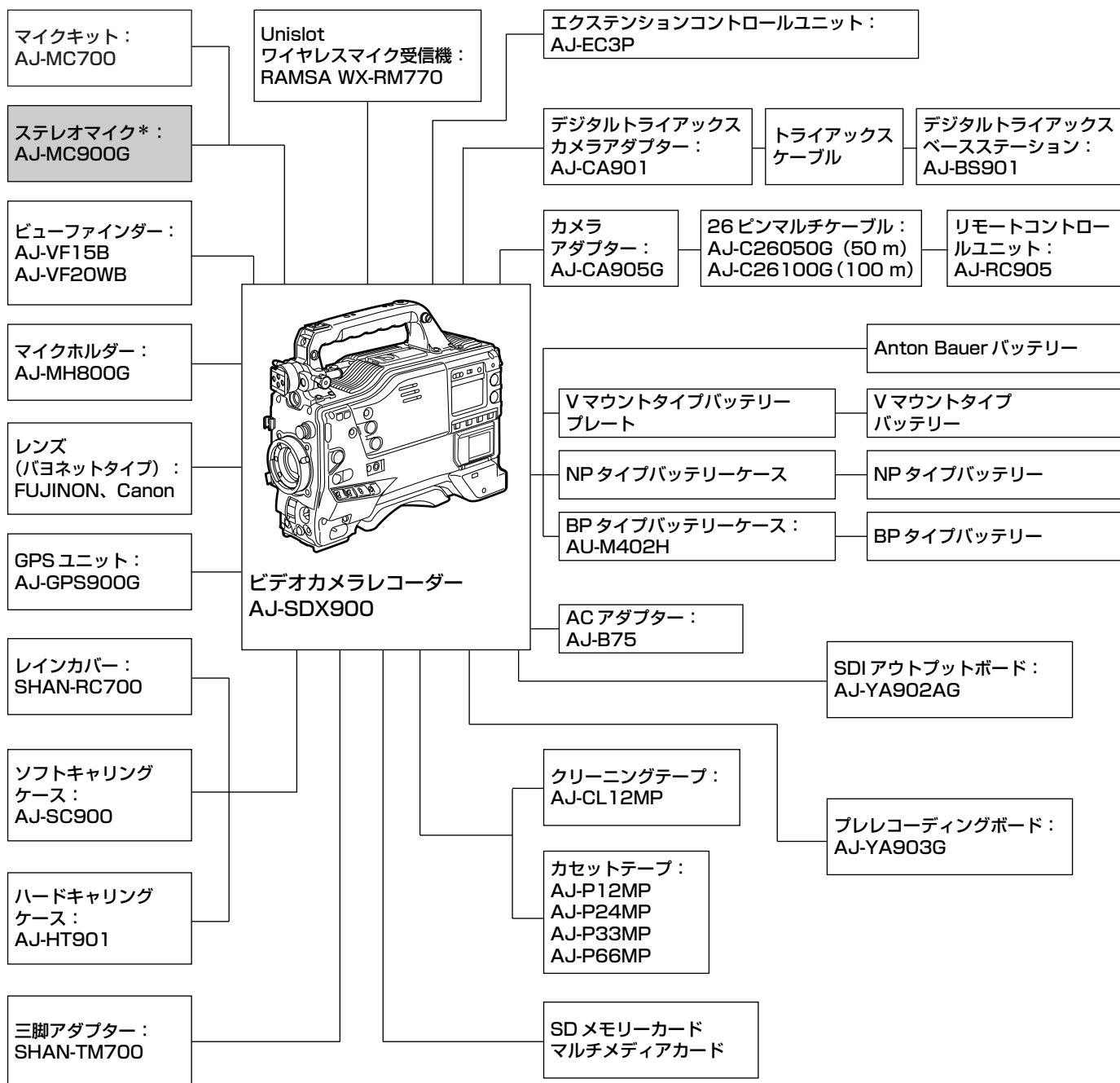
専用のサブコードトラックにタイムコード情報を記録し、再生することができます。

●META DATA 対応

本機は、METADATAのUMID情報として、GPSユニットAJ-GPS900Gからの情報をテープに記録する事が可能です。テープの情報管理としても有効です。

第1章 概要

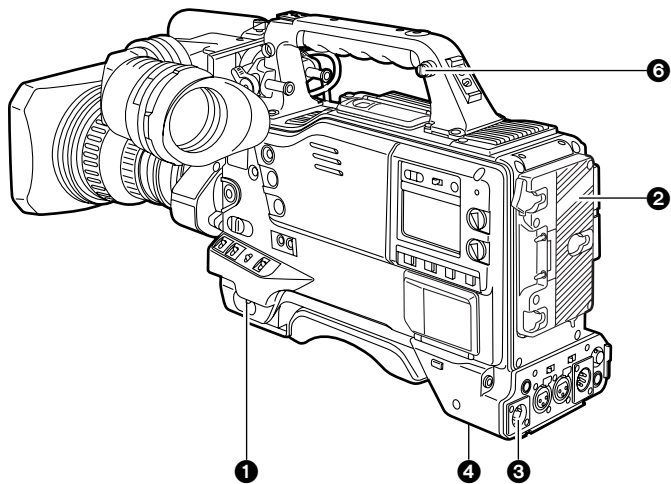
1-3 システム構成



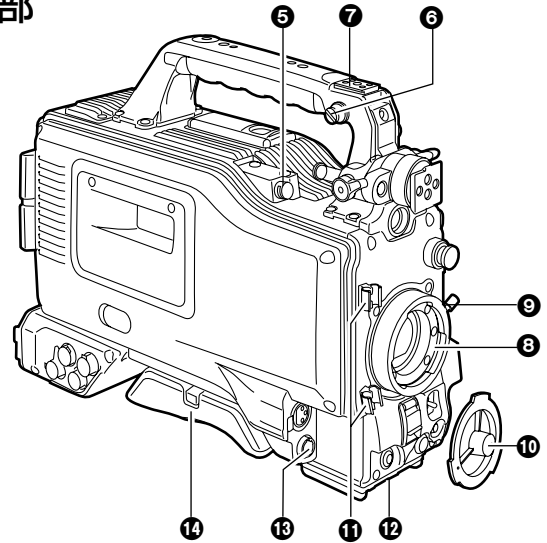
*：ステレオマイクの取り付けには、別途改造が必要になります。詳しくは販売店、または販売店指定のサービス店にお問い合わせください。

第2章 各部の名称と機能

2-1 電源部およびアクセサリ取り付け部



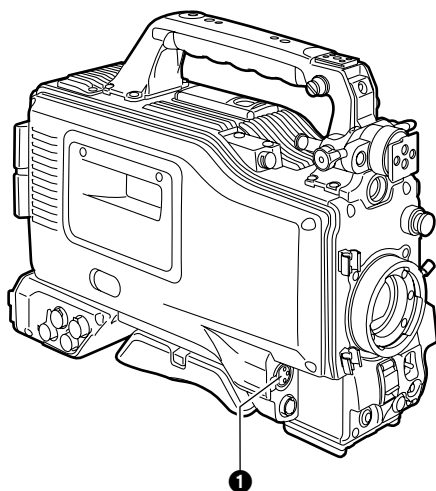
- ① POWER スイッチ**
電源を ON/OFF するスイッチです。
- ② バッテリーマウント**
アントン・パワー製のバッテリーパックを取り付けます。
- ③ DC IN (外部電源入力) 端子 (XLR、4P)**
本機を AC 電源で動作させるとき、AC アダプター AJ-B75 (別売品) と接続します。
- ④ BREAKER スイッチ**
何らかの異常で、本機内部に過大な電流が流れると、ブレーカーが動作して電源が自動的に切れ、機器を保護します。
本機内部の点検および修理を行った後、このボタンを押し込んでください。異常がなければ、再び電源が入ります。
- ⑤ GPS 端子**
別売の GPS ユニット AJ-GPS900G からのコネクタを接続します。
- ⑥ ショルダーベルト取付金具**
ショルダーベルトを取り付けます。
- ⑦ ライトシュー**
ビデオライトなどを取り付けます。
- ⑧ レンズマウント (バヨネット型)**
レンズを取り付けます。
- ⑨ レンズ固定レバー**
レンズをレンズマウントに取り付けたあと、レバーを締めてレンズを固定します。



- ⑩ レンズマウントキャップ**
レンズ固定レバー ⑨ を押し上げて、キャップを取り外します。
レンズを取り付けていないときは、キャップをはめ込んでおきます。
- ⑪ レンズケーブル/マイクロホンケーブルクランプ**
レンズケーブルやマイクロホンケーブルを固定するためのクランプです。
- ⑫ 三脚マウント**
本機を三脚に固定するとき、別売品の三脚アダプター (SHAN-TM700) を取り付けます。
- ⑬ LENS 端子 (12ピン)**
レンズの接続コードをつなぎます。ご使用になるレンズについての詳しい説明は、レンズの取扱説明書をお読みください。
- ⑭ ワンタッチショルダーパッド**
本機を肩に乗せたときのバランスを取るために、このパッドの位置を前後に調整できます。

第2章 各部の名称と機能

2-2 音声機能部 (入力系)



① MIC IN (マイク入力) 端子 (XLR、3ピン)

マイクロホン (別売品) を接続します。マイク用の電源はこの端子から供給されます。

ステレオマイクの使用も可能ですが、ステレオマイク端子への変換が必要になりますので、販売店、または販売店指定のサービス店までご相談ください。

② AUDIO LEVEL CH 1/CH 2 (音声チャンネル1/2 録音レベル調整) つまみ

AUDIO SELECT CH 1/CH 2 スイッチ ③ を「MAN」にすると、これらのつまみで音声チャンネル1・2の録音レベルが調整できます。

なお、つまみのロック機構を設けていますので、調整する時はつまみを押し込みながら回して調整してください。

③ AUDIO SELECT CH 1/CH 2 (音声チャンネル1/2 自動/手動レベル調整切り替え) スイッチ

音声チャンネル1/2の録音レベルを調整する方法を選びます。

AUTO : 自動調整をします。

MAN : 手動調整をします。

④ AUDIO IN (音声入力切り替え) スイッチ

音声チャンネル1/2/3/4に録音する入力信号を選びます。

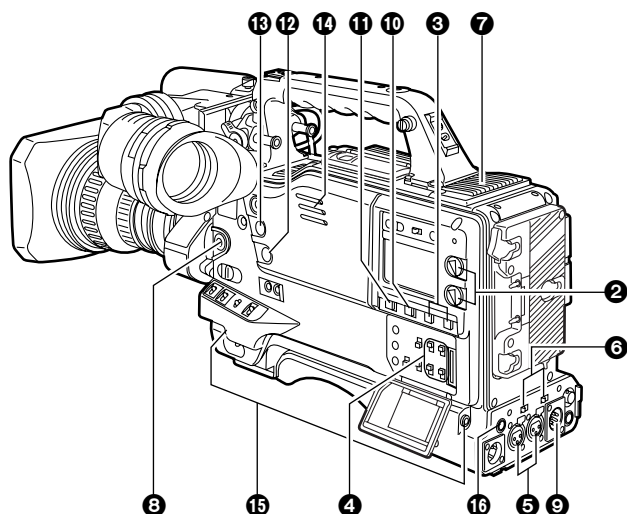
FRONT : MIC IN 端子 ① に接続したマイク入力信号を録音します。

W.L. (WIRELESS) : スロットインワイヤレスからの入力信号を録音します。

REAR : AUDIO IN CH 1/CH 2 端子 ⑤ に接続したオーディオ機器からの音声入力信号を録音します。

<ノート>

ステレオマイク (AJ-MC900G・別売品) を使用する場合、CH1、CH2の両方を「FRONT」にしてください。L CHはCH1に、R CHはCH2にそれぞれ記録されません。



⑤ AUDIO IN CH 1/CH 2 (音声入力チャンネル1/2) 端子 (XLR、3ピン)

オーディオ機器または、マイクロホンを接続します。

⑥ LINE/MIC/+48V (ライン入力/マイク入力/マイク入力+48V) 切り替えスイッチ

AUDIO IN CH 1/CH 2 端子 ⑤ に接続した音声入力信号を切り替えます。

LINE : ライン入力するオーディオ機器からの音声入力信号

MIC : 内部電源供給方式のマイクからの音声入力信号 (本体からファントムマイク用の電源を供給しません)

+48V : 外部電源供給方式のマイクからの音声入力信号 (本体からファントムマイク用の電源を供給します)

⑦ ワイヤレススロット

Unislots ワイヤレスレシーバー (別売) を取り付けることができます。

⑧ FRONT AUDIO LEVEL (音声録音レベル調整) つまみ

音声チャンネル1および2の録音レベルが調整できます。AUDIO SELECT スイッチの位置に関係なくレベルの調整が可能です。

なお、メニュー操作でVTR MENU ページから<MIC/AUDIO1>画面を開き、FRONT VR CH1とFRONT VR CH2の項目で、このボリュームの操作を有効にするか無効にするかを設定できます。

第2章 各部の名称と機能

2-2 音声機能部（出力系）

⑨ AUDIO OUT 端子（XLR、5ピン）

音声チャンネル 1/2、または音声チャンネル 3/4 に記録された音声信号を出力します。
出力される信号は、MONITOR SELECT の CH1/2 / CH3/4 切り替えスイッチで選択します。

⑩ MONITOR SELECT（音声チャンネル選択）

CH1/2 / CH3/4 切り替えスイッチ

スピーカー、イヤホン及び AUDIO OUT 端子に出力される音声チャンネルを切り替えます。

CH1/2：音声チャンネル 1 及び 2 の信号を出力します。

CH3/4：音声チャンネル 3 及び 4 の信号を出力します。

また、このスイッチに連動して、表示窓とビューファインダー内のオーディオレベルメーターのチャンネル表示が切り替わります。

⑪ MONITOR（音声選択）CH1/3 / ST / CH2/4 切り替えスイッチ

MONITOR SELECT スwitch に連動して、スピーカー、イヤホン及び AUDIO OUT 端子からの音声出力を選択します。

CH1/3：音声チャンネル 1 か音声チャンネル 3 の信号を出力します。

ST：音声チャンネル 1 と 2 のステレオ音声信号か音声チャンネル 3 と 4 のステレオ音声信号が出力されます。なお、メニュー設定でステレオ音声 MIX 信号に変更が可能です。

CH2/4：音声チャンネル 2 か音声チャンネル 4 の信号を出力します。

MONITOR スイッチ	MONITOR SELECT スイッチ	
	CH1/2	CH3/4
CH1/3	音声チャンネル 1	音声チャンネル 3
ST	音声チャンネル 1 と 2 のステレオ*	音声チャンネル 3 と 4 のステレオ*
CH2/4	音声チャンネル 2	音声チャンネル 4

*メニュー操作で VTR MENU ページから <MIC/AUDIO 2> 画面を開き MONITOR SELECT 項目で STEREO か MIX の切り替えが可能です。

⑫ MONITOR（音量調整）つまみ

モニタースピーカーやイヤホンの音量を調節します。

⑬ ALARM（警告アラーム音量調節）つまみ

スピーカー ⑭ または、PHONES 端子 ⑮ に接続したイヤホンからの警告アラーム音量を調節します。
最小の位置にすると、警告アラームは聞こえません。

⑭ スピーカー

記録中は EE 音声を、再生中は再生音をモニターできます。警告ランプや警告表示の点滅・点灯にあわせて警告アラームを出します。

PHONES 端子 ⑮ にイヤホンを接続すると、スピーカーからの音は自動的に切れます。

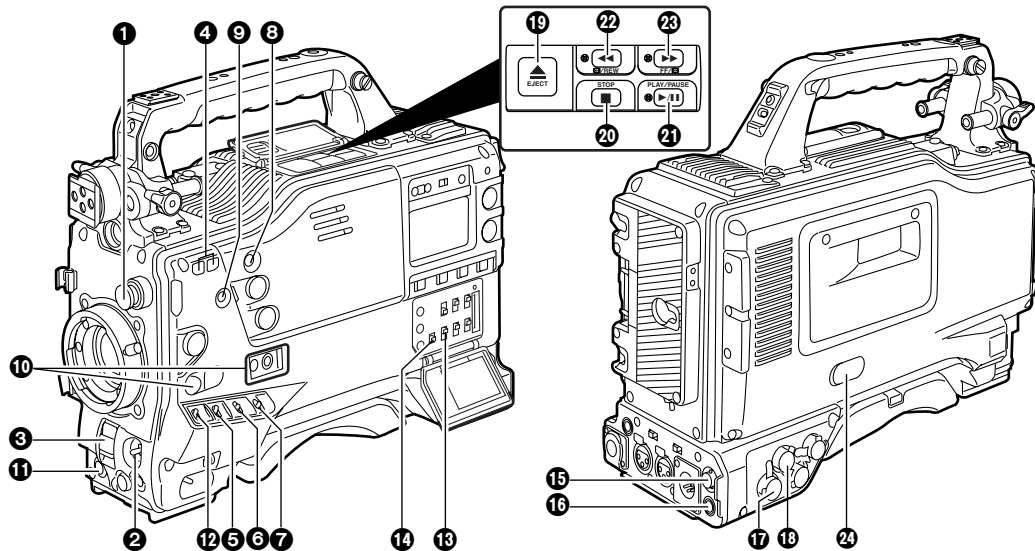
⑮ PHONES（イヤホン）端子（ミニジャック）

オーディオモニター用イヤホン（ステレオ）端子です。イヤホンを接続すると、スピーカーからの音声は自動的に切れます。出力する音声は両端子（フロント側、リア側）とも同じです。

⑯ DC OUT（DC 電源）出力端子

DC 12 V の出力端子です。最大 1 A の電流を取り出すことができます。

第2章 各部の名称と機能



2-3 撮影・記録/再生機能部

撮影・記録 (カメラ部)

① CC FILTER/ND FILTER (フィルター切り替え)

つまみ

被写体の照度や色温度に合わせてフィルターを選択します。

CC FILTERつまみ (外形、大径)

A : クロスフィルター B : 3200K
C : 4300K D : 6300K

ND FILTERつまみ (内形、小径)

1 : CLEAR (素通し) 2 : 1/4 ND
3 : 1/16 ND 4 : 1/64 ND

■ 撮影条件に応じたフィルターの選択例

撮影条件	CC フィルター	ND フィルター
日の出、日没、スタジオ内	B (3200 K)	1 (CLEAR)
晴天の屋外	C (4300 K) または D (6300 K)	2 (1/4 ND) または 3 (1/16 ND)
曇天・雨天の屋外	D (6300 K)	1 (CLEAR) または 2 (1/4 ND)
雪景色、高い山、海辺など、澄み切っていて明るい景色	C (4300 K) または D (6300 K)	3 (1/16 ND) または 4 (1/64 ND)

② AUTO W/B (WHITE/BLACK) BAL スイッチ

AWB : ホワイトバランスを自動調整します。

側面の AWB メモリー切り替えスイッチを A、または B の位置にしてこのスイッチを操作すると、調整された値がメモリーに記録されます。AWB A、AWB B メニューで VAR が選択されている場合は、メニューで設定された値となり動作しません。また PRST の位置のときも動作しませんのでご注意ください。

ABB : ブラックバランスを自動調整します。

5 秒間以上 AUTO W/B BAL スイッチを ABB 側に押し続けると、ブラックシェーディングを自動的に補正します。

<ノート>

ホワイトバランスやブラックバランスの自動調整を行っているときに、再度 AWB 側や ABB 側に切り替えると、それぞれの自動調整を中止します。このときの調整値は、自動調整を行う前の値になります。

③ SHUTTER スイッチ

電子シャッターの ON/OFF 切り替えスイッチです。

OFF: 電子シャッターは動作しません。

ON : 電子シャッターが動作します。

SEL: 電子シャッターのスピードを変更するときに、使用します。

このスイッチは、跳ね返りスイッチになっています。操作するごとに、シャッタースピードが変化します。くわしくは、「4-2 電子シャッターの設定」の内容を参照してください。

④ シンクロスキャン調整スイッチ

SHUTTER スイッチ ③ を「ON」にし、SYNCHRO SCAN が選択されているときに有効です。

シンクロスキャンのスピードを調整するスイッチです。

－のスイッチを押すとシャッタースピードが遅くなり、＋のスイッチを押すとシャッタースピードが速くなります。

パソコンモニター撮影などでは、ビューファインダー内の横バーノイズが少なくなる位置に調整してください。

⑤ GAIN 切り替えスイッチ

撮影時の照明の状態に合わせて、映像アンプのゲインを切り替えます。

L、M、H の設定に対するゲイン値は、あらかじめ設定メニューで指定します。

出荷時の設定は L=0dB、M=9dB、H=18dB です。

⑥ OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチ

カメラ部からVTR部、ビューファインダー、ビデオモニターへ出力する映像信号の選択スイッチです。

CAM. AUTO KNEE ON :

カメラで撮影している映像が出力されます。
AUTO KNEE 回路が動作します。

CAM. AUTO KNEE OFF :

カメラで撮影している映像が出力されます。
MANUAL KNEE になります。

BARS :

カラーバー信号が出力されます。
AUTO KNEE 回路は動作しません。

AUTO KNEE 機能

高輝度の背景で人物や風景などにレベルを合わせて撮影すると、背景が白くつぶれ、背景にある建物や風景がぼやけてしまいます。このようなときに AUTO KNEE 機能を動作させると、背景がくっきりと再現できます。AUTO KNEE 機能は次のような場面の撮影に効果を発揮します。

- 晴天時に日陰の人物を撮るとき
- 車内または屋内の人物と窓越しの屋外の風景を同時に撮影したいとき
- コントラストの強い場面を撮るとき

⑦ WHITE BAL (ホワイトバランスメモリー切り替え) スイッチ

ホワイトバランスの調整方法を切り替えます。

PRST : ホワイトバランスを調整する時間がないときなど、この位置に設定にします。
工場出荷時は、3200K に設定しています。
メニュー設定で任意の色温度に変更が可能です。くわしくは「4-8-5 マニュアルでの色温度設定」を参照ください。

A または B : AUTO W/B BAL スイッチ ② を「AWB」側に押しすとホワイトバランスが自動的に調整され、調整値がメモリー A、またはメモリー B に記憶されます。くわしくは「4-1-1 ホワイトバランスの調整」を参照ください。

工場出荷時は、メモリー割り当てに設定されています。
メニュー設定で自動追尾方式のオートトラッキングホワイトバランス (ATW) は B に、あるいは任意の色温度を A、B 各々に割り当てる事も可能です。

くわしくは「4-8-5 マニュアルでの色温度設定」を参照ください。

⑧ MODE CHECK ボタン

このボタンを押す度に、カメラの設定状態として4つの画面表示 (STATUS 画面表示、!LED 画面表示、FUNCTION 画面表示、AUDIO 画面表示) がビューファインダー上に切り替わり表示されます。
カメラの出力信号には影響ありません。

⑨ MARKER SELECT ボタン

ビューファインダー画面上のマーカー情報表示を切り替えます。メニューで設定された A、B の2種類のマーカー情報表示画面を、このボタンを押す毎に A (A マーカー表示) → B (B マーカー表示) → OFF (マーカー表示なし) を繰り返します。なお、電源 ON 時は電源 OFF する直前の状態で表示されます。
くわしくは「4-7-8 マーカー確認画面の表示」を参照ください。

⑩ USER MAIN、USER1/USER2 ボタン

ユーザーの設定を、設定メニューでそれぞれのボタンに割り付けることができます。ボタンを押すことで、割り付けられているユーザーの設定モードに切り替わります。再度押すと、切り替わったモードが解除されます。

撮影・記録/再生機能部 (VTR 部)

⑪ VTR START/STOP ボタン

押すと記録が始まり、再度押すと記録が停止します。
このボタンは、レンズ側の VTR ボタンと同じ動きをします。

⑫ VTR SAVE/STBY (テープ保護) スイッチ

VTR が記録を一時停止 (REC PAUSE) しているときの、電源供給状態を切り替えます。

SAVE : テープ保護モードです。ハーフローディング状態でシリンダーを停止させています。

STBY 時より電力消費も少なく、バッテリーでの動作時間も長くなります。なお、VTR START ボタン ⑪ を押してから記録開始までは、STBY 時より時間がかかります。

この位置にすると、ビューファインダー内の VTR SAVE ランプが点灯します。

STBY : VTR START ボタンを押すと、すぐに記録が始まります。

<ノート>

STBY の状態で所定の時間が経過すると、本機は自動的に SAVE 状態になります。再び STBY の状態に戻すには、この VTR SAVE/STBY スイッチを一度「SAVE」の位置にし、再度「STBY」の位置に戻してください。

⑬ OUTPUT SEL (出力信号切り替え) スイッチ

VIDEO OUT 端子及び MON OUT 端子の出力信号を切り替えます。

VTR : 記録など EE 時は、カメラ映像を出力し、再生など VV 時は VTR の再生信号を出力します。

CAM : 常にカメラ映像を出力します。

OFF : 映像出力を停止します。電力削減モードとなります。

なお、音声出力も映像に同期します。

映像出力の種類は、「4-8-2 映像出力信号の選択」を参照ください。

第2章 各部の名称と機能

- 14 VIDEO OUT CHARACTER スイッチ**
VIDEO OUT 端子から出力される映像へのキャラクターの重畳を制御します。

ON : キャラクターを重畳します。
OFF : キャラクターを重畳しません。

なおキャラクターの種類は、「4-8-2 映像出力信号の選択」を参照ください。

- 15 VIDEO OUT (ビデオ信号出力) 端子**
映像の出力端子です。OUTPUT SEL スイッチに連動した映像が出力されます。

- 16 ECU (リモートコントロール) 端子**
エクステンションコントロールユニット AJ-EC3P (別売品) を接続します。

- 17 MON OUT (モニター出力) 端子**
モニター用映像の出力端子です。OUTPUT SEL スイッチに連動した映像が出力されます。ただし、キャラクターの重畳は、VIDEO OUT 端子とは独立に内部の MENU で設定が可能です。くわしくは、「4-8-2 映像出力信号の選択」を参照ください。

- 18 GENLOCK IN 端子**
カメラ部にゲンロックをかける時、またはタイムコードを外部ロックする時に基準信号を入力します。また本信号をリターン信号としても使用する事ができます。

<ノート>

入力基準信号は、標準の VBS (バースト付きコンポジット信号) を供給してください。

- 19 EJECT (カセット取り出し) ボタン/ランプ**
カセットの挿入するときや、取り出すときに押します。

- 20 STOP (停止) ボタン**
テープ走行を止めるときに押します。

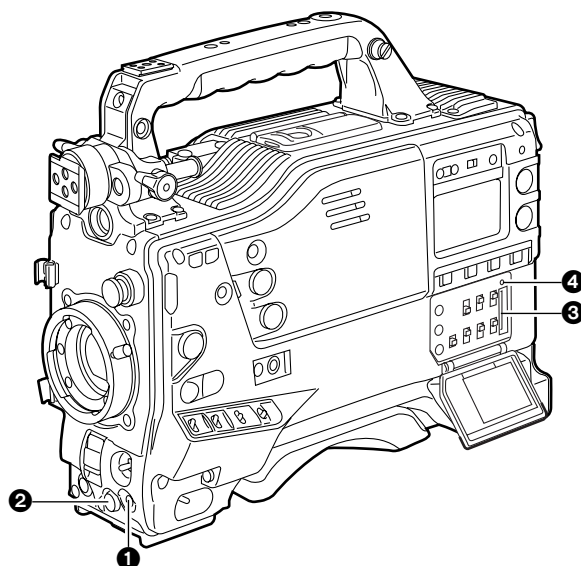
- 21 PLAY/PAUSE (再生/一時停止) ボタン**
ビューファインダー画面上やカラービデオモニターを使って、再生画像を見るときに押します。再生中はランプが点灯します。
再生中に押すと、再生モードでの一時停止 (PLAY PAUSE) となりランプが点滅します。さらに一時停止の状態が続くと、2分後には自動的に停止状態 (STOP) になります。

- 22 REW (巻き戻し) ボタン/ランプ**
停止中に押すと高速の巻き戻し再生になります。このときランプが点灯します。
再生、または一時停止中に押すと約4倍速の巻き戻し再生になります。PLAY ランプと REW ランプが点灯します。

- 23 FF (早送り) ボタン/ランプ**
停止中に押すと高速の早送り再生になります。このときランプが点灯します。
再生、または一時停止中に押すと約4倍速の早送り再生になります。PLAY ランプと FF ランプが点灯します。

- 24 EMERGENCY スクリュー (ゴムキャップ内部)**
EJECT ボタンを押してもカセットを取り出せないときは、ドライバー等で EMERGENCY スクリューを押しながら回すと、カセットを取り出すことができます。くわしくは「6-3-3 EMERGENCY イジェクト」を参照ください。

2-4 メニュー操作部



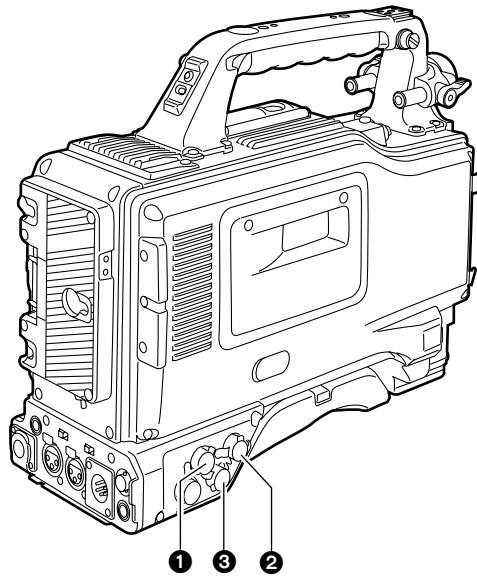
- 1 MENU ボタン**
メニューの ON/OFF 切り替えボタンです。
- 2 JOG ダイヤルボタン**
MENU ボタン 1 を ON にしているときに、各種メニューの選択や設定を行います。
- 3 セットアップカード挿入部**
SD カード (別売) またはマルチメディアカード (別売) の挿入口です。
- 4 BUSY (動作状態表示) ランプ**
セットアップカードの動作状態を表示するランプです。動作時に点灯します。

<ノート>

ランプ点灯時にはカードを入れたり出したりしないでください。

第2章 各部の名称と機能

2-5 タイムコード関連部



① GENLOCK IN 端子 (BNC)

カメラ部にゲンロックをかける時、またはタイムコードを外部ロックする時に基準信号を入力します。

② TC IN 端子 (BNC)

タイムコードを外部ロックするときに、基準となるタイムコードをこの端子に入力します。

③ TC OUT 端子 (BNC)

外部VTRのタイムコードを、本機のタイムコードにロックさせるときに、外部VTRのタイムコード入力 (TC IN) 端子と接続します。

④ HOLD ボタン

押した瞬間に、カウンタ表示部のタイムデータ表示が保持されます。(ただし、タイムコードジェネレータは歩進し続けます) 再度押すと、保持状態が解除されます。あるシーンを撮影したタイムコード、またはCTLカウンタ値を知りたいときなどに使用します。

⑤ RESET ボタン

カウンタ表示部のタイムデータを“00:00:00:00”にリセットします。また、TCGスイッチ⑨を「SET」の位置にして、このボタンを押すと、タイムコードデータやユーザーズビットデータをそれぞれ“00:00:00:00”、“00:00:00:00”にリセットします。

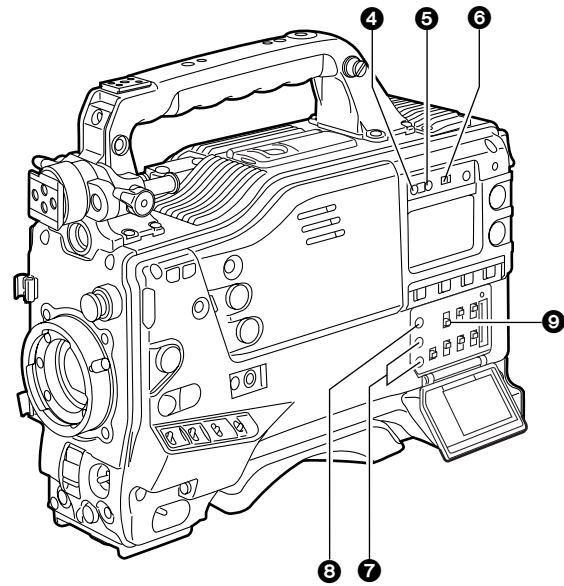
⑥ DISPLAY (LCD表示切り替え) スイッチ

このスイッチとTCGスイッチ⑨の設定位置に応じて、タイムコードやCTL、ユーザーズビットをカウンタ表示部に表示させます。

UB : ユーザーズビットを表示します。

TC : タイムコードを表示します。

CTL : CTLを表示します。



⑦ UP (+)、DOWN (-) ボタン

タイムコードやユーザーズビットの設定時に、SHIFTボタン⑧で点滅させた桁の数値を1つつ増減させます。

⑧ SHIFT ボタン

タイムコードやユーザーズビットの設定時に、設定したい桁を点滅させます。

⑨ TCG (タイムコード切り替え) スイッチ

内蔵タイムコードジェネレータの歩進モードを設定します。

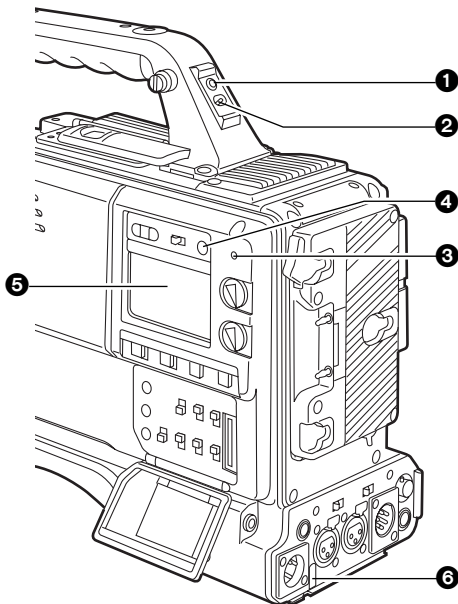
F-RUN : VTRの操作に関係なく、連続してタイムコードを歩進させるときに使用します。タイムコードを時刻に合わせたり、タイムコードを外部ロックさせるときなどに、この位置にします。

SET : タイムコードやユーザーズビットを設定するときを使用します。

R-RUN : 記録中のみにタイムコードを歩進させるときに使用します。つなぎ撮りをしたテープ上のタイムコードは、連続して記録されます。

第2章 各部の名称と機能

2-6 警告/状態表示部



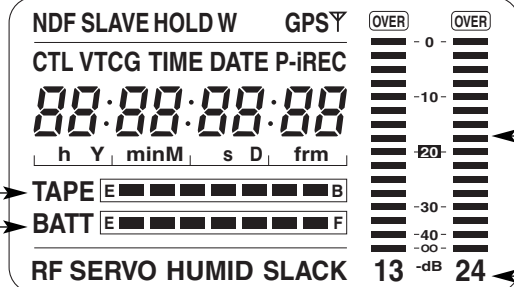
- ① BACK TALLY (バックタリー) ランプ**
 バックタリースイッチ ② を「ON」に設定すると、ビューファインダーのフロントタリーランプと同じ動作をします。
- ② BACK TALLY (バックタリー) スイッチ**
 BACK TALLY ランプ ① と REAR TALLY ランプ ⑥ の働きをコントロールします。
ON : バックタリーランプとリアタリーランプが動作します。
OFF : バックタリーランプとリアタリーランプが動作しません。
- ③ WARNING ランプ**
 VTR 部に何らかの異常が発生すると、点滅または点灯します。
- ④ LIGHT ボタン**
 表示窓の照明をコントロールします。
 押すごとに表示窓 ⑤ の照明の点灯/消灯を切り換えます。
- ⑤ 表示窓**
 VTR 部に関する、警告・バッテリー残量・音声レベル・タイムデータなどを表示します。
- ⑥ REAR TALLY (リアタリー) ランプ**
 BACK TALLY スイッチを ON に設定すると、バックタリーランプと同様に動作します。

2-7 表示窓内表示

テープ残量、バッテリー残量、音声レベルの表示

テープ残量表示:

テープ残量を7個のセグメントで表示します。
 1個のセグメントが示すテープ残量時間は、VTR MENU <BATTERY/TAPE> 画面の TAPE REMAIN/■ で3分または5分に設定します。設定された時間ごとに、セグメントが1個ずつ消えていきます。



バッテリー残量表示

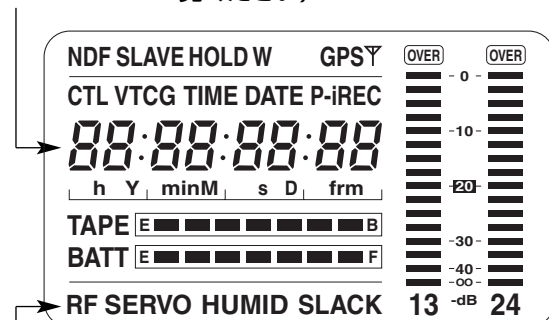
デジタル表示 (%表示) のバッテリーを使用した場合、バッテリー残量が70%以上のときに「F」の位置までセグメントが7個点灯します。
 バッテリー残量が70%未満より、10%減る毎にセグメントが1個ずつ消えていきます。VTR MENU の <BATTERY/TAPE> 画面の BATT REMAIN FULL で 100% を選択すると 100% でセグメントを7個点灯する設定にすることも可能です。

音声チャンネルレベルメーター

MONITOR SELECT CH1/2 / CH3/4 スイッチを CH1/2 に設定すると、音声チャンネル表示数字1と2を表示し、CH1とCH2の音声レベルを表示します。CH3/4 に設定すると、音声チャンネル表示数3と4を表示し、CH3とCH4の音声レベルを表示します。

VTR 部の動作/状態に関する表示

エラーコード表示 (くわしくは「6-3 警告システム」をご覧ください)



警告表示

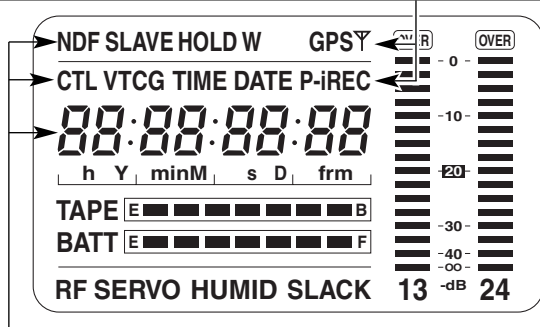
RF: ビデオヘッドの目詰まり
 SERVO: サーボの乱れ
 HUMID: ヘッドドラムの結露発生
 SLACK: テープの巻き取り異常

くわしくは「6-3 警告システム」をご覧ください。

第2章 各部の名称と機能

モード表示

W: 16:9モード時に点灯
GPS: GPS 動作中、受信できていないときに点灯
GPS Y: GPS 動作中、受信しているときに点灯
P-REC: プリレコーディングモード時に点灯し、記録のタリールランプ消灯後、プリレコーディング設定時間内は点滅
iREC: インターバルレックモード時で記録中は点灯、記録待機中は点滅
i: インターバルレックモードを選択時に点滅



タイムコードに関する表示

NDF: タイムコードがノンドロップフレーム時に点灯
DF: タイムコードがドロップフレーム時に点灯
SLAVE: タイムコードが外部ロック時に点灯
HOLD: タイムコードジェネレーター/リーダー値をホールドした時に点灯
CTL: DISPLAYスイッチでCTLを選択し、CTLカウント値を表示時に点灯
TCG: DISPLAYスイッチでTC(もしくはUB)を選択し、TC(もしくはUB)ジェネレーター値を表示時に点灯
TC: DISPLAYスイッチでTC(もしくはUB)を選択し、TC(もしくはUB)リーダー値を表示時に点灯
VTCG: DISPLAYスイッチでUBを選択し、VIUBジェネレーター値を表示時に点灯
VTC: DISPLAYスイッチでUBを選択し、VIUBリーダー値を表示時に点灯
TIME: DISPLAYスイッチでUBを選択し、リアルタイムの时分秒値を表示時に点灯
DATE: DISPLAYスイッチでUBを選択し、リアルタイムの年月日値を表示時に点灯
無表示: DISPLAYスイッチでUBを選択し、リアルタイムのタイムゾーン時分値を表示時は消灯

タイムカウンター表示:

タイムコード、CTL、ユーザーズビット、リアルタイムを表示

<ノート>

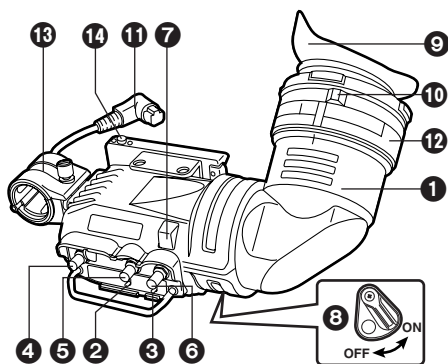
DISPLAYスイッチでUBを選択時、HOLDボタンを押すごとに、VTCG(VTC) → DATE → TIME → 無表示(タイムゾーン) → TCG(TC)を繰り返します。

タイムコード関連スイッチの設定と表示項目

TCGスイッチの位置	DISPLAYスイッチの位置	表示項目
SET	TCまたは、CTL	タイムコード
	UB	ユーザーズビット
F-RUN または R-RUN	CTL	CTL
	TC	タイムコード
	UB	ユーザーズビット

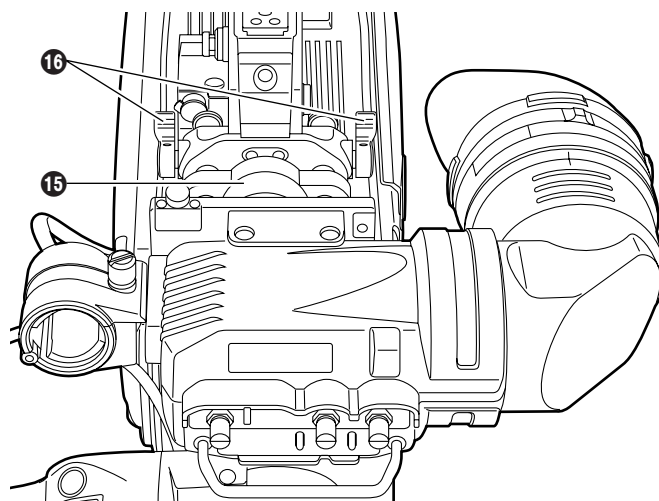
第2章 各部の名称と機能

2-8 ビューファインダー部



- ① ビューファインダー（別売品）**
記録・再生中に、白黒の映像を見ることができます。本機の動作状態や設定に関する警告表示・メッセージ・ゼブラパターン・マーカ（セーフティーゾーンマーカ、センターマーカ）なども見ることができます。
- ② ZEBRA（ゼブラパターン）スイッチ**
ビューファインダー内にゼブラパターンを表示させます。
ON：ゼブラパターンを表示させます。
OFF：ゼブラパターンは表示されません。
- ③ TALLYスイッチ**
フロントタリーランプ **⑦** をコントロールします。
HIGH：フロントタリーランプが明るくなります。
OFF：フロントタリーランプが消灯します。
LOW：フロントタリーランプが暗くなります。
- ④ PEAKING（ピーキング）つまみ**
ピントを合わせやすくするために、ビューファインダー内の映像の輪郭を調整します。カメラの出力信号には影響ありません。
- ⑤ CONTRAST（濃淡）つまみ**
ビューファインダー内の画面の濃淡を調整します。カメラの出力信号には影響ありません。
- ⑥ BRIGHT（明るさ）つまみ**
ビューファインダー内の画面の明るさを調整します。カメラの出力信号には影響ありません。
- ⑦ フロントタリーランプ**
TALLYスイッチ **③** が「HIGH」または「LOW」の位置のときに動作し、VTR部の記録中に点灯します。また、ビューファインダー内のRECランプと同様に点滅し、警告表示も行います。
点灯時の明るさは、TALLYスイッチ（HIGHまたはLOW）で切り替えることができます。

- ⑧ バックタリーランプ**
VTR部の記録中に点灯します。また、ビューファインダー内のRECランプと同様に点滅し、警告表示も行います。レバーをOFF側にすると、バックタリーランプが隠れます。
- ⑨ アイピース**
- ⑩ 視度調整リング**
カメラマンの視度に合わせて、ビューファインダー画面上の映像が最もはっきり見えるように調整します。
- ⑪ 接続プラグ**
- ⑫ ロックリング**
- ⑬ マイクホルダー**
- ⑭ ビューファインダーストッパー**
ビューファインダーの取り付け、取り外しに使用します。



- ⑮ ビューファインダー左右位置固定リング**
ビューファインダーの左右の位置を調整するとき使用します。
- ⑯ ビューファインダー前後位置固定レバー**
ビューファインダーの前後の位置を調整するとき使用します。

<ノート>

くわしくは「5-2 ビューファインダーの取り付けおよび位置調整」を参照ください。

第3章 記録と再生

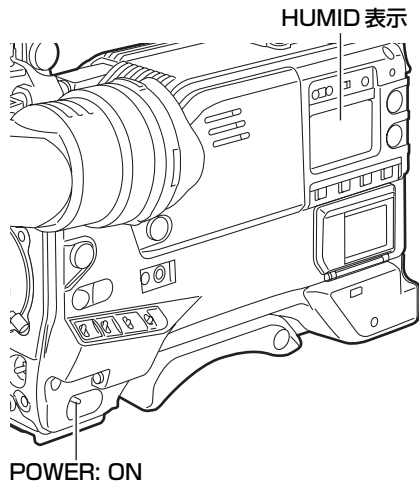
3-1 カセットテープについて

カセットテープを入れる

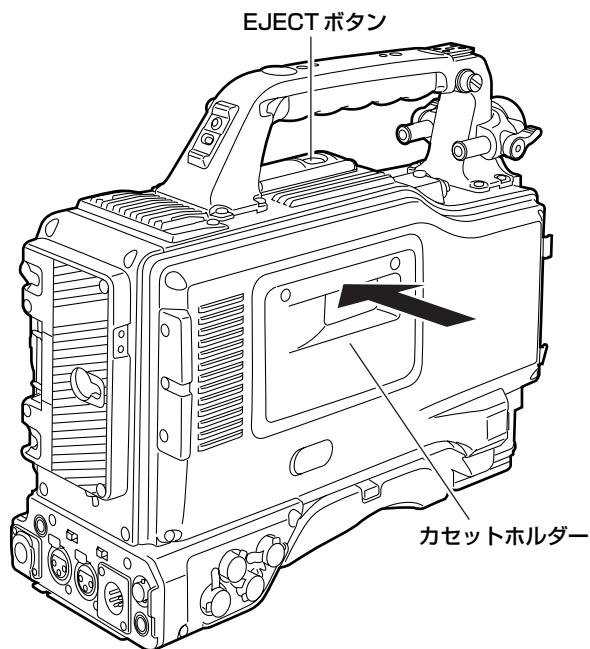
1 POWER スイッチを ON にします。

<ノート>

内部に結露が発生していると、HUMID 表示が点灯します。HUMID 表示が消えるまで待ち、操作を行ってください。



2 EJECT ボタンを押します。
カセットホルダーが開きます。



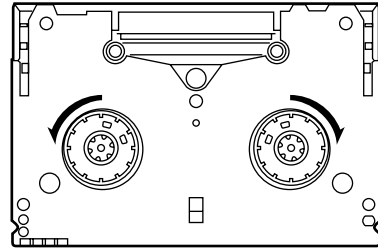
3 カセットテープを挿入し、矢印の部分を押して、カセットホルダーをしっかりと閉めます。

<ノート>

テープにたるみがないことを確認してください。

テープのたるみを確認する

指でリールを押し込みながら矢印の方向へ軽く回し、リールが回らなければテープのたるみはありません。



カセットテープを取り出す

電源が入った状態で EJECT ボタンを押してカセットホルダーを開け、カセットテープを取り出します。取りだし後すぐに、再びカセットを挿入しない場合は、カセットホルダーを閉めておいてください。

バッテリー消費時のカセットの取り出しについて

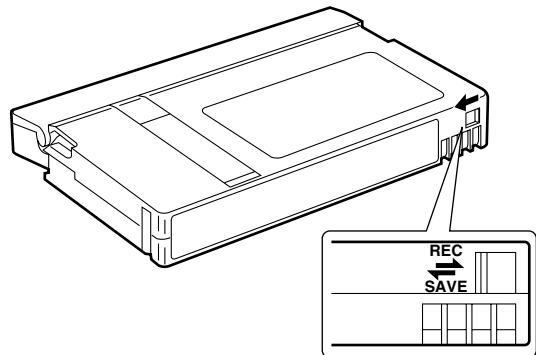
一度 POWER スイッチを「OFF」にして電源を切ります。再度電源を入れ、すぐに EJECT ボタンを押し続けてください。

バッテリーに電源が残っているときは、カセットが取り出せます。

ただし、この動作を繰り返し行わないでください。

誤消去を防ぐには

テープの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、カセットのツメを「SAVE」側にします。



第3章 記録と再生

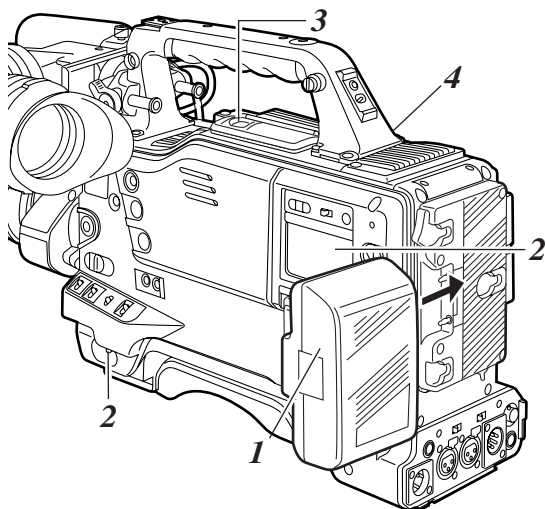
3-2 基本手順

ここでは、撮影・記録に関する基本操作手順を説明します。実際に撮影に出発する際は、事前に点検を行って、システムが正常に機能することを確認してください。

* 点検のしかたについては、「6-1 撮影前の点検」をお読みください。

電源の準備からカセットを入れるまで

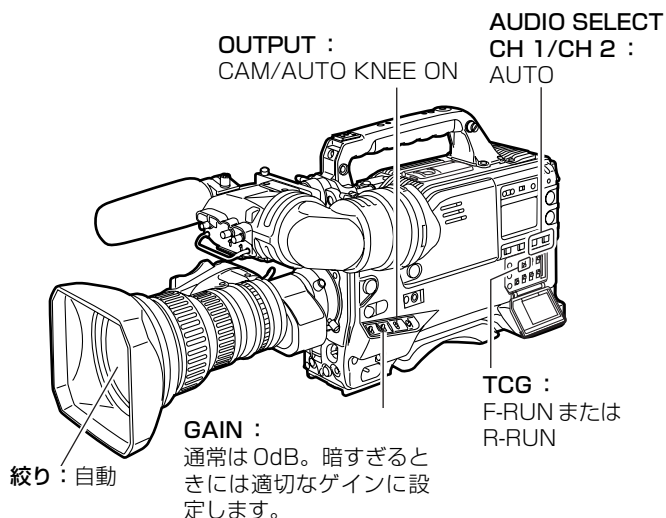
- 1 充電済みのバッテリーパックを入れます。
- 2 POWERスイッチを「ON」にし、HUMID表示が出ないことやBATTERY残量表示が5個以上点灯していることを確認します。
 - HUMID表示が出たときは、表示が消えるまで待ってください。
 - BATTERY残量表示が5個以上点灯していないときは、まずバッテリー設定を確認し、設定が正しい場合は完全に充電したバッテリーと交換します。
- 3 カセットホルダーやトップパネルの周辺にケーブルなどが無いことを確認してから、EJECTボタンを押してカセットホルダーを開きます。
- 4 次のことを確認した後、カセットテープを挿入し、カセットホルダーを閉めます。
 - 誤消去防止用のツメ
 - テープのたるみ



各スイッチ設定まで

電源を準備し、カセットを入れた後、各スイッチを次のように設定してから操作を始めてください。

撮影・記録のためのスイッチの設定



撮影するには

ホワイトバランス/ブラックバランスの調整から記録停止まで

撮影するには以下の手順で操作します。

1 照明条件を合わせてフィルターを選びます。

2-1 ホワイトバランスがすでにメモリーされているとき
WHITE BAL スイッチを「A」または「B」にします。

2-2 ホワイトバランスやブラックバランスがメモリー
されておらず、ホワイトバランスを調整する時間
のないとき
WHITE BAL スイッチを「PRST」にします。
FILTER つまみ（外側）の設定位置に応じて、フィル
ターに対するホワイトバランスがとれます。

2-3 その場でホワイトバランスを調整するとき
照明条件にあったフィルターを選び、WHITE BAL ス
イッチを「A」または「B」にして次の手順でホワイト
バランスを調整します。

- ① AUTO W/B BAL スイッチを AWB 側に押して、ホ
ワイトバランスを調整します。
- ② AUTO W/B BAL スイッチを ABB 側に押して、ブ
ラックバランスを調整します。
- ③ AUTO W/B BAL スイッチを AWB 側に押して、再
度ホワイトバランスを調整します。

* 調整の仕方については、「4-1-1 ホワイトバランスの調整」
および「4-1-2 ブラックバランスの調整」を参照ください。

3 カメラを被写体に向け、フォーカスとズームを調整します。

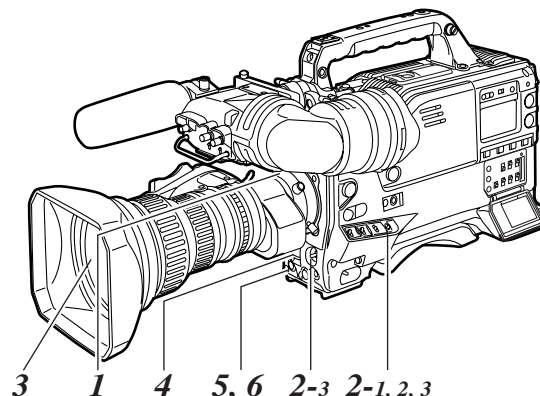
4 電子シャッターを使用する場合は、シャッタースピード/
動作モードを設定します。

* くわしくは「4-2 電子シャッターの設定」をお読みください。

5 VTR START ボタンまたは、レンズのVTR ボタンを押
して記録を開始します。
記録中は、ビューファインダー内のREC ランプが点灯し
ます。

6 停止するときは、再度VTR START ボタン、またはレン
ズのVTR ボタンを押します。
ビューファインダー内のREC ランプが消えます。

ホワイトバランス/ブラックバランスの調整から記録停止まで



テープ操作ボタンについて

記録中は、テープ操作ボタン（EJECT、REW、FF、
PLAY/PAUSE、STOP）は動作しません。

第3章 記録と再生

3-3 つなぎ撮り

記録一時停止中であれば、VTR START ボタンまたは、レンズのVTR ボタンを押すだけで、+1 フレーム以内の精度でつなぎ撮りができます。

記録一時停止中以外の場合は、記録を始める前に、つなぎ撮りのポイントを頭出しする必要があります。

記録一時停止中のつなぎ撮り

つなぎ撮りのタイミングは、自動的に頭出しされます。ただし、VTR SAVE/STBY スイッチの設定によって、記録開始までの時間が異なります。

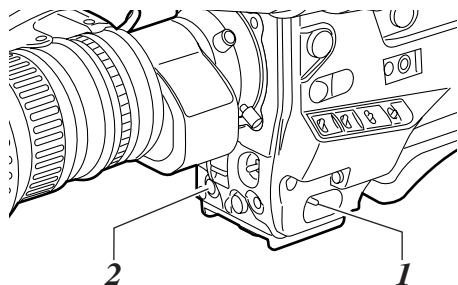
- VTR SAVE/STBY スイッチを「SAVE」に設定しているとき、VTR START ボタンを押してから約2秒後に記録が始まります。
- VTR SAVE/STBY スイッチを「STBY」に設定しているとき、VTR START ボタンを押すとすぐに記録が始まります。

<ノート>

24P、24PA のときは5 フレーム周期でつなぎ撮りを行うため、通常よりも約1秒記録開始が遅れます。また24P、24PA 以外のモードで記録した後に24P、24PA に切り換えると、次の記録ではつなぎ撮り部分で未記録部分や映像の乱れが発生します。正しいつなぎ撮りをするためには、あらかじめ2秒以上の下地を作成してから、ご使用ください。

記録一時停止中に電源を切った場合のつなぎ撮り

- 1 再び電源を入れます。
- 2 VTR START ボタンまたはレンズのVTR ボタンを押して記録を開始します。

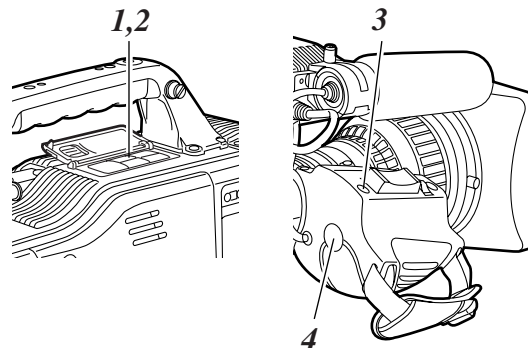


その他の場合のつなぎ撮り

テープを走行させた後や、カセットを取り出した後、また、途中までしか記録されていないテープでつなぎ撮りをしたいときは、次の手順に従ってください。

- 1 ビューファインダーの画面を見ながら、PLAY/PAUSE ボタンを押し、テープを再生します。
- 2 つなぎ撮りを行う箇所で、再度PLAY/PAUSE (またはSTOP) ボタンを押し、テープを止めます。

- 3 レンズのRET ボタンを押します。
約2秒後につなぎ撮りの準備が整います。
- 4 VTR START ボタンまたは、レンズのVTR ボタンを押すと、記録を開始します。



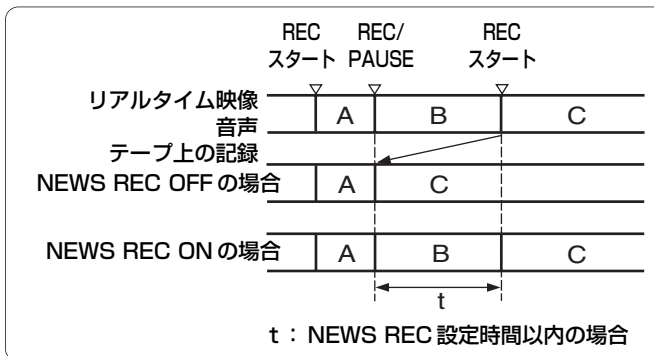
VTR START ボタン、またはレンズのVTR ボタンの機能をUSER MAIN、USER1 およびUSER2 ボタンに割り付けることも可能です。
くわしくは「4-8-4 USER MAIN、USER1 およびUSER2 ボタンへの機能割付け」を参照ください。

3-4 NEWS REC 機能 (AJ-YA903G 非装着時)

NEWS REC 機能は、メニュー操作でSYSTEM SETTING ページから<REC FUNCTION>画面を開き、NEWS REC MODE 項目で設定します。

記録中、VTR START ボタン動作の受け付け時間を制御 (最大2秒まで) することにより、記録モードから記録一時停止モードに移行する時間を遅らせることができます。

つまり、記録中に一旦記録を停止し、すぐに再度記録の開始をした時に生じるシャッターチャンス映像抜けを、VTR START ボタン動作の受け付け時間を制御することで、記録を停止することなく継続して記録をすることを可能にします。



<ノート>

NEWS REC 機能はAJ-YA903G ボードを装着時は動作しません。

第3章 記録と再生

3-5 PRE RECORDING 機能 (AJ-YA903G 装着時)

プレコーディングボード (AJ-YA903G) を本機に装着すると、AJ-YA903G のメモリーボードに、カメラで撮影する映像、音声データを常時数秒間 (最大 15 秒) 分貯えておくことにより、VTR START ボタン、またはレンズの VTR ボタンを押して記録を開始した時、その数秒前からの映像、音声を記録することができます。

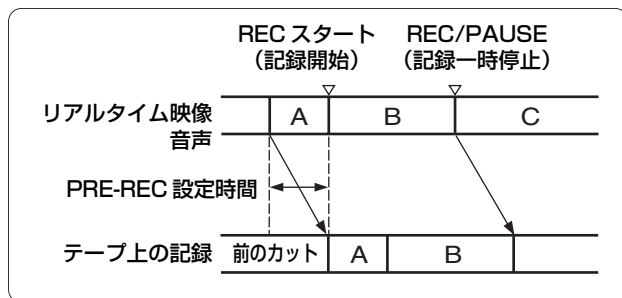
本機能を使用するためには、メニュー操作で SYSTEM SETTING ページから <REC FUNCTION> 画面を開き、PRE REC MODE 項目でメモリーへの蓄積時間を設定する必要があります。

以下が PRE REC MODE 項目の設定内容です。

- OFF:** PRE RECORDING 機能を動作させません。
0 ~ 15SEC: VTR START ボタン、またはレンズの VTR ボタンを押してから、さかのぼって記録できる時間を設定します。

<ノート>

- POWER ON 直後やメニュー操作で PRE REC MODE 項目を選択したり、設定時間を変えた直後、および再生やレックレビューを行った直後は、蓄積メモリーの内容が不定になっていますので、操作後すぐに VTR START ボタンまたはレンズ VTR ボタンを押して記録を開始しても、設定時間どおりの映像・音声を記録はできません。
- 再生やレックレビューを行っている間は、蓄積メモリーに映像・音声を貯えないため、再生やレックレビューを行った間の映像・音声をさかのぼって記録することはできません。
- プログレッシブモードでフォーカスアシスト機能として ZOOM UP 機能をプレコーディングの設定時間内で動作させると、ZOOM UP された映像がメモリーに残り、テープに記録されますのでご注意ください。
- 記録を開始したときは、テープ上のタイムコード (TCR) が読み出せるまでは、タイムコード (TCG) 表示はホールド表示になることがあります。



3-6 INTERVAL REC 機能 (AJ-YA903G 装着時および非装着時)

プレコーディングボード (AJ-YA903G) を本機に装着すると、AJ-YA903G のメモリーを利用して記録時間が最短で 1 フレーム単位 (60i、30P モード時) と 5 フレーム単位 (24P、24PA モード時) での間欠記録をすることができます。また AJ-YA903G を未装着時は、記録時間が 2 秒以上の間欠記録ができます。本機能を使用するためには、メニュー操作で、SYSTEM SETTING ページから <REC FUNCTION> 画面を開き、INTERVAL REC MODE 項目でインターバル記録モードの選択、記録時間 (REC TIME)、間欠の待機時間 (PAUSE TIME)、撮影に要する時間 (TAKE TOTAL TIME) を設定する必要があります。設定が完了するとトータル撮影時間 (TOTAL REC TIME) が自動的に計算され、表示されます。以下が INTERVAL REC MODE 項目の設定内容です。

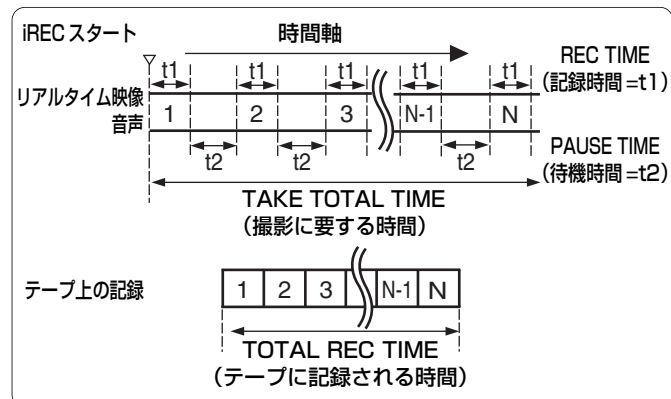
- OFF:** インターバル記録をしません。
ON: メモリーを使用した間欠記録 (AJ-YA903G 装着時) またはメモリーを使用しない間欠記録 (AJ-YA903G 未装着時)
ONE SHOT: REC TIME で設定された時間を 1 回だけ間欠記録します。

<ノート>

24P、24PA でご使用時は、インターバルレックの記録時間と待機時間は 5 フレーム単位に切り捨てた動作となります。

INTERVAL REC の ON モードでの撮影手順

- 1 「3-2 基本手順」に従って、撮影・記録の基本操作を行ったあと、本機が動かないようにしっかり固定します。
- 2 本機の VTR START ボタン、またはレンズの VTR ボタンを押します。インターバルレックが開始し、設定された TAKE TOTAL TIME が終了すると自動的に記録を終了します。「2-7 表示窓内表示」で記したように INTERVAL REC モードが選択されると「i」が点滅します。記録に入ると「iREC」が点灯します。記録待機中は「iREC」が点滅しています。この表示で本体の状態がわかります。なお、ビューファインダー内の表示も表示窓と同様で、記録中は TALLY ランプが点灯します。また待機時間が 2 分以上の設定の場合、5 秒おきに TALLY ランプが点滅し待機中であることを知らせます。このとき記録に入る 3 秒前にも、TALLY ランプは点滅します。



第3章 記録と再生

続けて記録する場合は

再度 VTR START ボタン、またはレンズの VTR ボタンを押します。再び、インターバルレックが開始されます。

途中で記録を中止するには

STOP ボタンを押します。記録は中止されます。このとき AJ-YA903G を装着して運用しているときは、その瞬間までメモリーに貯えられた映像を記録するためテープが走行することがあります。

INTERVAL REC モードを終了するには

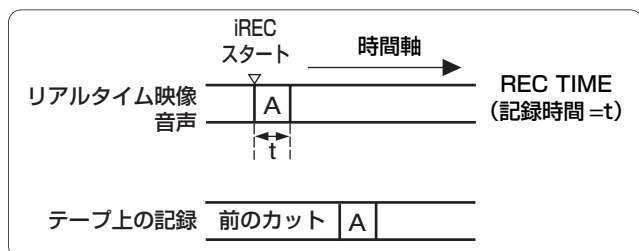
以下の2通りの方法があります。

- 1) 本機の POWER スイッチを OFF にする。
- 2) メニュー操作で、INTERVAL REC MODE 項目を OFF に設定する。

INTERVAL REC の ONE SHOT モードでの撮影手順

インターバルレックモードの設定が終了したのち、以下の手順で撮影を行います。

- 1 「3-2 基本手順」に従って、撮影・記録の基本操作を行ったあと、本機が動かないようにしっかり固定します。
- 2 本機の VTR START ボタン、またはレンズの VTR ボタンを押します。
設定された REC TIME が終了すると自動的に記録を終了します。
「2-7 表示窓内表示」で記したように INTERVAL REC モードが選択されると「i」が点滅します。記録に入ると「iREC」が点灯します。記録が終了すると AJ-YA903G 装着時は「iREC」が点滅し、AJ-YA903G 未装着時は「i」が点滅します。
なお、ビューファインダー内の表示も表示窓と同様で、記録中は TALLY ランプが点灯します。



続けて記録する場合は

再度 VTR START ボタン、またはレンズの VTR ボタンを押します。再び、ONE SHOT 記録が開始されます。

INTERVAL REC の ONE SHOT モードを終了するには

以下の2通りの方法があります。

- 1) 本機の POWER スイッチを OFF にする。
- 2) メニュー操作で、INTERVAL REC MODE を OFF に設定する。

INTERVAL REC モードでの共通の注意事項

- **音声について**
インターバルレック中に音声を記録するか、しないかは <REC FUNCTION> 画面の AUDIO REC 項目の ON/OFF で設定します。
 - **テープ操作ボタンについて**
インターバルレック中は、テープの STOP 以外の操作ボタン (EJECT、REW、FF、PLAY/STILL) は働きません。
 - **記録中に本機の電源が切れた場合 (AJ-YA903G 装着時)**
本機の POWER スイッチを切った場合、メモリーを使用した間欠記録の場合は、その瞬間までメモリーに貯えられた映像を記録する為テープを走行してから自動的に電源が切れます。
また、記録中にバッテリーを取り外したり、DC ケーブルを引き抜いたり、AC アダプター側の電源を切ったりした場合などは、その瞬間以前に撮影したショット (最大5秒、150フレーム) が記録されない場合があります。バッテリー交換の際には十分ご注意ください。
 - **記録中にテープがなくなった場合 (AJ-YA903G 装着時)**
メモリーを使用した間欠記録の場合、記録中にテープがなくなり、停止した場合は、停止した瞬間以前に撮影したショット (最大5秒、150フレーム) が記録されない場合がありますので、ご注意ください。
 - **待機中に緊急で記録をするには**
事前に USER MAIN、USER1/USER2 ボタンのいずれかに REC スイッチを選択しておく、待機中にそのボタンを押している間、緊急記録ができます。緊急記録を行った後も待機時間計測は正常に続きます。
- <ノート>
ただし本機の記録信号が 24P、または 24PA のときは動作しません。
- AJ-YA903G ボードを装着しているとき、ONE SHOT 記録後、PLAY や FF、REW 操作をする場合、メモリーに残った画像をテープに書き込んでから動作します。その間、受け付けた操作ボタンの LED が点滅します。
 - **タイムコード表示について (AJ-YA903G 装着時)**
記録を開始したときは、テープ上のタイムコード (TCR) が読み出せるまでは、タイムコード (TCG) 表示はホールド表示になることがあります。

第3章 記録と再生

3-7 RETAKE 機能

1つ前のカットにつなぎ撮りする機能です。

RETAKE 機能は、メニュー操作で SYSTEM SETTING ページから <REC FUNCTION> 画面を開き、RETAKE MODE 項目で設定します。

以下が RETAKE MODE の設定です。

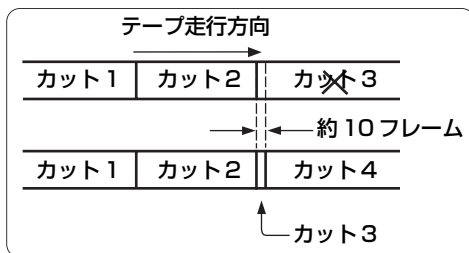
ON: MODE CHECK ボタンを押した状態で、レンズの RET ボタンを押すと RETAKE 機能が動作します。

OFF: RETAKE 機能は、動作しません。

記録終了時の記録一時停止モードのときや、その後の STOP モードのときに、MODE CHECK ボタンを押しながらレンズの RET ボタンを押すと、前回記録した最終映像のほぼ開始点（記録開始から約 10 フレーム進んだ位置）までテープを巻き戻して、記録一時停止モードになります。

撮影時間に余裕があり、明らかに NG と判断した場合に、この点から記録を開始することができるため、NG 部分のカットが消去される事になります。

この機能によりワークテープへのコピー時間の節減など経済的運用に効果を発揮します。



RETAKE 機能を終了するには

以下の2通りの方法があります。

- 1) 本機の POWER スイッチを OFF にする。
- 2) メニュー操作で、RETAKE MODE 項目を OFF に設定する。

3-8 レックレビュー機能

記録を一時停止し、レンズの RET ボタンを押すと、最後の2秒間が自動的に巻き戻され、その部分の再生画像がビューファインダーに出ます。これにより、記録が正しく行われたかどうかを確認できます。

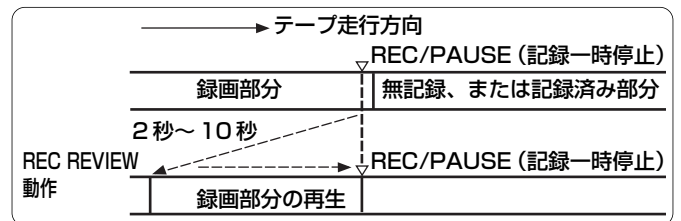
再生後は、再び記録開始待ちの状態になります。

RET ボタンを押し続けると、最大 10 秒間まで巻き戻して再生します。

メニュー操作で、OPERATION ページから <USER SW> 画面を開き、USER MAIN SW、USER1 SW、USER2 SW のそれぞれの項目で RET ボタン機能を割り付けることができます。

<ノート>

- 1 秒間以上記録されていない場合は、レックレビュー機能は使用できません。
- レックレビュー動作の間は、サイドパネルの OUTPUT SEL スイッチが「VTR」の場合、ビューファインダーだけでなく映像出力端子（VIDEO OUT 端子、MON OUT 端子）にもレックレビューの画像が出力されます。バックアップ VTR を接続してバックアップ画像を記録中の場合、このレックレビューの画像が記録されてしまいますので、ご注意ください。



3-9 通常再生及び変速再生

PLAY ボタンを押すと、ビューファインダーで白黒の再生画を見ることができます。同時に本機の VIDEO OUT 端子、MON OUT 端子にカラービデオモニターを接続するとカラーの再生画を見ることができます。

なお SDI アウトポートボード (AJ-YA902AG) を装着時は、VIDEO OUT 端子から SDI での再生画を見ることがもできます。(再生画を見る場合は、サイドパネルの OUTPUT SEL スイッチを VTR にする必要があります)

また FF、REW ボタンを使うと、早送り再生:CUE (PLAY+FF)、早送り逆再生:REV (PLAY+REW)、および高速早送り再生:FF、高速巻き戻し再生:REW といった変速再生が可能です。

第4章 記録の為の調整と設定

本機を使用し、常に高画質の映像を得るためには、状況に応じたブラックバランスとホワイトバランスの調整が必要です。なお、より高画質を得るためには、AWB（ホワイトバランスの調整）→ABB（ブラックバランスの調整）→AWB（ホワイトバランスの調整）の順に行うことを推奨します。

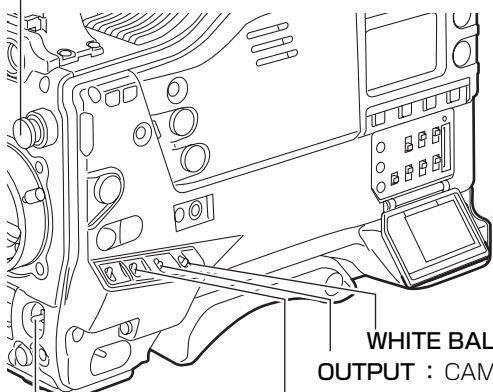
4-1 ホワイトバランス/ブラックバランスの調整

4-1-1 ホワイトバランスの調整

照明条件が変わったときには、必ず調整し直してください。以下の手順でホワイトバランスを自動調整します。

1 図のようにスイッチを設定します。

FILTER つまみ



AUTO W/B BAL スイッチ：AWB 実行時使用
GAIN：通常は 0dB。
暗すぎるときには適切なゲインに設定します。

2 照明条件に合わせて、FILTER つまみの設定を切り替えます。

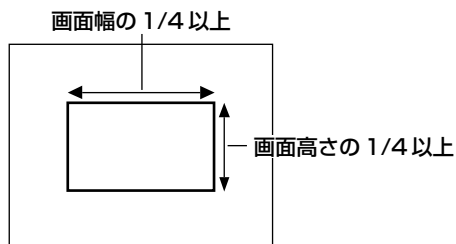
<ノート>

FILTER つまみの設定例については「2-3 撮影・記録/再生機能部」を参照ください。

3 被写体の照明光源と同じ条件のところにホワイトパターンを置き、ズームアップして画面に白を映します。被写体近くの白い物（白布、白壁）で代用することもできます。必要な白の大きさは、下図の通りです。

<ノート>

- 画面内に高輝度スポットを入れないようにしてください。
- 白い物は、画面の中心に写してください。



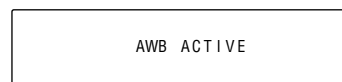
4 レンズの絞りを調整します。

5 AUTO W/B BAL スイッチを AWB 側に押し上げて、スイッチを離します。
スイッチが中央に戻り、ホワイトバランスの自動調整が実行されます。

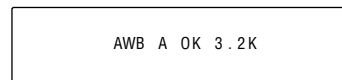
<ノート>

ホワイトバランスの自動調整を行っているとき（AWB ACTIVE）に、再度 AUTO W/B BAL スイッチを AWB 側に切り替えると、調整を中止します。
このときの調整値は、自動調整を行う前の値になります。

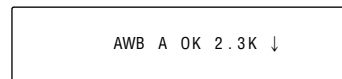
6 調整中、ビューファインダー画面には、次のようなメッセージが表示されます。



7 数秒で調整が完了します。（図のようなメッセージが表示されます）
調整値は、ステップ 1 で設定したメモリー（A または B）に自動的に記憶されます。

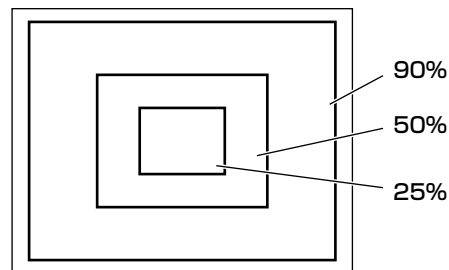


8 CC フィルターが 3200K の場合、被写体の色温度が、2300K よりも低い場合や 5600K よりも高い場合は、図のようなメッセージが表示されます。
矢印のうち、下向きの矢印（↓）は表示温度よりも低い状態を示し、上向きの矢印（↑）は表示色温度よりも高い状態を示します。



ホワイトバランスの検出領域について

メニュー操作で、OPERATION ページから <WHITE BALANCE MODE> 画面を開き、AWB AREA 項目でホワイトバランス検出領域を 90%、50%、25% に切り替えが可能です。
工場出荷設定は、25% です。



第4章 記録の為の調整と設定

ホワイトバランスを調整する時間がないとき

WHITE BAL スイッチを「PRST」にします。
FILTER つまみ（外側）の設定位置に応じて、フィルターに対するホワイトバランスがとれます。

ホワイトバランスの自動調整ができないとき

ホワイトバランスの調整が正常に終了しなかったときは、ビューファインダー画面にエラーメッセージが表示されます。下記のエラーメッセージが表示された場合、処置を行ってから再度ホワイトバランスの調整を試みてください。繰り返し試みてもエラーメッセージが表示される場合は内部点検が必要です。くわしくはサービスセンターもしくは販売店にご相談ください。

ホワイトバランスに関するエラーメッセージ

エラーメッセージ	意味	処置
COLOR TEMP. HIGH	色温度が高すぎる。	適切なフィルターを選択する。
COLOR TEMP. LOW	色温度が低すぎる。	適切なフィルターを選択する。
LOW LIGHT	光量が不足している。	光量を多くする。または、ゲインを上げる。
LEVEL OVER	光量が多すぎる。	光量を少なくする。または、ゲインを下げる。
CHECK FILTER	フィルター切り替えつまみの設定位置がずれている。	フィルター切り替えつまみを確認する。
TIME OVER	時間内で AWB が終了しなかった。	撮影条件が不安定な可能性があります。フリッカーであればシャッターを入れ、安定した条件下で再度実行する。

ホワイトバランスのメモリーについて

メモリーに記憶された値は、本機の電源を切った状態でも再度ホワイトバランスをとるまで保存されます。ホワイトバランスのメモリーは A、B の 2 系統があります。

メニュー操作で、OPERATION ページから <WHITE BALANCE MODE> 画面の FILTER INH 項目の設定が ON の場合（初期設定）、A、B 各系統のメモリー数はそれぞれ 1 個に限定されています。この場合、メモリーの内容は CC フィルターには連動しません。

FILTER INH を OFF にした場合、WHITE BAL スイッチの設定（A または B）に対応するメモリーに、各 CC フィルターごとの調整値を自動的に記憶させることもできます。本機は 4 つのフィルターを内蔵していますので、合計 8 個（4 × 2）の調整値を記憶します。

なお、<WHITE BALANCE MODE> 画面の AWB A、AWB B 項目で VAR を選択すると、COLOR TEMP A、COLOR TEMP B で設定した色温度固定となり、AWB スイッチにより調整はできません。

オートトラッキングホワイトバランス（ATW）の設定について

本機は、照明条件に応じて画像のホワイトバランスを自動追尾させるオートトラッキングホワイトバランス（ATW）機能を有しています。

この ATW 機能は、WHITE BAL スイッチの B に設定できます。

メニュー操作で、OPERATION ページから <WHITE BALANCE MODE> 画面を開き、<AWB B> 項目で ATW を選択します。

また、USER MAIN、USER1、USER2 ボタンに ATW 機能を割り当てることもできます。くわしくは「4-8-4 USER MAIN、USER1 および USER2 ボタンへの機能割り付け」を参照ください。

オートトラッキングホワイトバランスを解除するには

ATW を割り付けた USER ボタンを再度押すか、WHITE BAL スイッチを切り替えます。ただし WHITE BAL スイッチの B に ATW を設定している場合は解除されません。

```
→ < WHITE BALANCE MODE >
FILTER INH       : ON
SHOCKLESS AWB   : NORMAL
AWB AREA        : 25%
AWB&ABB OFFSET  : OFF

COLOR TEMP PRE  : 3200K
AWB A           : MEM
COLOR TEMP A    : 3200K
AWB B           : MEM
COLOR TEMP B    : 3200K
ATW SPEED       : NORMAL
```

<ノート>

本機能は、ホワイトバランスの精度を 100%保証する機能ではありません。

照明条件の変化に対する追従性およびホワイトバランスの引き込み精度には、多少余裕を持たせていますので、本機能の取り扱いにはご注意ください。

ホワイトバランス関連のビューファインダー画面表示について

くわしくは、「4-8 ビューファインダー画面上の状態表示」を参照ください。

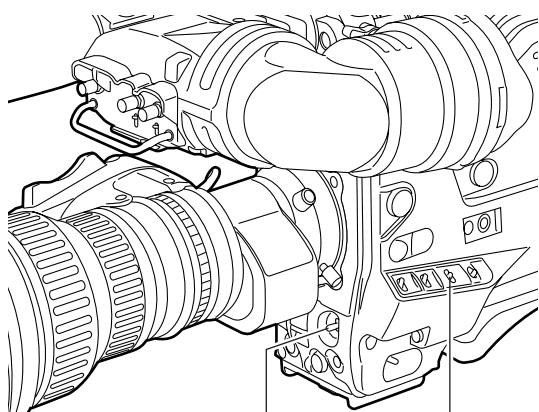
第4章 記録の為の調整と設定

4-1-2 ブラックバランスの調整

ブラックバランスは、次のような場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使用する時
- 長時間使用しなかった後に使用する時
- 周囲の温度が大幅に変化した状態で使用する時
- ゲイン切り替え値を変更した時
- USER MAIN、USER1、USER2 ボタンを使用して S.GAIN (スーパーゲイン) の設定をした時
- ガンマの ON/OFF を変更した時

1 図のようにスイッチを設定します。



AUTO W/B BAL スイッチ: ABB 実行時使用
OUTPUT : CAM

2 AUTO W/B BAL スイッチを ABB 側に倒し、スイッチを離します。
スイッチは中央に戻り、調整が実施されます。

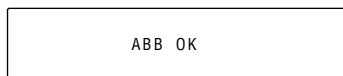
3 調整中、ビューファインダー画面には次のようなメッセージが表示されます。



<ノート>

調整中はレンズ絞りが自動的に「CLOSE」になります。

4 数秒で調整が完了します。(図のようなメッセージが表示されます)



調整値は自動的にメモリーに記憶されます。

<ノート>

- レンズコネクタが接続されていること、レンズ絞りが「CLOSE」になっていることを確認してください。
- ブラックバランス調整中、絞りは自動的に遮光状態になります。
- ブラックバランス調整中、ゲイン切り替え回路が自動的に切り替わります。
また、ビューファインダー画面上にフリッカーやノイズが現れることがありますが、故障ではありません。
- ABB OK でもブラックシェーディングが気になる場合はメニュー操作で、MAINTENANCE ページから <BLACK SHADING> 画面を開き DETECTION 項目にカーソル (→) を移動し、JOG ダイヤルボタンを押して、ブラックシェーディング調整を実行してください。また ABB スイッチを 5 秒以上長押しすると、ABB 動作に続いてブラックシェーディングの自動調整を行うことができます。(「7-5-5 SW MODE」の SHD. ABB SW CTL の項目をご覧ください)
- ブラックバランスの自動調整を行っているとき (ABB ACTIVE) に、再度 AUTO W/B BAL スイッチを ABB 側に押し下げると、調整を中止します。
このときの調整値は、自動調整を行う前の値になります。

ブラックバランスのメモリーについて

メモリーに記憶された値は、本機の電源を切った状態でも保存されます。

第4章 記録の為の調整と設定

4-2 電子シャッターの設定

ここでは、本機の電子シャッターに関する説明、設定および操作方法について示します。

4-2-1 シャッターモードについて

本機の電子シャッターで使用できるシャッターモードと、選択できるシャッタースピードは次の通りです。

モード	シャッタースピード	用途
標準	POSITION1 ~ 6	動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合
SYNCHRO SCAN	60.3 Hz ~ 249.7 Hz の範囲	垂直走査周波数が 60 Hz を超えるモニター画面を、水平方向の縞模様が少なくなるように撮影したい場合
SUPER V		垂直解像度を上げる。

<ノート>

- 電子シャッターをどのモードで使用しても、シャッタースピードが速いほど、カメラの感度は低減します。
- 絞りが自動のときには、シャッタースピードが速くなるにつれ絞りが開き、焦点深度も浅くなります。

4-2-2 シャッターモード/スピードの設定

シャッターモードでのシャッタースピードは、SHUTTER スイッチを切り替えて設定します。

SYNCHRO SCAN モードでのシャッタースピードは、サイドパネルの SYNCHRO SCAN (+/-) ボタンで簡単に変更できます。

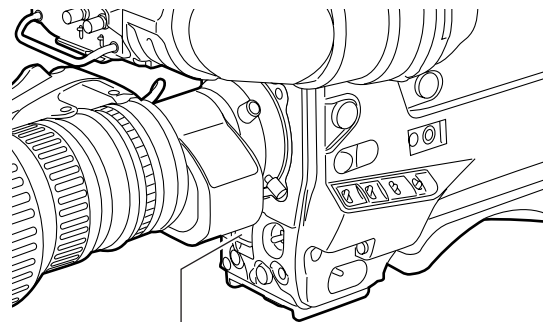
なお、メニュー操作で OPERATION ページから <SHUTTER SPEED> 画面と <SHUTTER SELECT> 画面を開き、シャッタースピードの選択範囲を必要な範囲にあらかじめ制限したり、SYNCHRO SCAN モードおよび SUPER V モードを使用するかどうかあらかじめ選択したりすることができます。

一度選択したシャッタースピードは、本機の電源を切った状態でも保持されます。

```
-< SHUTTER SPEED >
SYNCHRO SCAN : ON
SUPER V      : OFF
POSITION1    : ON
POSITION2    : ON
POSITION3    : ON
POSITION4    : ON
POSITION5    : ON
POSITION6    : ON
```

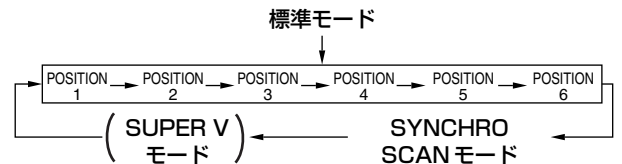
```
-< SHUTTER SELECT >
SUPER V MODE : FRM1
POSITION1 SEL : 1 / 100
POSITION2 SEL : 1 / 120
POSITION3 SEL : 1 / 250
POSITION4 SEL : 1 / 500
POSITION5 SEL : 1 / 1000
POSITION6 SEL : 1 / 2000
```

- 1 SHUTTER スイッチを、ON の位置から SEL 側に押しします。



SHUTTER スイッチ

- 2 もう一度 SHUTTER スイッチを SEL 側に押し、希望のモードまたはスピードが表示されるまで、この操作を繰り返します。
全てのモードとスピードが表示される場合は、以下の順序で表示が切り替わります。



<ノート>

出荷時は、SUPER V モードは OFF で設定されていますので表示されません。指定するには、メニュー操作で OPERATION ページから <SHUTTER SPEED> 画面を開き、SUPER V 項目を ON に設定します。

シャッター関連のビューファインダー画面表示について

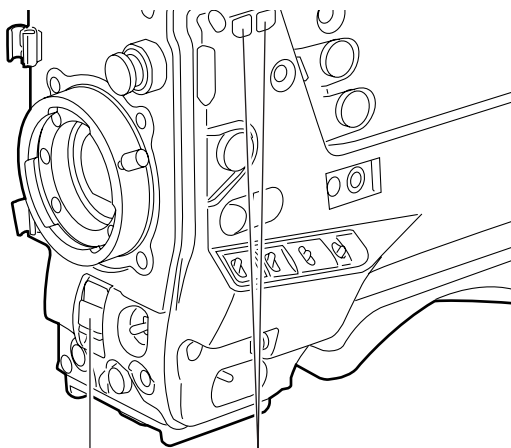
くわしくは、「4-8 ビューファインダー画面上の状態表示」を参照ください。

第4章 記録の為の調整と設定

4-2-3 シンクロスキャンモードの設定

以下の手順で操作します。

- 1 SHUTTERスイッチをONからSEL側に押し、SYNCHRO SCANに設定します。



SHUTTERスイッチ SYNCHRO SCAN (+/-) ボタン

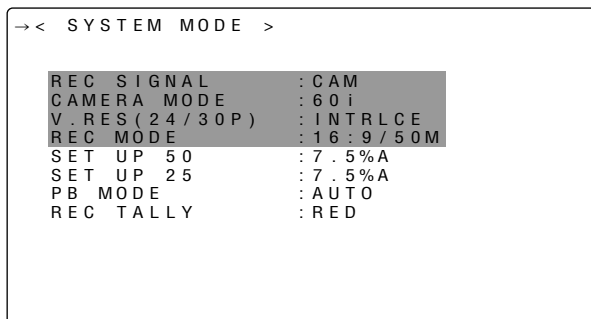
- 2 SYNCHRO SCANモード時は、SYNCHRO SCAN (+/-) ボタンを操作して1/60.3秒から1/249.7秒の範囲内で連続的に切り替えることができます。

4-3 記録信号および記録方式の選択

本機は記録する信号と記録するフォーマットの選択が可能です。

4-3-1 記録信号の選択

メニュー操作で、SYSTEM SETTINGページから<SYSTEM MODE>画面を開き、REC SIGNAL項目とCAMERA MODE項目で記録する信号を選択します。



設定項目と設定内容について

REC SIGNALで記録する信号を選択します。

CAM : カメラからの信号を記録します。

VIDEO : GENLOCK IN端子からの信号を記録します。

CAMERA MODEで、記録するカメラの動作モードを選択します。

60i : 本機のカメラを59.94iで動作させます。

30P : 本機のカメラを29.97Pで動作させます。

24P : 本機のカメラを23.98Pで2:3プルダウン方式で動作させます。

24PA : 本機のカメラを23.98Pで2:3:3:2プルダウン方式で動作させます。

30P、24Pまたは24PAで動作させるときは、V.RES (24/30P) で垂直解像度モードを選択します。

INTRLC : ラインミックスした自然な画像になります。

PROG. : ラインミックスせず、完全なプログレッシブのセグメントフレーム画像となります。

なお、プログレッシブモード (30P、24P、24PA) で動作させる時も、VTRへの記録信号は、プログレッシブ (30P、24P、24PA) →インターレース (60i) 変換されます。

<ノート>

- REC SIGNALでVIDEOを選択した場合、GENLOCK IN端子からの信号がノンスタンダード信号のとき、映像が乱れる場合があります。

- PROGを選択して使用する場合は、セグメントフレーム画像となり、完全なプログレッシブ編集が可能になります。ただし垂直方向のディテール (V.DTL) を付加すると不自然な画像になりますので、V.DTLは0に設定して使用されることをおすすめします。

- プログレッシブモードでは、よりフィルムらしい動画を得るために、強制的に50%のシャッターを入れています。このシャッターを解除したい場合は、メニュー操作で<OPTION>画面を開き、P HALF SHUT項目をOFFにする必要があります。

- 60iまたは30Pから、24Pまたは24PAに切り換えたとき、5フレーム周期を合わせるため、一瞬映像の乱れが発生しますが、本機の異常ではありません。

4-3-2 記録方式の選択

メニュー操作で、SYSTEM SETTINGページから<SYSTEM MODE>画面を開き、REC MODE項目で記録するVTRのフォーマットを選択します。

設定内容について

16:9/50M : 16:9画角で、DVCPRO50フォーマット (50Mbps) 記録をします。

4:3/50M : 4:3画角で、DVCPRO50フォーマット (50Mbps) 記録をします。

16:9/25M : 16:9画角で、DVCPROフォーマット (25Mbps) 記録をします。

4:3/25M : 4:3画角で、DVCPROフォーマット (25Mbps) 記録をします。

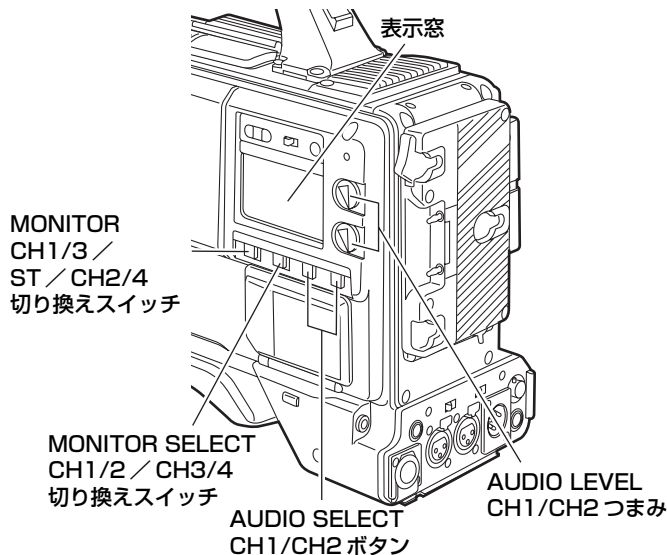
第4章 記録の為の調整と設定

4-4 音声入力を選択と録音レベルの調整

AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチをAUTOにすると、オーディオトラックCH1、CH2に録音されるレベルは自動的に調整されます。またMAN側にすると手動で調整することもできます。なお、オーディオトラックCH3、CH4に録音されるレベルはメニューにより選択できます。

4-4-1 音声入力信号の選択

AUDIO INスイッチでオーディオトラックCH1、CH2、CH3、CH4に録音する入力信号を選択します。くわしくは「2-2 音声機能部」を参照ください。



音声関連の詳細設定は、メニュー操作でVTR MENUページから<MIC/AUDIO1>画面と<MIC/AUDIO2>画面を開き各項目を設定します。

くわしくは「第7章 MENU一覧」をご覧ください。

```

->< MIC / AUDIO 1 >
FRONT VR CH1          : OFF
FRONT VR CH2          : OFF
MIC LOWCUT CH1       : OFF
MIC LOWCUT CH2       : OFF
MIC LOWCUT CH3       : OFF
MIC LOWCUT CH4       : OFF
LIMITER CH1         : OFF
LIMITER CH2         : OFF
AUTO LEVEL CH3       : ON
AUTO LEVEL CH4       : ON
REC CH3 / CH4        : SW
CUE REC SELECT       : CH1
TEST TONE            : NORMAL
    
```

```

->< MIC / AUDIO 2 >
FRONT MIC POWER      : ON
REAR MIC POWER       : ON
AUDIO OUT            : ON
MONITOR SELECT       : STEREO
FRONT MIC LEVEL      : -40dB
REAR MIC CH1 LVL     : -60dB
REAR MIC CH2 LVL     : -60dB
REAR LINE IN LVL    : +4dB
AUDIO OUT LVL        : +4dB
HEADROOM             : 20dB
WIRELESS WARN        : OFF
    
```

4-4-2 録音レベルの調整

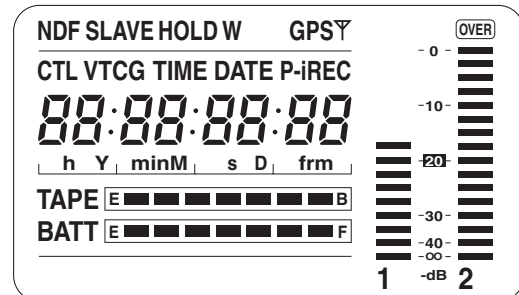
オーディオトラックCH1、CH2に録音されるレベルを手動調整する手順は以下の通りです。

1 表示窓のオーディオレベルメーター表示がCH1、CH2を示すようにMONITOR SELECTスイッチをCH1/2側にし、表示窓の表示が1、2であることを確認してください。
また、減衰用F.AUDIO LEVEL ボリュームを有効にするかどうかあらかじめメニューで設定します。(工場出荷時は、動作しないモードになっています)

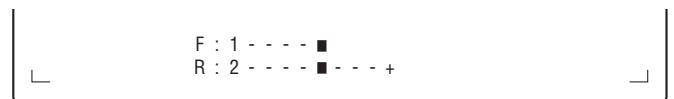
2 AUDIO SELECT CH1/CH2をMAN (MANUAL) にします。

3 表示窓のオーディオレベルメーター、またはビューファインダー内のオーディオレベルメーター表示を見ながらレベルCH1/CH2つまみを調整します。
なお、最上段のバー (0 dB) を超えるとOVER表示が点灯し入力音量が過大であることを示します。最大でも0 dBまで表示しないように調整する必要があります。

表示窓オーディオレベルメーター表示



ビューファインダー内オーディオレベルメーター表示



ワンマンオペレーションでの音声レベルの調整には、F.AUDIO LEVEL ボリュームのご使用を推奨します。あらかじめ調整したいオーディオチャンネルを選択し、ビューファインダー画面上でのレベルメーターを見ながら過大入力にならない様にF.AUDIO LEVEL ボリュームで調整します。

第4章 記録の為の調整と設定

4-4-3 CH3/CH4の録音レベルについて

本機をDVCPR050フォーマットとしてご使用の場合は、音声独立4チャンネル記録が可能です。メニュー操作でVTR MENUページから<MIC/AUDIO1>画面を開き、AUTO LEVEL CH3項目とAUTO LEVEL CH4項目の設定条件と入力レベル設定により、オーディオトラックCH3、CH4の録音レベル動作は、以下の表のように変わります。なお、手動での調整はできません。

AUTO LEVEL CH3/CH4*	入力レベル	
	LINE	MIC
ON	AGC ON	AGC ON
OFF	AGC/LIMITER OFF	LIMITER ON

<ノート>

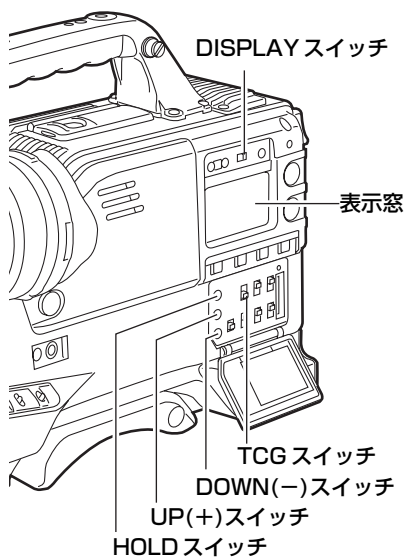
DVCPR0フォーマット(25 Mbps)に設定した場合は、2チャンネル(CH1/CH2)のみの記録となります。このとき、SDI出力のCH3/CH4にはCH1/CH2と同じ信号が出力されます。

4-5 タイムデータの設定

タイムコードの設定可能範囲は、00:00:00:00 ~ 23:59:59:29です。

4-5-1 ユーザーズビットの設定

ユーザーズビットを設定することにより、16進数8桁までのメモ(日付、時刻)などの情報をサブコードトラックに記録できます。



1 DIPLAYスイッチをUBにします。

2 TCGスイッチをSETにします。

3 SHIFTボタン、UP(+)ボタン、DOWN(-)ボタンでユーザーズビットを設定します。

SHIFTボタン: 設定したい桁を点滅させるときに使用します。押すたびに、点滅する桁が右に移ります。

+ボタン: 点滅している桁の数値を1ずつ大きくします。

-ボタン: 点滅している桁の数値を1ずつ小さくします。

4 TCGをF-RUNまたはR-RUNにします。

5 メニュー操作でVTR MENUページから<TC/UB>画面を開き、UB MODE項目でUSERを選択します。

ユーザーズビットのメモリー機能について

ユーザーズビットの設定内容(実時刻以外)は、自動的にメモリーされ、電源を切った後も保持されます。

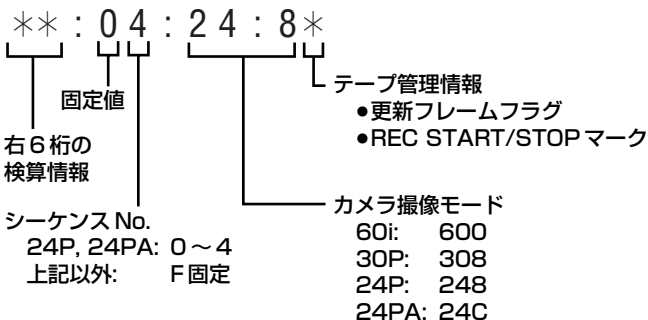
ユーザーズビットのテープ連続性について

メニュー動作で<TC/UB>画面のUB MODE項目でREGENを選択すると、テープに記録されているユーザーズビットを読み出し、その値を継続して記録することができます。ただし、設定した内容は記録できません。

<ノート>

本機はVIDEO AUX領域にもタイムコード/ユーザーズビットを記録しています。タイムコード(VITC)はサブコード領域のタイムコード(LTC)と同一の値です。ユーザーズビット(VITCのユーザーズビット)は、撮像フレームレートなどの特殊情報も記録しています。

VITCのユーザーズビット



第4章 記録の為の調整と設定

4-5-2 内蔵時計の日付/時刻の設定

- 1 DISPLAYスイッチをUBにします。
- 2 HOLDボタンを押し表示窓にDATEを表示させます。
- 3 TCGスイッチをSETにします。
- 4 SHIFTボタン、UP (+) ボタン、DOWN (-) ボタンで年月日 (Y/M/D) を設定します。
- 5 HOLDボタンを押し表示窓にTIMEを表示させます。
- 6 SHIFTボタン、UP (+) ボタン、DOWN (-) ボタンで時分秒 (h/min/s) を設定します。
- 7 TCGスイッチをF-RUNまたはR-RUNにします。スイッチを切り替えた時から内蔵時計が動作を開始します。
- 8 HOLDボタンを押し、表示窓にTIME ZONE (世界標準時からの時差) を表示させます。
- 9 TCGスイッチをSETにします。
- 10 UP (+) ボタン、DOWN (-) ボタンで時分 (h/min) と世界標準時からの進み (無表示) /遅れ ('-' 表示) を設定します。
例) 時差 5:00 遅れ(New York)の場合
"05:00 -" と設定
タイムゾーンは日付/時刻とともに常にメタデータとして記録されます。
右表を参考に現地時刻に合わせて設定してください。
- 11 TCGスイッチをF-RUNまたはR-RUNにしてタイムゾーンを確定させます。

時 差	地 域	時 差	地 域
00:00	グリニッジ	- 00:30	
- 01:00	アゾレス諸島	- 01:30	
- 02:00	中部太平洋	- 02:30	
- 03:00	ブエノスアイレス	- 03:30	ニューファンドランド島
- 04:00	ハリファックス	- 04:30	
- 05:00	ニューヨーク	- 05:30	
- 06:00	シカゴ	- 06:30	
- 07:00	デンバー	- 07:30	
- 08:00	ロスアンゼルス	- 08:30	
- 09:00	アラスカ	- 09:30	マルケサス諸島
- 10:00	ハワイ	- 10:30	
- 11:00	ミッドウェイ諸島	- 11:30	
- 12:00	クワジャリン	+ 11:30	ノーフォーク島
+ 13:00		+ 10:30	ロード・ハウ・アイランド
+ 12:00	ニュージーランド	+ 09:30	ダーウィン諸島
+ 11:00	ソロモン諸島	+ 08:30	
+ 10:00	グアム	+ 07:30	
+ 09:00	東京	+ 06:30	ラングーン
+ 08:00	北京	+ 05:30	ボンベイ
+ 07:00	バンコク	+ 04:30	カブール
+ 06:00	ダッカ	+ 03:30	テヘラン
+ 05:00	イスラマバード	+ 02:30	
+ 04:00	アブダビ	+ 01:30	
+ 03:00	モスクワ	+ 00:30	
+ 02:00	東ヨーロッパ	+ 12:45	チャタム諸島
+ 01:00	中央ヨーロッパ		

< ノート >

- ステップ4で年月日を設定後、TCGスイッチをF-RUNまたはR-RUNにしても、スイッチを切り換えたときから内蔵時計が動作を開始します。
年月日、時分秒、タイムゾーンの設定中に設定をキャンセルしたい場合は、SHIFTボタンを押しながらTCGスイッチをF-RUNまたはR-RUNにします。
- 時計精度は、電源OFF状態で月差約±30秒程度です。正確な時刻を必要とする場合は、電源ON時に、時刻確認、再設定を行ってください。
なお、GPSユニットAJ-GPS900Gを装着して時刻を受信できているときは、受信時刻 (世界標準時) とタイムゾーンから、内蔵時計の時刻 (現地の日時) を正確に保ちます。DATE、TIME表示が現地時刻とずれているときは、タイムゾーンの設定がずれている可能性があります。再度タイムゾーンの設定を確認してください。(DATE、TIMEを再設定する必要はありません)

第4章 記録の為の調整と設定

4-5-3 タイムコードの設定

- 1 DISPLAYスイッチをTCにします。
- 2 TCGスイッチをSETにします。
- 3 メニュー操作でVTR MENUページから<TC UB>画面を開き、TC MODE項目で「DF」または「NDF」に切り換えます。ドロップフレームモードでタイムコードを歩進させるときは「DF」に、ノンドロップフレームモードでタイムコードを歩進させるときは「NDF」に設定します。ただし24P、24PAでは常にNDFで動作します。
- 4 SHIFTボタン、UP (+) ボタン、DOWN (-) ボタンでタイムコードを設定します。
- 5 TCGスイッチを切り替えます。
タイムコードをフリーランで歩進させるときは「F-RUN」に切り替え、レックランで歩進させるときは「R-RUN」に切り替えます。

<ノート>

24Pまたは24PAでご使用時は、タイムコードの設定は5フレーム単位に調整されます。また記録中にタイムコードの設定はできません。

バッテリー交換時のタイムコードについて

バッテリー交換時にもバックアップ機構が働いて、タイムコードジェネレータは長時間（約1年間）動作を続けます。

<ノート>

POWERスイッチをON→OFF→ONと切り替えた場合、フリーランのタイムコードのバックアップ精度は約±2フレームです。

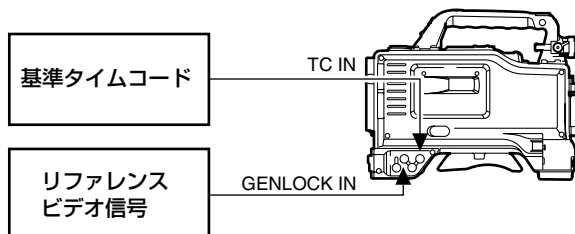
4-5-4 タイムコードを外部ロックさせる

本機の内部タイムコードジェネレータを外部ジェネレータにロックさせることができます。また、外部VTRのタイムコードジェネレータを本機の内部ジェネレータにロックさせることもできます。

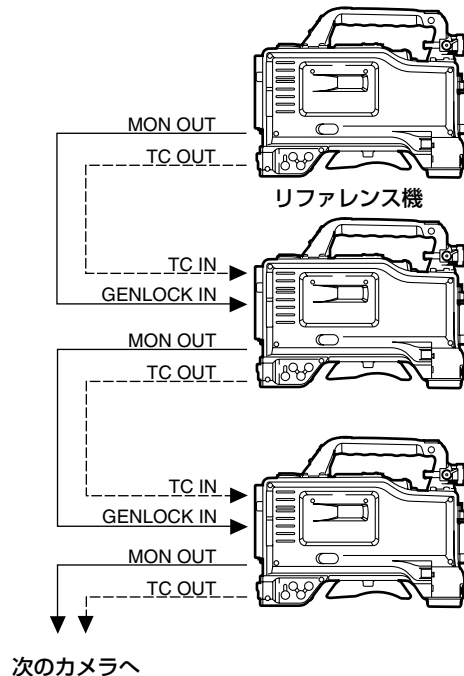
外部ロックさせる為の接続例

図の様に、リファレンスビデオ信号と基準タイムコードの両方を接続します。

例1：外部の信号にロックさせる場合



例2：本機を複数台つなぎ、1台をリファレンス機とする場合



外部ロックの操作手順

以下の手順で、外部ロックさせます。

- 1 POWERスイッチをONにします。
- 2 TCGスイッチをF-RUNにします。
- 3 DISPLAYスイッチをTCにします。
- 4 タイムコードの規格を満たした位相関係にある基準タイムコードとリファレンスビデオ信号を、TC IN端子とGENLOCK IN端子へそれぞれ供給します。

これで内蔵タイムコードジェネレータは、基準タイムコードにロックします。

ロックしてから約10秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。ただし、記録（REC）中に接続したり外したりすると、サーボロックが乱れます。

<ノート>

- 外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部タイムコードの値と同じ値がカウンター表示部に出ます。シンクジェネレータが安定するまでの数秒間は、記録モードにしないでください。
- 24P、または24PAで外部ロックさせるときは、必ずノンドロップフレームのタイムコードを入力してください。ドロップフレームでは外部ロックできません。また外部ロックした瞬間、映像が乱れることがありますが、5フレーム周期を合わせるためであり、異常ではありません。

第4章 記録の為の調整と設定

外部ロック時のユーザーズビットの設定について

タイムコードの外部ロックでは、タイムデータのみが外部からのタイムコードのタイムデータにロックされます。したがってユーザーズビットは、各機ごとに個別に設定することができます。

また、メニュー操作で、VTR MENU ページから<TC/UB>画面を開きUB MODE 項目でEXT を選択すると、ユーザーズビットも外部からのタイムコードのユーザーズビットにロックさせることができます。

外部ロックを解除するには

外部タイムコードの供給を止めてから、TCG スイッチを「R-RUN」に設定します。

外部ロック中に、電源をバッテリーから外部電源に切り替える時の注意

タイムコードジェネレータの電源の連続性を保つため、DC IN 端子に外部電源をつないでから、バッテリーパックを抜いてください。バッテリーパックを先に抜いたときは、タイムコードの外部ロックの連続性は保証されません。

外部ロック中のカメラ部の外部同期について

外部ロック中、GENLOCK IN 端子に入力されるリファレンスビデオ信号により、カメラ部はゲンロックがかかります。

<ノート>

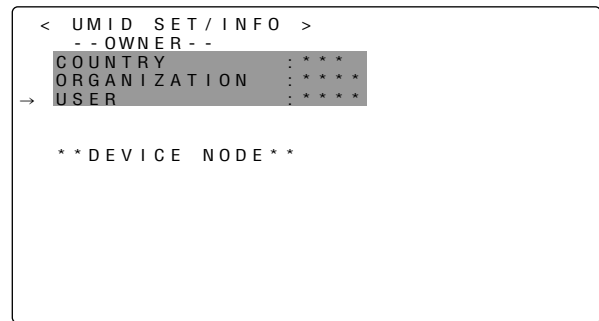
- 本機をマスター機として複数台に外部ロックさせる場合は、本機のカメラモードと同一モードにする必要があります。インターレースとプログレッシブ混在等のシステムでは映像・タイムコードの連続性が保証されませんご注意ください。
- 本機の MON OUT 端子をリファレンスビデオ信号として使用する場合は、サイドパネルの OUTPUT SEL スイッチを「CAM」側にしてご使用ください。

4-5-5 UMID 情報の設定

本機はメタデータのUMIDに対応しています。UMID 情報として最初にユーザーの属する国名（3文字以内）と、組織名あるいは会社名（4文字以内）と、ユーザー名（4文字以内）を設定する必要があります。国名はISO3166 Country Code*1を元に入力してください。

ここではユーザー名を例に説明します。

- *1 例：中国 CHN
アメリカ USA
カナダ CAN
日本 JPN



- 1 メニュー操作で、VTR MENU ページから<UMID SET/INFO>画面を開きます。
- 2 JOG ダイヤルボタンを回して、「USER」の項目に矢印（カーソル）を移動します。
- 3 JOG ダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）が USER 入力エリアに移動して入力モードになります。
- 4 設定したい文字が現れるまで、JOG ダイヤルボタンを回します。JOG ダイヤルボタンを回すと、文字表示が
スペース： □
↓
アルファベット： A～Z
↓
数字： 0～9
↓
記号： `、>、<、/、-
の順に切り替わります。
<ノート>
COUNTRY 項目のみ、選択できるのはスペースとアルファベットのみです。
- 5 JOG ダイヤルボタンを押して、文字を確定します。
- 6 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、4～5の操作を繰り返して、文字を設定します。
- 7 文字の入力が終わると JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動します。
- 8 JOG ダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）が「USER」の項目に戻ります。
- 9 メニュー操作を終了するときは、MENU ボタンを押しません。

第4章 記録の為の調整と設定

4-6 ビューファインダー画面上のメニュー表示

4-6-1 メニューの構成

USER MENU: 出荷時に、USER MENU を設定していますが、ユーザー独自で、メニュー操作で、MAIN MENU ページから <USER MENU SELECT> 画面を開き、各項目について、使用目的や設定頻度に応じた項目を選択してユーザー固有のメニュー構成にすることができます。MENU ボタンを押すと表示されます。

MAIN MENU: 設定メニューの全項目を設定できます。使用目的や、設定頻度などに応じてカテゴリー別に階層化した構成にしています。MENU ボタンを3秒以上押すと表示されます。

OPTION MENU: 将来的な機能追加等を考慮したメニューを準備しています。LIGHT ボタンを押しながら MENU ボタンを押すと表示されます。くわしくは最寄のサービスセンター、もしくは販売店にご相談ください。

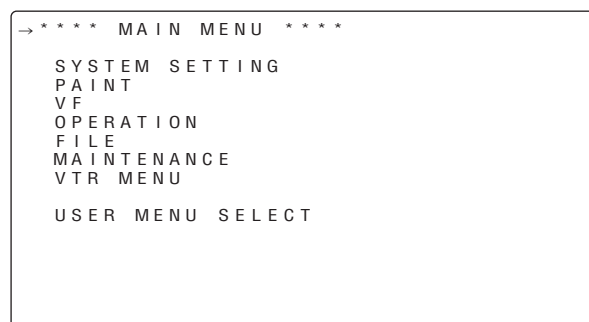
4-6-2 メニューの基本操作

メニュー設定の操作は、MENU ボタンと JOG ダイヤルボタンで操作します。メニューの構成は、メインメニューとサブメニューおよび設定項目メニューの階層化構成に分かれています。

設定されたデータは、不揮発性メモリーに書き込まれ、保存されます。

ここでは、MAIN MENU での操作について説明しますが、画面表示以外の操作方法は他のメニューも同じです。

- 1 MENU ボタンを3秒間以上押します。各カテゴリー別のメニュー画面が表示されます。



SYSTEM SETTING :

本機の記録信号や、記録方式などを決める時に使用する項目です。

PAINT :

波形モニターを使用してカメラの出力波形を監視しながら、細かな画像調整をする場合の項目です。通常ビデオエンジニアのサポートが必要です。このメニュー項目の設定は、外部のリモートコントローラなどでも行えますが、本機を単体で使用する場合に有効です。

VF :

ビューファインダー画面上に表示される内容を選択する場合の項目です。

OPERATION :

通常カメラマンが本機を運用する時、被写体の条件などによって設定を変更する項目です。

FILE :

セットアップカードの読み書きや、レンズファイルなどファイル関連操作を行う項目です。

MAINTENANCE :

本機のカメラ関連の保守点検を行う項目です。

VTR MENU :

本機の VTR 関連の設定や保守点検項目です。

USER MENU SELECT :

USER MENU を編集する時に使用する項目です。

第4章 記録の為の調整と設定

- 2 JOGダイヤルボタンを回して、設定したい項目にマーク(→)を移動し、JOGダイヤルボタンを押すとサブメニュー画面が表示されます。

```
**** MAIN MENU ****  
  
SYSTEM SETTING  
PAINT  
VF  
→ OPERATION  
FILE  
MAINTENANCE  
VTR MENU  
  
USER MENU SELECT
```

- 3 JOGダイヤルボタンを回して、設定したい項目にマーク(→)を移動し、JOGダイヤルボタンを押すと設定項目メニュー画面が表示されます。

```
< OPERATION >  
  
CAMERA ID  
SHUTTER SPEED  
SHUTTER SELECT  
→ USER SW  
SW MODE  
WHITE BALANCE MODE  
USER SW GAIN  
IRIS
```

- 4 JOGダイヤルボタンを回して、設定したい項目にマーク(→)を移動し、JOGダイヤルボタンを押すと設定値内容が点滅します。

```
< USER SW >  
→ USER MAIN SW      *S.GAIN*  
USER1 SW             *ZOOM*  
USER2 SW             *DS.GAIN*
```

- 5 JOGダイヤルボタンを回して、設定値を変更します。

設定値を増加させるには

JOGダイヤルボタンをカメラ正面から見て時計方向に回します。

設定値を減少させるには

JOGダイヤルボタンをカメラ正面から見て反時計方向に回します。

回すたびに1段階切り替わります。早く回すと数値が速く変化し、ゆっくり回すと微調整ができます。

ON/OFFを切り替えるには

ONを選択するときは、JOGダイヤルボタンをカメラ正面から見て時計方向に回します。

OFFを選択するときは、JOGダイヤルボタンをカメラ正面から見て反時計方向に回します。

- 6 JOGダイヤルボタンを押します。
設定値の点滅が停止し、設定値が確定します。

- 7 続けて同じページの設定項目を変更する場合には、手順4~6を繰り返します。

- 8 設定が終了すると、MENUボタンを押します。
メニュー設定モードが終了し、通常の操作モードに戻ります。

4-6-3 USER MENUの選択

メニュー操作で、MAIN MENUからUSER MENU SELECTページを開き、さらに各設定項目メニュー画面を開き、USER MENUに必要な項目のみを選択します。設定された項目のみがUSER MENUとして表示されます。操作方法は、「4-6-2 メニューの基本操作」を参照ください。

```
< USER MENU SELECT > (SELECT MODE)  
→ SYSTEM  
PAINT  
VF  
OPERATION  
FILE  
MAINTENANCE  
VTR
```

<ノート>

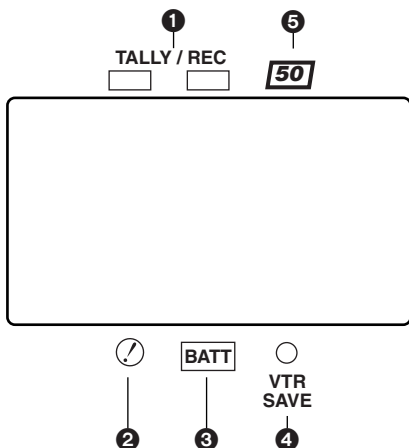
設定項目は「*」表示で有効になります。ただし設定可能な項目はカメラ関連が3ページ分、14×3=42項目と、VTR関連1ページ分14項目となります。

第4章 記録の為の調整と設定

4-7 ビューファインダーの状態表示

ビューファインダー内では、映像の他に本機の設定や動作の状態を示すランプや文字、メッセージ、センターマーカ、セーフティーゾーンマーカ、カメラIDなどが表示されます。

4-7-1 ビューファインダーのランプ表示



表示例は AJ-VF20P の表示です。(ビューファインダーに関する内容は、別売のビューファインダーの取扱説明書をご覧ください)

① TALLY/REC (記録) ランプ

記録時に赤く点灯します。また、異常が発生したときには点滅します。
くわしくは、「6-3 警告システム」を参照ください。

② Ⓢ (変則動作状態警告) ランプ

サブメニュー !LED 項目で ON に設定した項目のうち、本機が変則動作状態になると点灯します。
Ⓢ ランプ表示の対象となる項目の選択については、「第7章 メニュー一覧」の <!LED> 画面の項目を参照ください。

③ BATT (バッテリー) ランプ

バッテリーの電圧が下がり、使用できなくなる数分前に点滅を始め、使用できなくなると点灯します。動作の中断を防ぐため、バッテリーの消耗間近になる前に、バッテリーを交換してください。
くわしくは、「6-3 警告システム」を参照ください。

④ VTR SAVE (VTR 節電) ランプ

VTR SAVE/STBY スイッチを SAVE にすると点灯します。記録中は消灯します。

<ノート>

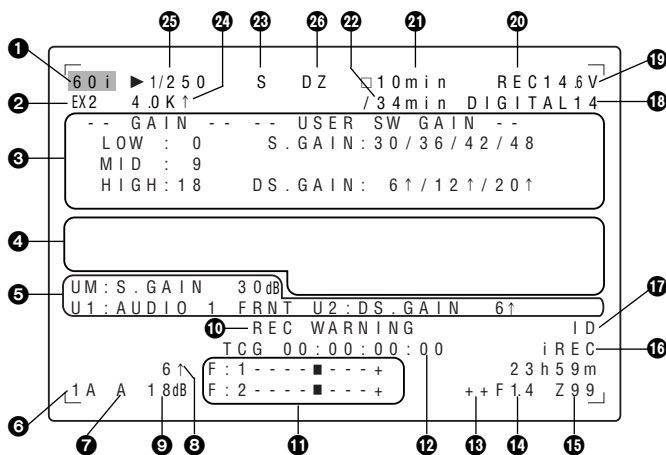
記録一時停止時は、ポーズタイマー (一時停止時間) の設定時間経過後に、再生一時停止時には2分後に、VTR SAVE/STBY スイッチに関係なく自動的に SAVE 状態になり、ランプが点灯します。

⑤ 50 (50 Mbps 記録・再生) ランプ

50 Mbps で記録、または再生するモードを選択しているときと 50 Mbps で再生しているときに点灯します。

4-7-2 ビューファインダー画面の状態表示の構成

表示できるすべての項目は、下の図のように配置されています。



くわしくは次ページ以降をご覧ください。

4-7-3 ビューファインダー画面の表示項目の選択

ビューファインダー画面に表示項目の選択は、メニュー操作で、VF ページ から <VF INDICATOR1> 画面 と <VF INDICATOR2> 画面を開き、各々の項目で表示の ON/OFF または種類を切り替えます。

操作方法は「4-6-2 メニューの基本操作」を参照ください。

```

->< VF INDICATOR1 >

EXTENDER      : ON
SHUTTER       : ON
FILTER        : ON
WHITE         : ON
GAIN          : ON
IRIS          : S+IRIS
CAMERA ID     : BAR
ID POSITION    : UPPER L
DATE/TIME     : OFF
ZOOM LVL     : ON
COLOR TEMP   : ON
CAMERA MODE  : ON
    
```

```

->< VF INDICATOR2 >

TAPE          : ON
BATTERY       : ON
AUDIO LVL    : ON
TC           : OFF
VTR WARNING  : NORMAL
SAVE LED     : SAVE
    
```


第4章 記録の為の調整と設定

表示項目	表示内容	表示されたときの状態
① 撮像のカメラモード	60i, 30P, 24P, 24PA	撮像のカメラモード（プログレッシブ/インターレース）の状態を表示します。
② エクステンダ	EX2	レンズエクステンダが使用されているときに表示します。
③ MODE CHECK 専用表示エリア (STATUS: マスターゲイン、USER SW GAIN)	LOW/MID/HIGH - 3 ~ 30 S.GAIN30/36/42/48 DS.GAIN6 ↑ / 12 ↑ / 20 ↑	マスターゲインの設定値を表示します。 例) LOW : 0 S.GAINとDS.GAINが割り当てられているゲイン値を表示します。
(!LED 点灯要因: 画面全体に表示します) ●!LEDメニューで選択されている項目には「!」マークが付きま ●現在!LED点灯の対象になっている項目には「■」マークが付きま	GAIN (0 dB) GAIN (-3 dB) DS.GAIN SHUTTER WHITE PRE. EXTENDER BLACK STR. MATRIX COLOR COR. FILTER SUPER V 25M/50M ATW D.ZOOM	現在のGAIN状態を表示します。 現在のGAIN状態を表示します。 現在のDS.GAIN値を表示します。 現在のシャッターの状態を表示します。 現在のWHITE BALの状態を表示します。 現在のエクステンダの状態をEX2/OFFで表示します。 現在のブラックストレッチの状態をON/OFFで表示します。 現在のMATRIXの状態をA/B/OFFで表示します。 現在のCOLOR CORRECTIONの状態をON/OFFで表示します。 現在のフィルターの状態を表示します。 現在のSUPER Vの状態をON/OFFで表示します。 現在の記録モードを25M/50Mで表示します。 現在のATWの状態をON/OFFで表示します。 現在のデジタルズームの状態をON/OFFで表示します。
(FUNCTION : VIDEO OUT)	SW: VTR/CAM/OFF SELECT: VBS/VF/Y/SDI CHAR: ON/OFF	OUTPUT SELスイッチの位置を表示します。 VIDEO OUT SELメニューの設定状態を表示します。 VIDEO OUT CHARACTERスイッチの位置を表示します。
(FUNCTION : MONI OUT)	SW: VTR/CAM/OFF CHAR: ON/OFF	VIDEO OUT SELメニューの設定状態を表示します。 MONITOR OUT CHARメニューの設定状態を表示します。
(AUDIO : フロントVRの許可、禁止)	CH1: ON/OFF CH2: ON/OFF	フロントVR CH1が有効ならばON、無効ならばOFFを表示します。 フロントVR CH2が有効ならばON、無効ならばOFFを表示します。
(AUDIO : マイクパワーの状態)	FRONT: ON/OFF REAR: ON/OFF	フロントマイクパワーの状態を表示します。 リアマイクパワーのメニュー設定状態を表示します。
(AUDIO : 各CHの入力信号とレベル)	FRONT/W.L./REAR CH1/2/3/4	各チャンネルの入力信号とレベルを表示します。
④ カメラ警告、通報表示エリア (AWB、ABB、およびスイッチ操作関連)	AWB A ACTIVE AWB B ACTIVE AWB A OK *.*K AWB B OK *.*K AWB BREAK *.*K AWB NG COLOR TEMP LOW COLOR TEMP HIGH LEVEL OVER LOW LIGHT TIME OVER AWB PRESET *.*K ATW MODE CHECK FILTER AWB A VAR *.*K AWB B VAR *.*K ABB ACTIVE ABB OK ABB BREAK ABB NG	AchでAWB動作時に表示します。 BchでAWB動作時に表示します。 AchでAWB動作が正常に終了したときに表示します。 BchでAWB動作が正常に終了したときに表示します。 AWB動作を強制的に終了したときに表示します。 AWB動作が正常に終了しなかったときに表示します。2行目にその状態が表示されます。 色温度が低すぎることを警告しています。 色温度が高すぎることを警告しています。 輝度が高すぎることを警告しています。 輝度が低すぎることを警告しています。 動作時間内に処理が実行できなかったことを警告しています。 AWBスイッチがPREに設定され、AWBが実行できないときに表示します。 ATW動作中にAWBが実行できないことを表示します。 AWB動作時、フィルター切り替えつまみの位置の再確認を警告しています。 AchがVARに設定されていて、AWB動作が実行できない時に表示します。 BchがVARに設定されていて、AWB動作が実行できない時に表示します。 ABB動作時に表示します。 ABB動作が正常に終了したときに表示します。 ABB動作を強制的に終了したときに表示します。 ABB動作が正常に終了しなかったときに表示します。

第4章 記録の為の調整と設定

表示項目	表示内容	表示されたときの状態
④カメラ警告、通報表示エリア (AWB、ABB、およびスイッチ操作関連)	W-SHD ACTIVE W-SHD OK W-SHD BREAK W-SHD NG LVL OVER B-SHD READY B-SHD ACTIVE B-SHD OK B-SHD BREAK B-SHD NG	WHITE SHADING 動作時に表示します。 WHITE SHADING 動作が終了したときに表示します。 WHITE SHADING 動作を強制終了したときに表示します。 WHITE SHADING 動作時、輝度が高すぎるため、正常に終了しなかったことを表示します。 ABB 動作中、ABB スwitchの長押しで BLACK SHADING 動作を受け付けたときに表示します。 BLACK SHADING 動作時に表示します。 BLACK SHADING 動作が終了したときに表示します。 BLACK SHADING 動作を強制終了したときに表示されます。 BLACK SHADING 動作が正常に終了しなかったときに表示します。
(スイッチ切り換え表示)	WHITE: # *.*K AUTO KNEE: ON/OFF GAIN: **dB SS: 1/***** SS: ▶ 1/***** SS: SUPER V CC: **** *K ND: * EXTENDER: ON/OFF IRIS: ** F *.*	WHITE BAL スwitchを切り替えたとき、表示します。#にはA/B/PREのいずれかが表示されます。Ach、BchがVARのときは、VAR *.*Kと表示します。またBchにATWが割り当てられているときはATW MODEと表示します。 AUTO KNEE スwitchをON/OFFしたときに表示します。 GAIN 切り換えスswitchやUSER ボタンでGAIN を切り替えたときに表示します。 シャッタースピードを切り替えたとき、その値を表示します。 シャッタースピードがシンクロスキャンを選択したときに表示します。 シャッタースピードでSUPER Vを選択したときに表示します。 CC フィルターを切り替えたときに表示します。 ND フィルターを切り替えたときに表示します。 レンズエクステンダがON/OFFされたときに表示します。 IRIS OVERRIDEの補正值を変化させるときに表示します。
(LOW LIGHT 警告表示)	LOW LIGHT	輝度が低下したとき、表示します。
(Y GET の値)	***.*%	Y GET ON時、センターマーカ付近の出力輝度レベルを%表示します。
(CALL 表示)	CALL	延長装置からCALL コマンドがあったときに表示します。
(MARKER 表示)	MKR: A/B/OFF	現在表示しているマーカの種類を表示します。
⑤USER ボタンの割り当て情報 UM: USER MAIN ボタン U1: USER1 ボタン U2: USER2 ボタン	INH S.GAIN **dB/OFF DS.GAIN **↑/OFF S.IRIS ON/OFF I.OVR ON/OFF S.BLK - **/OFF B.STR ON/OFF AUDIO CH1 AUDIO CH2 REC SW Y GET ON RET SW ATW ON/OFF D.ZOOM ON/OFF	USER ボタンを動作させないとき、INHを表示します。 選択されたS.GAINを表示します。 選択されたDS.GAINを表示します。 S.IRISのON/OFFを表示します。 IRIS OVERRIDE設定が可能(ON)なとき、表示します。 SUPER BLACKのON/OFFを、またON時は設定値も表示します。 BLACK STRETCH(黒レベルの階調補正)のON/OFFを表示します。 音声チャンネル1に記録する入力信号が切り替えられたときに表示します。 音声チャンネル2に記録する入力信号が切り替えられたときに表示します。 USER ボタンがREC スwitchとして機能しているとき、MODE CHECK時のみ表示します。 出力輝度レベル(センターマーカ付近を約3秒間・%単位)を測定する機能がONのとき表示します。 USER ボタンがRET スwitchとして機能しているとき、MODE CHECK時のみ表示します。 ATWが動作しているとき、表示します。 D.ZOOMのON/OFFを表示します。
⑥フィルターポジション	1~4 A~D -	ND フィルターの位置を表示します。 CC フィルターの位置を表示します。 フィルターポジションが正規の位置に設定されていません。
⑦WHITE BAL スwitchポジション	A B P T	WHITE BAL スwitchがAchに設定されています。 WHITE BAL スwitchがBchに設定されています。 WHITE BAL スwitchがPREに設定されています。 ATWモードが設定されています。ただし輝度、および色が動作範囲外の時は点滅します。
⑧蓄積ゲイン表示	6↑/12↑/20↑	蓄積GAIN(DS.GAIN)が働いているとき、その値を表示します。
⑨ゲイン値	*dB	現在のGAIN値を表示します。

第4章 記録の為の調整と設定

表示項目	表示内容	表示されたときの状態
⑩ VTR 警告、情報	REC WARNING SLACK E-*** HUMID SERVO RF BACKUP BATT EMPTY WIRELESS-RF	記録中の異常の発生を表示します。 メカニズムに起因した異常の発生を表示します。異常の種類によっては自動的に電源が切れる場合もあります。 <ノート> 表示されるコードについて、くわしくは「6-3-2 エラーコード」をご覧ください。 結露の発生を表示します。 録画・再生中にサーボロックが行われていません。 テープからの信号が低下しています。 バックアップ電池の交換時期です。 ワイヤレスからの RF 信号が低下しています。
⑪ AUDIO 入力系統とレベルメーター	- - - - ■ - - - + F W R	選択したチャンネルとそのオーディオレベルを表示します。 AUDIO IN スイッチが FRONT のときに表示します。 AUDIO IN スイッチが WIRELESS のときに表示します。 AUDIO IN スイッチが REAR のときに表示します。
⑫ タイムコード表示	TCG 12:59:59:20 TCR 12:59:59:20 (V)UBG AB CD EF 00 (V)UBR 12 34 56 78 CTL -01:59:59:20	TCG (タイムコードジェネレーター値) を表示します。 TCR (タイムコードリーダー値) を表示します。 UBG VUBG 表示を表示します。 UBR VUBR を表示します。 CTL-COUNTER (CTL カウンター値) を表示します。
⑬ アイリスオーバーライド表示	++ + (無表示) - --	アイリスオーバーライドが働いている時、その補正段階を表示します。 ++ : 1 絞り開きぎみ + : 0.5 絞り開きぎみ -- : 1 絞り閉じぎみ - : 0.5 絞り閉じぎみ 無表示 : 基準状態
⑭ アイリス、F 値	NC OPEN F1.7 ~ F16 CLOSE	レンズケーブルが接続されていないときに表示されます。 レンズの絞りが開放されているときに表示されます。 レンズの絞り値を表示します。 レンズの絞りが閉じているときに表示されます。 <ノート> 絞り値の表示機能を持ったレンズを使用している場合に表示されます。また、アイリスオーバーライド可変中は点滅します。
⑮ ズーム表示	Z00 ~ Z99	ズーム量を表示します。ただし、ズームポジションのリターンがないレンズの場合、表示設定が ON になっていても、この項目は表示されません。
⑯ インターバル・ブリエック表示	i (点滅) iREC (点滅) iREC (点滅) **h**m/**s P-REC (点滅) *s	INTERVAL REC モード時、スタート前、終了後の REC ボタンを受け付けない時間帯に表示します。 INTERVAL REC 実行中に表示します。 INTERVAL REC 待機中、次の記録までの待機時間を表示します。 PRE REC 実行中、PRE REC として設定された時間が終了するまでの残り時間を表示します。
⑰ ID 記録表示	ID	カメラ映像に ID を重畳して記録するように設定されているとき、表示します。
⑱ バッテリーの種類	AJ-BP490 ~ AC_ADPT	メニューでセレクトされているバッテリー種類を表示します。また AC アダプタを入力している場合は、AC_ADPT と表示します。
⑲ バッテリー残量/電圧	**.*V ***% EMP MAX	バッテリー残量を 0.1 V 単位で表示します。 デジタルバッテリー残量を % で表示します。 バッテリー残量がないときに表示します。 バッテリーが FULL 充電時、表示します。
⑳ 本機の REC 表示	REC	延長装置や 26 ピン (BOTH) 接続時、本機の記録状態をキャラクタで表す時に表示します。記録中には点灯し、記録移行中または警告時は点滅します。
㉑ テープ残量	***min END INH	通常時は “***min” が点灯し、ニアエンド中は点滅します。 テープエンド時には “END” が点灯します。 記録禁止時は “INH” が点灯します。

第4章 記録の為の調整と設定

表示項目	表示内容	表示されたときの状態
㉒ カセットテープの全テープ長	***min	カセットテープの全テープ長を表示します。
㉓ スーパーアイリス ON /スーパーブラック ON	S B SB	S.IRIS ONの時に表示します。 S.BLK ONの時に表示します。 S.IRIS と S.BLK が両方 ON のときに表示します。
㉔ 色温度	*.*K	WHITE BAL スイッチの A、B、PRE に割り付けられた色温度を表示します。(AWB 実行時のメモリー値の場合と、メニュー設定値の場合があります) ATW MODE のときは表示しません。
㉕ シャッタースピード /モード	▶1/**.* 1/100 ~ 1/2000 SUPER V	シャッタースピードが SYNCHRO SCAN に設定されています。 固定のシャッタースピードが設定されています。 SUPER V (高垂直解像度モード) に設定されています。
㉖ D.ZOOM	DZ	D.ZOOM モードのときに表示します。なお、FOCUS モードが選択されているときは、その間のみ点滅表示します。

ビューファインダー画面の表示選択

	メニューで表示/ 非表示を選択	該当の状態に なった時、 状態を表示	MODE CHECK で表示 *1	表示を消すこと ができる	再生時表示する
① 撮像のカメラモード	○	-	●	○	-
② エクステンダ	○	○	●	○	-
③ MODE CHECK 専用表示エリア	-	-	○	○	-
④ カメラ警告、通報表示エリア	-	○	○	○	-
⑤ USER ボタンの割り当て情報	-	○	○	○	-
⑥ フィルターポジション	○	-	●	○	-
⑦ WHITE BAL スイッチポジション	○	-	●	○	-
⑧ 蓄積ゲイン表示	○	-	●	○	-
⑨ ゲイン値	○	-	●	○	-
⑩ VTR 警告、情報	○	○	●	○	-
⑪ AUDIO 入力系統とレベルメーター	○	-	4ch 全入力情報	○	-
⑫ タイムコード表示	○	-	●	○	○ (メニューによる)
⑬ アイリスオーバーライド表示	○	○	●	○	-
⑭ アイリス、F 値	○	-	●	○	-
⑮ ズーム表示	○	-	●	○	-
⑯ インターバル・プリレック表示	-	○	●	○	-
⑰ ID 記録表示	-	○	●	-	-
⑱ バッテリーの種類	-	-	●	○	-
⑲ バッテリー残量/電圧	○	-	●	○	-
⑳ 本機の REC 表示	○	○	●	○	-
㉑ テープ残量	○	-	●	○	-
㉒ カセットテープの全テープ長	-	-	●	○	-
㉓ スーパーアイリス ON /スーパーブラック ON	○	○	●	○	-
㉔ 色温度	○	○	●	○	-
㉕ シャッタースピード/モード	○	○	●	○	-
㉖ D.ZOOM	-	○	●	○	-

*1 ○: <MODE CHK IND> 画面の STATUS 項目を OFF に設定しているときは表示しません。

●: メニューによらず強制で表示します。

第4章 記録の為の調整と設定

4-7-4 表示モードと設定変更/調整結果メッセージ

設定変更の内容や、調整結果を知らせるメッセージは、表示モードの設定によって、表示させる項目を一部に絞るか、全くさせないかなどの表示方法を選択できます。選択は、メニュー操作で、VF ページから <VF DISPLAY> 画面を開き、DISP MODE 項目で表示モードを選択します。操作方法は「4-6-2 メニューの基本操作」を参照ください。

```

->< VF DISPLAY >

DISP CONDITION      : NORMAL
DISP MODE           : 3
VF OUT              : Y
VF DTL              : 3
ZEBRA1 DETECT       : 070%
ZEBRA2 DETECT       : 085%
ZEBRA2              : SPOT
LOW LIGHT LVL       : 35%
ECU MENU DISP      : OFF
50M INDICATOR       : OFF
MARKER/CHAR LVL    : 50%
    
```

設定変更/調整結果メッセージと表示モード

メッセージが表示される状況	メッセージ	表示モードの設定		
		1	2	3
フィルターの選択を変更したとき	フィルター： n (n=1, 2, 3, 4)、m (m=A, B, C, D)	×	×	○
ゲインの設定を変更したとき	GAIN： n dB (n=-3, 0, 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30)	×	×	○
WHITE BAL スイッチの設定を変更したとき	WHITE： n (n=ACH, BCH, PRESET)	×	×	○
OUTPUT/AUTO KNEE スイッチを「AUTO KNEE」または、「OFF」に設定したとき	AUTO KNEE： ON (または OFF)	×	○	○
シャッタースピード/モードの設定を変更したとき	SS： 1/100 (または 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, S.SCAN)	×	○	○
ホワイトバランスを調整したとき (AWB)	例) AWB A OK 3.2 K	×	○	○
ブラックバランスを調整したとき (ABB)	例) ABB OK	×	○	○
エクステンダが選択されたとき	例) EXTENDER ON	×	×	○
USER ボタンが選択されたとき	例) UM： S.GAIN 30 dB	×	○	○
MARKER SELECT ボタンが選択されたとき	例) MKR： A	×	×	○
IRIS OVERRIDE 状態になったとき	例) ++ F 5.6	×	○	○

○：表示されます。
×：表示されません。

4-7-5 マーカー表示の設定

センターマーカー、セーフティーゾーンマーカー、セーフティーゾーンエリア、フレームマーカーの表示の ON/OFF および種類を選択します。選択は、メニュー操作で VF ページから <VF MARKER> 画面を開き、各項目で表示モードを選択します。操作方法は「4-6-2 メニューの基本操作」を参照ください。

```

->< VF MARKER >                                MKR: A
TABLE           : A
CENTER MARK     : 1
SAFETY ZONE     : 2
SAFETY AREA     : 90%
FRAME SIG       : 4:3
FRAME MARK      : OFF
FLAME LVL       : 15
    
```

<ノート>

右上の MKR:A 表示が現在の表示状態を示します。TABLE B を確認するときは MARKER SELECT ボタンを押して MKR:B にすると、その設定条件が確認できます。

4-7-6 カメラ ID の設定

カメラ ID の設定は、「CAMERA ID」画面で設定します。10 文字以内の英数字や記号、スペースが使用できます。

<ノート>

設定メニューの表示中は、カラーバー信号を出力してもカメラ ID は表示されません。

1 メニュー操作で、OPERATION ページから <CAMERA ID> 画面を開きます。

```

->< CAMERA ID >

ID1 : ABCDEFGHIJ
ID2 : ABCDEFGHIJ
ID3 : ABCDEFGHIJ
    
```

第4章 記録の為の調整と設定

- JOGダイヤルボタンを回して、「ID 1 : ~ 3 :」の項目に矢印（カーソル）を移動します。
- JOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）がID入力エリアに移動して入力モードになります。
- 設定したい文字が現れるまで、JOGダイヤルボタンを回します。JOGダイヤルボタンを回すと、文字表示が
スペース： □
↓
アルファベット： A ~ Z
↓
数字： 0 ~ 9
↓
記号： '、>、<、/、-
の順に切り替わります。
- JOGダイヤルボタンを押して、文字を確定します。
- JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、4 ~ 5の操作を繰り返して、文字を設定します。
- 文字の入力が終わるとJOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動します。
- JOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）が「ID 1 : ~ 3 :」の項目に戻ります。
- メニュー操作を終了するときは、MENUボタンを押します。設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

<ノート>

<VF INDICATOR1>画面のCAMERA ID項目をBARに設定すると、カメラIDがカラーバー信号と同時に記録されます。

4-7-7 状態確認画面の表示 (MODE CHECK ボタン機能)

本機の各設定や状態が確認できる画面をビューファインダー上に表示できます。

本機のMODE CHECKボタンを押す度に、4つの画面表示が切り替わります。

STATUS画面表示→!LED画面表示→FUNCTION画面表示→AUDIO画面表示→無表示

なお、各々の画面の表示時間は約3秒です。表示中にMODE CHECKボタンを押すと次の画面に移行します。表示の選択は、メニュー操作で、VFページから<MODE CHECK IND>画面を開き、各画面表示のON/OFFを選択します。

```
→< MODE CHECK IND >
STATUS           : ON
! LED           : ON
FUNCTION        : ON
AUDIO          : ON
P.ON IND       : ON
```

4-7-8 マーカー確認画面の表示 (MARKER SELECT ボタン機能)

本機のマーカー状態が確認できる画面をビューファインダー上に表示できます。

本機のMARKER SELECTボタンを押す度に、2つの画面表示が切り替わります。

A マーカー表示→B マーカー表示→無表示

表示中にMARKER SELECTボタンを押すと次の画面に移行します。あらかじめ、メニュー操作でVFページから<VF MARKER>画面を開き、TABLE項目でAを設定し、他の項目でマーカー情報を選択します。

次にTABLE項目でBに設定し、他の項目でマーカー情報を選択します。

例えば、Aのマーカー情報としてFRAME SIG項目を16:9に設定し、Bのマーカー情報としてFRAME SIG項目を4:3に設定すると、必要に応じてこのボタン操作で16:9の画角と4:3の画角の確認等が簡単にできます。

4-7-9 リターンビデオ信号のビューファインダーでの確認

レンズのRETボタンを押している間、GENLOCK IN端子に入力されたリターンビデオ信号をビューファインダー上で見ることができません。

本機能を動作させるには、メニュー操作でOPERATIONページから<SW MODE>画面を開き、RET SW項目でCAM RETを選択します。

```
→< SW MODE >
RET SW           : REC CHECK
S.BLK LVL       : -10
AUTO KNEE SW    : ON
SHD.ABB SW CTL  : ON
COLOR BARS      : SMPTE
S.GAIN OFF      : L/M/H
DS.GAIN OFF     : DS.GAIN
D.ZOOM SEL      : ZOOM
ECU DATA SAVE  : OFF
```

第4章 記録の為の調整と設定

4-8 メニューによる各機能のセットアップ

本機のメニューを使用して、各機能のセットアップをします。

4-8-1 USER SW GAIN の切換えの設定

本機は、L/M/Hの標準的なゲインとは別に、30dB以上のアナログゲインアップS.GAIN（スーパーゲイン）モードとプログレッシブ駆動を利用した蓄積型のゲインアップDS.GAIN（デジタルスーパーゲイン）モードが使用できます。本機能の選択は、メニュー操作でOPERATIONページから<USER SW GAIN>画面を開き、S.GAIN項目とDS.GAIN項目でそれぞれ使用するGAINをあらかじめ設定します。例えば、USER MAIN ボタンかUSER1 ボタンかUSER2 ボタンいずれかにS.GAINとDS.GAIN機能を割り付けた場合、各USERボタンとの組み合わせで3通りのゲインアップが可能となります。

1) ノイズ感を増さずにゲインアップしたい場合

L/M/HゲインとDS.GAIN機能を組み合わせます。

2) 通常のアナログのゲインアップをしたい場合

（ノイズ感は増します）

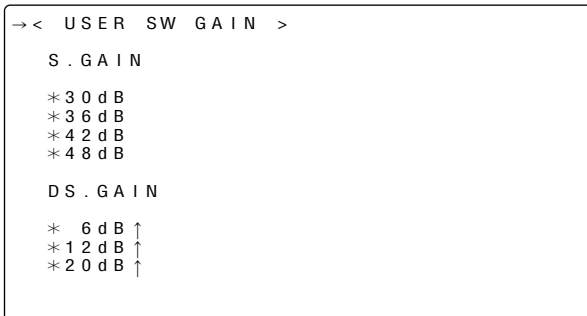
S.GAIN機能のみを使用します。

3) 超高感度モードとして使用したい場合

S.GAIN機能とDS.GAIN機能を組み合わせて使用します。（MAX 68dBのゲインアップが可能になります）

ただし、DS.GAINのゲインアップの値が大きい程、動きのある被写体では残像が目立ちますので取り扱いには十分ご注意ください。

動きのある被写体では、+12dB ↑まででご使用ください。なお、本機をプログレッシブモードで使用時はDS.GAIN機能は働きません。



設定項目と設定内容について

S.GAIN : * マークのあるアナログゲインアップが有効となります。

* マークのないアナログゲインアップは機能しません。

DS.GAIN : * マークのある蓄積型のゲインアップが有効となります。

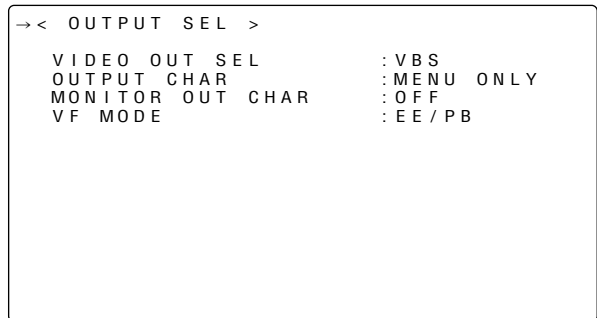
* マークのない蓄積型のゲインアップは機能しません。

4-8-2 映像出力信号の選択

VIDEO OUT 端子、MON OUT 端子からの出力信号を選択します。

本機能の選択は、メニュー操作でSYSTEM SETTINGページから<OUTPUT SEL>画面を開き、VIDEO OUT SEL項目とOUTPUT CHAR項目とMONITOR OUT CHAR項目でVIDEO OUTの信号選択と、VIDEO OUTおよびMONITOR OUTのキャラクターの選択とMONITOR OUTにキャラクターを重畳/非重畳の選択を設定します。

SDI アウトボード（AJ-YA902AG）を装着時はVIDEO OUTの信号選択としてSDI OUTが出力可能となります。



設定項目と設定内容について

項 目	可変範囲	備 考
VIDEO OUT SEL	VBS VF Y SDI	VIDEO OUT 端子の出力信号を選択します。 VBS: 通常のコンポジット信号を出力します。 VF: VFのY信号を出力します。ステータスの表示も重畳されます。 Y: コンポーネントのY信号を出力します。 SDI: SDI アウトボード（AJ-YA902AG）を装着時のみ選択可能で、SDI信号を出力します。
OUTPUT CHAR	TC STATUS MENU ONLY	VIDEO OUT 端子（ANALOGまたはSDI）、およびMON OUT 端子の出力信号に重畳するキャラクターの内容を設定します。 TC: タイムコードを表示します。（メニューの時はメニューを表示） STATUS: VFに重畳しているキャラクターと同じものを全て表示します。（メニューの時はメニューを表示） MENU ONLY: メニューの時のみ表示します。通常は何も表示しません。
MONITOR OUT CHAR	ON OFF	サイドパネルのVIDEO OUT CHARACTER スイッチとは独立してMON OUT 端子にキャラクターを重畳するかどうかを選択します。 ON: 重畳します。 OFF: 重畳しません。

第4章 記録の為の調整と設定

4-8-3 F.AUDIO LEVEL ボリュームの機能の選択

F.AUDIO LEVEL ボリュームでも録音レベルの調整をすることができます。

本機能の選択は、メニュー操作で、VTR MENU ページから <MIC/AUDIO1> 画面を開き、FRONT VR CH1 と FRONT VR CH2 の項目で入力信号として選択された系統に対して、F.AUDIO LEVEL ボリュームを有効にするかしないかを設定します。

```

->< MIC / AUDIO 1 >
FRONT VR CH1 : OFF
FRONT VR CH2 : OFF
MIC LOWCUT CH1 : OFF
MIC LOWCUT CH2 : OFF
MIC LOWCUT CH3 : OFF
MIC LOWCUT CH4 : OFF
LIMITER CH1 : OFF
LIMITER CH2 : OFF
AUTO LEVEL CH3 : ON
AUTO LEVEL CH4 : ON
REC CH3 / CH4 : SW
CUE REC SELECT : CH1
TEST TONE : NORMAL
    
```

設定項目と設定内容について

項目	可変範囲	備考
FRONT VR CH1	FRONT W.L REAR ALL OFF	音声 CH1 に選択された入力信号に対して、F.AUDIO LEVEL ボリュームを有効にするかどうか選択します。 FRONT: FRONT が選択された時のみ有効です。 W.L: WIRELESS が選択された時のみ有効です。 REAR: REAR が選択された時のみ有効です。 ALL: どの入力も選択されても有効です。 OFF: どの入力も選択されても無効です。ボリュームを回しても録音レベルは変化しません。
FRONT VR CH2	FRONT W.L REAR ALL OFF	音声 CH2 に選択された入力信号に対して、F.AUDIO LEVEL ボリュームを有効にするかどうか選択します。 FRONT: FRONT が選択された時のみ有効です。 W.L: WIRELESS が選択された時のみ有効です。 REAR: REAR が選択された時のみ有効です。 ALL: どの入力も選択されても有効です。 OFF: どの入力も選択されても無効です。ボリュームを回しても録音レベルは変化しません。

4-8-4 USER MAIN、USER1 および USER2 ボタンへの機能割り付け

USER MAIN、USER1 および USER2 ボタンに希望の機能を割り当てることができます。

本機能の選択は、メニュー操作で、OPERATION ページから <USER SW> 画面を開き、USER MAIN SW 項目と USER1 SW 項目と USER2 SW 項目で各々に希望機能を設定します。

```

< USER SW >
-> USER MAIN SW : S.GAIN
USER1 SW : D.ZOOM
USER2 SW : DS.GAIN
    
```

選択可能な機能について

- INH :** 機能を割り付けません。
- S.GAIN :** S.GAIN 機能を割り付けます。
- DS.GAIN :** DS.GAIN 機能を割り付けます。
- S.IRIS :** SUPER IRIS 機能を割り付けます。逆光補正を行う時に有効です。
- I.OVR :** IRIS オーバーライド機能を割り付けます。オートアイリスモードでの目標値（基準値）を変更します。目標値を変更するには、本モードに設定してから、JOG ダイヤルボタンを押すと目標値の変更が可能になります。JOG ダイヤルボタンを左右に回し、目標値を変更します。ビューファインダー画面上的のアイリス表示部の左側に +、++、- または -- が表示されます。変更したい位置で JOG ダイヤルボタンの回転を止め、JOG ダイヤルボタンを押すと目標値の変更が確定します。なお、このモードを解除した時や、一端電源をオフすると基準値に戻ります。
+ : 絞りを 0.5 開きぎみにします。
++ : 絞りを 1 開きぎみにします。
- : 絞りを 0.5 閉じぎみにします。
-- : 絞り 1 閉じぎみにします。
無表示 : 基準値です。
- S.BLK :** SUPER BLACK 機能を割り付けます。黒レベルをペダスタルレベル以下にする機能です。
- B.STR :** BLACK ストレッチ機能を割り付けます。黒の階調を強調する機能です。
- AUDIO CH1 :** 音声チャンネル 1 の入力信号を切り替える機能を割り付けます。押すごとに FRONT → W.L. → REAR の順番で切り替わります。このとき AUDIO IN スイッチも操作を受け付け可能で、より後に受け付けた操作を優先します。

第4章 記録の為の調整と設定

- AUDIO CH2** : 音声チャンネル2の入力信号を切り替える機能を割り付けます。
押すごとに FRONT → W.L. → REAR の順番で切り替わります。このとき AUDIO IN スイッチも操作を受け付け可能で、より後に受け付けた操作を優先します。
- REC SW** : VTR の START ボタンの機能を割り付けます。
- Y GET** : センターマーカー部の輝度レベルを表示させる機能を割り付けます。
- RET SW** : レンズの RET ボタンの機能を割り付けます。
- ATW** : 自動追尾式のホワイトバランス機能を割り付けます。
- D.ZOOM** : 画角を縦横2倍にズームアップします。
フォーカスアシスト機能としても有効です。
<ノート>
記録するカメラの動作モードが 60i に設定されているとき、本機能を動作させると、動作中は強制的に 30P モードになります。

4-8-5 マニュアルでの色温度の設定

ホワイトバランスを色温度設定により手動で調整することができます。マニュアルの色温度設定は、WHITE BAL スイッチの PRST、A、B それぞれに設定可能です。メニュー操作で、OPERATION ページから <WHITE BALANCE MODE> 画面を開き、AWB A 項目、AWB B 項目で VAR を選択した時、マニュアルの色温度が有効になります。その色温度の設定は、COLOR TEMP PRE 項目、COLOR TEMP A 項目、COLOR TEMP B 項目で設定します。

```
-<< WHITE BALANCE MODE >>
FILTER INH           : ON
SHOCKLESS AWB       : NORMAL
AWB AREA             : 25%
AWB&ABB OFFSET      : OFF

COLOR TEMP PRE      : 3200K
AWB A                : MEM
COLOR TEMP A        : 3200K
AWB B                : MEM
COLOR TEMP B        : 3200K
ATW SPEED           : NORMAL
```

4-9 データの取り扱い

セットアップカード

セットアップカード（別売品）を使用すると、設定メニューの内容を記憶させることができます。このデータを使えば、適切なセットアップ状態を素早く再現します。

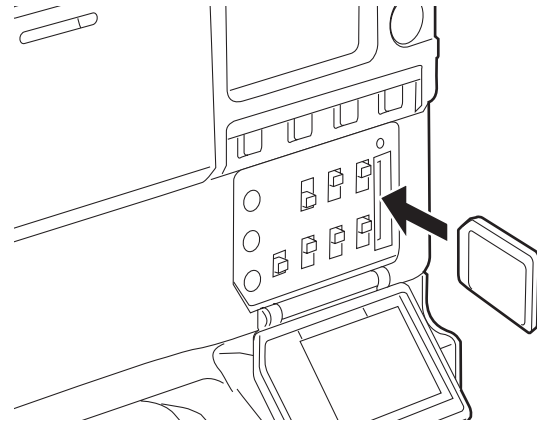
- セットアップカードとして SD メモリーカードやマルチメディアカードが使用できます。

4-9-1 セットアップカードの取り扱い

セットアップカードは、電源を入れる前でも入れた後でも出し入れすることができます。

セットアップカードを入れるには

スイッチカバーの蓋を開け、セットアップカード（別売）の切り欠き部を上にして、セットアップカード挿入口に差し込み、スイッチカバーの蓋を閉めます。



<ノート>

セットアップカードの向きが正しいことを確認してからセットアップカードを入れてください。入れる際に抵抗があって入りにくいときは、セットアップカードが裏向き、または上下が逆になっている可能性があります。無理に押し込まず、向きを再度確認して正しく入れ直してください。

セットアップカードを取り出すには

スイッチカバーの蓋を開け、BUSY ランプが点灯していないことを確認してからセットアップカードを更に本体側へ押し込みます。セットアップカードが挿入口から浮いてきますので、セットアップカードをつかみ引き抜き、スイッチカバーの蓋を閉めます。

使用時、保管時は以下の点にご注意ください。

- 高温・多湿を避ける。
- 水滴を付けない。
- 帯電を避ける。

セットアップカードは、本機に挿入してふたを閉めた状態で保存してください。

第4章 記録の為の調整と設定

4-9-2 セットアップカードの操作

セットアップカードのフォーマットや、設定データのセットアップカードへの書き込み、または書き込まれたデータの読み出し操作は、メニュー操作でFILEページから<CARD READ/ WRITE>画面を開いて行います。

```
→< CARD READ/WRITE >
R . SELECT      : 1
  READ
W . SELECT      : 1
  WRITE
CARD CONFIG
TITLE READ

TITLE :
1 : ***** 5 : *****
2 : ***** 6 : *****
3 : ***** 7 : *****
4 : ***** 8 : *****
```

セットアップカードをフォーマットするには

- 1 メニュー操作を行い、<CARD READ/WRITE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をCARD CONFIGの項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```
CONFIG?
YES
→ NO
```

- 4 セットアップカードのフォーマットを行う場合は、JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。セットアップカードのフォーマットが終了すると、次のようなメッセージが表示されます。

```
CONFIG OK
```

JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、フォーマットは実行されません。

エラーメッセージ	対策
CONFIG NG NO CARD (セットアップカードが挿入されていません)	カードを挿入します。
CONFIG NG ERROR (フォーマットができません)	カードの不良が考えられます。 カードを交換します。
CONFIG NG WRITE PROTECT	カードを取り出してプロテクトを解除してください。

- 5 メニュー操作を終了するときは、MENUボタンを押します。設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

<ノート>

<CARD READ/WRITE>画面が開いている状態でセットアップカードを挿入したときは、データのタイトルを認識できません。TITLE READの項目に矢印（カーソル）を移動し、JOGダイヤルボタンを押してください。データのタイトルを認識し、タイトルを表示します。

設定したデータをセットアップカードに書き込むには

- 1 メニュー操作を行い、<CARD READ/WRITE>画面を開きます。

ファイルNo. を選択する

- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「W.SELECT」項目に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。

```
< CARD READ/WRITE >
R . SELECT      : 1
  READ
→ W . SELECT    : 1
  WRITE
CARD CONFIG
TITLE READ

TITLE :
1 : ***** 5 : *****
2 : ***** 6 : *****
3 : ***** 7 : *****
4 : ***** 8 : *****
```

- 3 JOGダイヤルボタンを回して、1～8までの任意の番号を選択し、JOGダイヤルボタンを押します。

第4章 記録の為の調整と設定

選択したファイルにタイトルをつける

4 JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を「TITLE :」の項目に移動します。

```
< CARD READ / WRITE >
R . SELECT      : 1
  READ
W . SELECT      : 1
  WRITE
CARD CONFIG
TITLE READ
→ TITLE :
1 : ***** 5 : *****
2 : ***** 6 : *****
3 : ***** 7 : *****
4 : ***** 8 : *****
```

5 JOG ダイアルボタンを押すと、タイトル入力エリアに矢印（カーソル）が移動して入力モードになります。

```
< CARD READ / WRITE >
R . SELECT      : 1
  READ
W . SELECT      : 1
  WRITE
CARD CONFIG
TITLE READ
↓
TITLE :
1 : ***** 5 : *****
2 : ***** 6 : *****
3 : ***** 7 : *****
4 : ***** 8 : *****
```

6 設定したい文字が現れるまで、JOG ダイアルボタンを回します。

JOG ダイアルボタンを回すと、文字表示が

スペース：



アルファベット： A～Z



数字： 0～9



記号： '、>、<、/、-

の順に切り替わります。

7 JOG ダイアルボタンを押して、文字を確定します。

8 JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、6～7の操作を繰り返して、文字を設定します。（8文字以内）

選択したファイルにデータを書き込む

9 タイトルの入力が終わると JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動します。

```
< CARD READ / WRITE >
R . SELECT      : 1
  READ
W . SELECT      : 1
  WRITE
CARD CONFIG
TITLE READ
↓
TITLE :
1 : ***** 5 : *****
2 : ***** 6 : *****
3 : ***** 7 : *****
4 : ***** 8 : *****
```

10 JOG ダイアルボタンを押すと、矢印（カーソル）が「TITLE :」の項目に戻ります。

11 JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を「WRITE」の項目に移動します。

12 JOG ダイアルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```
WRITE ?
  YES
→ :NO:
TITLE :
```

JOG ダイアルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、データを書き込むことができません

エラーメッセージ	対策
WRITE NG NO CARD (セットアップカードが挿入されていません)	カードを挿入します。
WRITE NG FORMAT ERROR (フォーマットが違います)	本機以外の機器でフォーマットされたカードです。 カードを交換します。
WRITE NG ERROR (書き込みができません)	カードの不良が考えられます。 カードを交換します。
WRITE NG WRITE PROTECT	カードを取り出してプロテクトを解除してください。

第4章 記録の為の調整と設定

- 13 JOG ダイアルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOG ダイアルボタンを押します。データの書き込みが終了すると、次のようなメッセージが表示されます。

```
WRITE OK
```

- 14 メニュー操作を終了するときには、MENU ボタンを押します。設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

セットアップカードに書き込まれているデータを読み出すには

- 1 メニュー操作を行い、<CARD READ/WRITE> 画面を開きます。データを書き込むときにタイトルを付けておくとタイトルも表示されます。

ファイルNo. を選択する

- 2 JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を「R.SELECT」項目に移動し、JOG ダイアルボタンを押します。

```
< CARD READ/WRITE >
→ R . SELECT          1
  READ
  W . SELECT          1
  WRITE
  CARD CONFIG
  TITLE READ

TITLE :
1 : ***** 5 : *****
2 : ***** 6 : *****
3 : ***** 7 : *****
4 : ***** 8 : *****
```

- 3 JOG ダイアルボタンを回して、1～8までの任意の番号を選択し、JOG ダイアルボタンを押します。

選択したファイルのデータを読み出す

- 4 JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を「READ」の項目に移動します。

```
< CARD READ/WRITE >
R . SELECT          : 1
→  READ
W . SELECT          : 1
  WRITE
  CARD CONFIG
  TITLE READ

TITLE :
1 : ***** 5 : *****
2 : ***** 6 : *****
3 : ***** 7 : *****
4 : ***** 8 : *****
```

- 5 JOG ダイアルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```
READ?
YES
→ NO
```

- 6 JOG ダイアルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOG ダイアルボタンを押します。データの書き込みが終了すると、次のようなメッセージが表示されます。

```
READ OK
```

第4章 記録の為の調整と設定

JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、データを読み出すことができません。

エラーメッセージ	対策
READ NG NO CARD (セットアップカードが挿入されていません)	カードを挿入します。
READ NG FORMAT ERROR (フォーマットが違います)	本機以外の機器でフォーマットされたカードです。 カードを交換します。
READ NG NO FILE (ファイルがありません)	ファイルデータを書き込みます。
READ NG ERROR (読み出しができません)	本機以外で書き込まれたデータは読み出せません。

- 7** メニュー操作を終了するときには、MENU ボタンを押します。設定メニューが消え、カードから読み出されたデータに基づく設定状態が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

4-9-3 ユーザーデータの使い方

本機の内部メモリーのユーザーエリアに、設定データの内容の書き込み、または書き込まれたデータの読み出しをすることができます。
このデータを使えば、適切なセットアップ状態を素早く再現できます。

データの書き込み操作は、メニュー操作でFILE ページから<INITIALIZE>画面を開いて行い、書き込まれたユーザーデータの読み出しは、メニュー操作でFILE ページから<SCENE>画面を開いて行います。

```
→< INITIALIZE >
  READ FACTORY DATA
  WRITE USER DATA
```

```
→< SCENE >
  READ USER DATA
  SCENE SEL      : 1
  READ
  WRITE
  RESET
  TITLE1 : *****
  TITLE2 : *****
  TITLE3 : *****
  TITLE4 : *****
```

設定データをユーザーエリアに書き込むには

- 1 メニュー操作を行い、<INITIALIZE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をWRITE USER DATAの項目に移動します。

```
< INITIALIZE >
  READ FACTORY DATA
→ WRITE USER DATA
```

- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

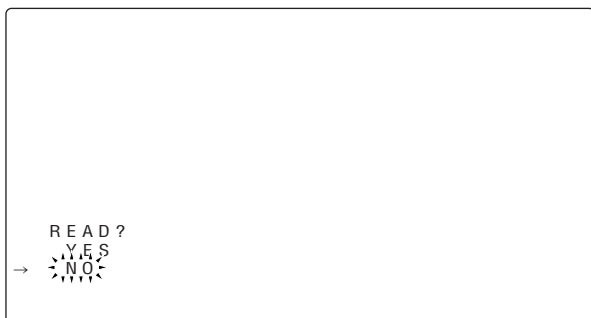
```
WRITE?
  YES
→ NO
```

- 4 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。設定したデータが本機の内部メモリーのユーザーエリアに書き込まれます。
- 5 メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

第4章 記録の為の調整と設定

書き込まれたユーザーデータを読み出すには

- 1 メニュー操作を行い、<SCENE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を READ USER DATA 項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。



- 4 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。
本機の内部メモリーのユーザーエリアに書き込まれたデータが読み出され、設定が完了します。
- 5 メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

4-9-4 シーンファイルデータの使い方

本機の内部メモリーのシーンファイルエリアに、設定データの内容の書き込み、または書き込まれたデータの読み出しをすることができます。なお、シーンファイルは、4種類登録可能です。このデータを使えば、適切なセットアップ状態を素早く再現できます。

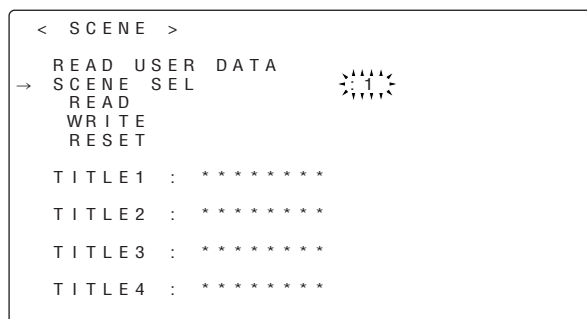
出荷時 TITLE1～3には本機の出荷状態が、TITLE4には FILMLIKE のパラメータが設定されています。TITLE4の内容を変えることも可能です。

操作は、メニュー操作で FILE ページから <SCENE>画面を開いて行います。

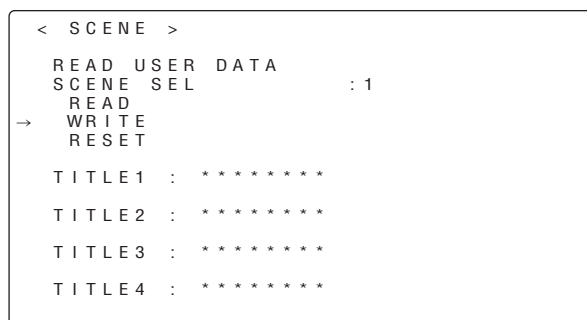
シーンファイル用設定データを書き込むには

- 1 メニュー操作を行い、SCENE画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を SCENE SEL の項目に移動します。

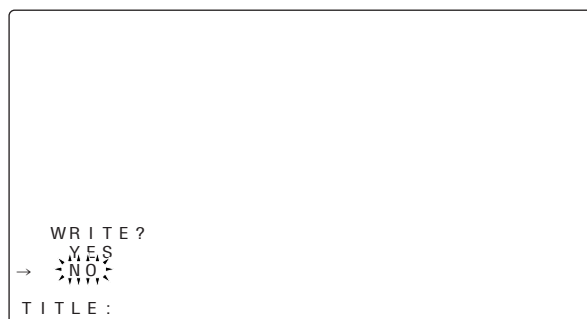
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、シーンファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回して記録するシーンファイルを選択します。



- 4 JOGダイヤルボタンを押し、シーンファイルを確認します。
- 5 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を WRITE の項目に移動します。



- 6 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。



- 7 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。
設定したデータが本機の内部メモリーのシーンファイルエリアに記憶されます。
- 8 メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

第4章 記録の為の調整と設定

シーンファイル用設定データを読み出すには

- 1 メニュー操作を行い、<SCENE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を SCENE SEL の項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、シーンファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回して読み出すシーンファイルを選択します。

```
< SCENE >
READ USER DATA
→ SCENE SEL          ☼
  READ
  WRITE
  RESET

TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****
```

- 4 JOGダイヤルボタンを押し、シーンファイルを確定します。
- 5 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を READ の項目に移動します。

```
< SCENE >
READ USER DATA
SCENE SEL          : 1
→ READ
  WRITE
  RESET

TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****
```

- 6 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```
READ?
  YES
→  NO
```

- 7 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。
本機の内部メモリーのシーンファイルエリアに記憶されたデータが読み出され、設定が完了します。

- 8 メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

シーンファイル用設定データを工場出荷状態にするには

- 1 メニュー操作を行い、<SCENE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を SCENE SEL の項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、シーンファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回してリセットするシーンファイルを選択します。

```
< SCENE >
READ USER DATA
→ SCENE SEL          ☼
  READ
  WRITE
  RESET

TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****
```

- 4 JOGダイヤルボタンを押し、シーンファイルを確定します。
- 5 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「RESET」の項目に移動します。

```
< SCENE >
READ USER DATA
SCENE SEL          : 1
→ RESET

TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****
```

第4章 記録の為の調整と設定

- 6 JOG ダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

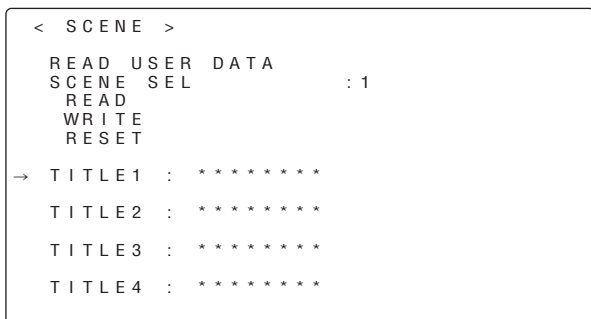


- 7 JOG ダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOG ダイヤルボタンを押します。
本機の内部メモリーのシーンファイルエリアに記憶されたデータがリセットされて工場出荷状態に戻ります。

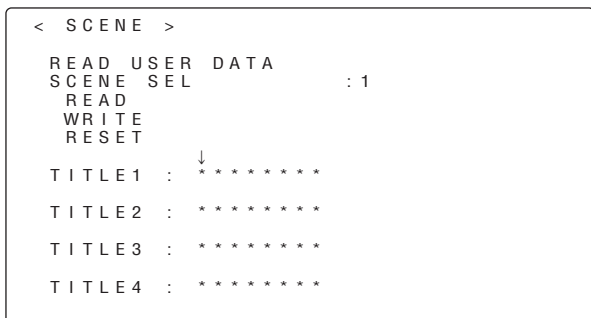
- 8 メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

シーンファイル用設定データにタイトルをつけるには

- 1 メニュー操作を行い、<SCENE> 画面を開きます。
- 2 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をタイトルを付けるシーンファイル「TITLE 1～4」の項目に移動します。



- 3 JOG ダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）がタイトル入力エリアに移動して入力モードになります。



- 4 設定したい文字が現れるまで、JOG ダイヤルボタンを回します。

JOG ダイヤルボタンを回すと、文字表示が
スペース： □



アルファベット： A～Z



数字： 0～9



記号： '、>、<、/、-
の順に切り替わります。

- 5 JOG ダイヤルボタンを押して、文字を確定します。

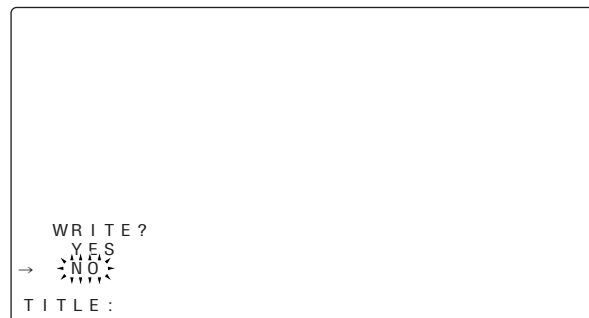
- 6 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、4～5の操作を繰り返して、文字を設定します。（8文字以内）

- 7 タイトルの入力が終わると JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動します。

- 8 JOG ダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）が TITLE 1～4の項目に戻ります。

- 9 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を WRITE の項目に移動します。

- 10 JOG ダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。



- 11 JOG ダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOG ダイヤルボタンを押します。
タイトルが本機の内部メモリーのシーンファイルエリアに記憶されます。

- 12 メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

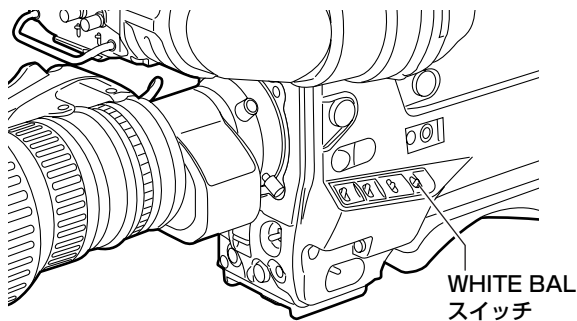
第4章 記録の為の調整と設定

4-9-5 メニュー設定状態のUSER 標準設定値への復帰方法

本機のメニューの設定状態を「4-9-3 メニュー操作」で一端登録したUSERの標準設定状態に戻すことができます。操作は、「4-9-3 メニュー操作」でのUSER DATAの読み出しをする方法と、メニュー操作をしなくてもできる方法があります。

FILEメニュー操作をしない場合の操作方法

- 1 POWERスイッチをOFFにします。
- 2 WHITE BALスイッチをPRSTの位置にします。



- 3 AUTO W/B BALスイッチを押し上げながら、POWERスイッチをONにします。
USERメニューの各項目の設定が、一度に標準のUSER DATAに戻ります。

4-9-6 メニュー設定状態の工場標準設定値への復帰方法

本機のメニューの設定状態を工場出荷の標準設定値の状態に戻すことができます。操作は、メニュー操作でFILEページから<INITIALIZE>画面を開き行います。

```
< INITIALIZE >  
→ READ FACTORY DATA  
  WRITE USER DATA
```

4-9-7 レンズファイルデータ

本機は、レンズのホワイトシェーディング補正機能を持っております。このレンズのホワイトシェーディング補正データをレンズファイルデータとして8個まで記憶することができます。レンズファイルデータを使えば、レンズを取り替えても素早く適切なホワイトシェーディング調整を再現することができます。

データの記録/読み出しなど、くわしくは「5-3 レンズの取り付けおよびフランジバック調整とホワイトシェーディング調整」を参照ください。

第5章 準備

5-1 電源の供給

本機の電源には、バッテリーパックまたはAC電源が使用できます。

バッテリーパックを使用するには

バッテリーパックは、
・パナソニック製
・アントンパワー製
・IDX製
・PACO製
・ソニー製

のバッテリーが使用できます。

<ノート>

- 他のバッテリーについても、設定メニューを変更することにより対応が可能ですが、本機とのシステム保証はしておりません。
- バッテリーパックをご使用になる前に、バッテリーチャージャーを使って充電してください。(充電方法の詳細については、それぞれの取扱説明書をお読みください)

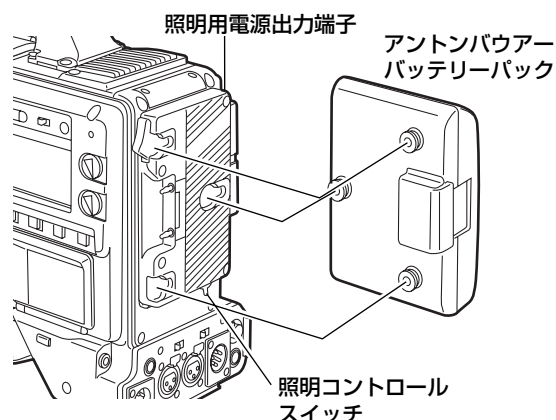
```
→< BATTERY / TAPE >
BATTERY SELECT      : PRO14
EXT DC IN SELECT    : AC-ADPT
BATT NEAR END ALARM : OFF
BATT NEAR END CANCEL : ON
BATT END ALARM      : ON
BATT REMAIN FULL    : 70%

TAPE NEAR END ALARM : ON
TAPE NEAR END TIME  : 2min
TAPE END ALARM      : ON
TAPE REMAIN / ■     : 3min / ■
```

5-1-1 バッテリーの取り付け および設定

アントンパワーバッテリーパックをご使用の場合

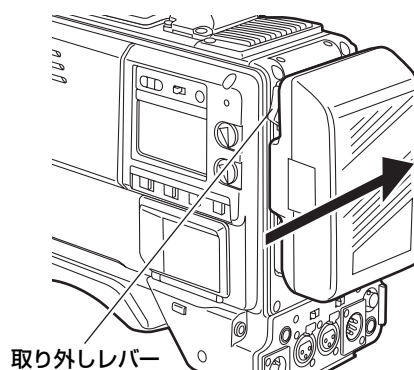
1 アントンパワーバッテリーパックを取り付けます。



<ご参考>

アントンパワーバッテリーホルダーには、照明用の電源出力端子と照明コントロールスイッチがついていますので、手軽にライトを取り付けることができます。照明システムの詳細については、アントンパワー社にお問い合わせください。

2 矢印の方向に差し込んでから、スライドさせてください。



<ご参考> バッテリーパックを取り外すには

バッテリーホルダーの取り外しレバーを完全に下まで倒したまま、バッテリーパックを取り付け時とは逆の方向にスライドさせてください。

3 バッテリーの種類を設定します。

<BATTERY/TAPE>画面のBATTERY SELECT項目でアントンパワー製該当バッテリーに設定します。
くわしくは「第7章 MENU一覧」をご覧ください。

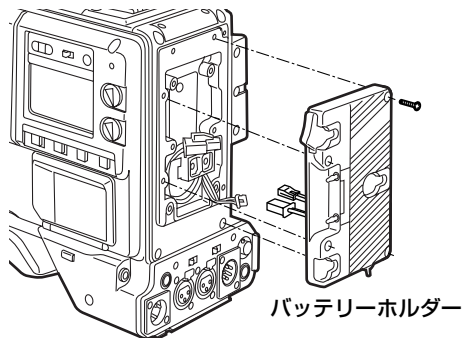
使用できるアントンパワー製バッテリー

- ・PRO14
- ・DIGITAL14
- ・TRIM14
- ・DIGITAL13
- ・HYTRON50
- ・DIONIC
- ・HYTRON100

第5章 準備

BPタイプのバッテリーパックをご使用の場合

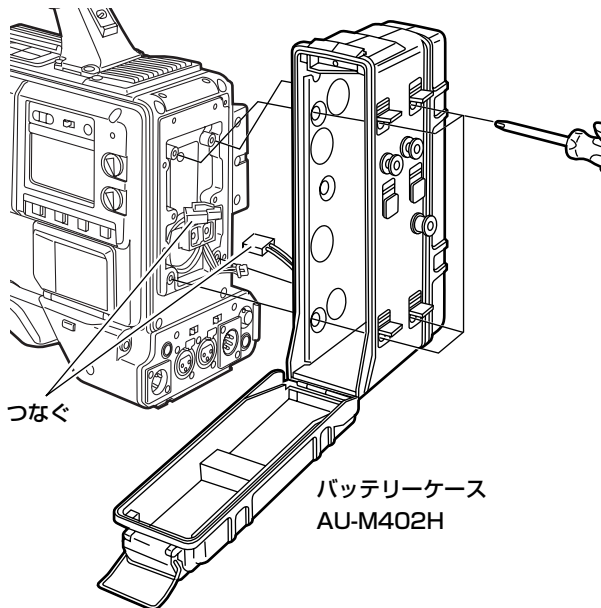
1 バッテリーホルダーを、取り外します。



2 本機にバッテリーケースを装着します。

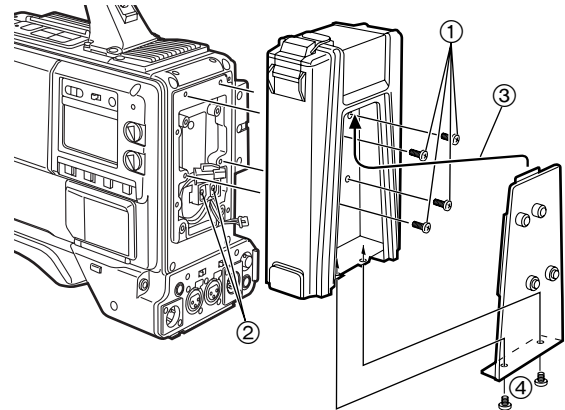
<Panasonic製バッテリーケース>

- ①本機のケーブルをバッテリーケース AU-M402H のケーブルとつなぎます。
- ②ドライバーでバッテリーケース AU-M402H を本機に装着します。
フタを開け、ゴムキャップを上を持ち上げると、ネジを締めるための穴が見えます。ドライバーでネジを締め、バッテリーケースを本機に装着してください。ネジは、最後まで確実に締めてください。



<ソニー製バッテリーケース>

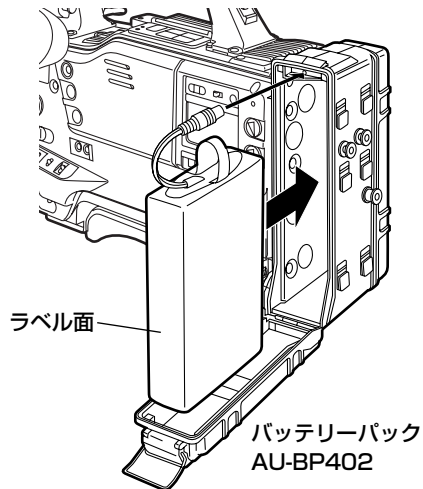
- ① 取り付け用ネジを締めます。
- ② 電源接触用ネジを締めます。
- ③ 取り外したフタの上部を、矢印の方向に差し込みます。
- ④ フタ下部（金属部分）の穴と、ケース部の穴を合わせてネジで取り付けます。



<ノート>

- ゴムキャップは、強く引っ張らないでください。
- ケーブルをかみ込まないように、十分注意してください。

3 バッテリーケース内の端子にバッテリーパックのプラグをつなぎ、バッテリーパックをケースに入れます。



<ノート>

プラグの抜き差しは、必ず本機の電源を切ってから行ってください。

4 バッテリーの種類を設定します。
<BATTERY/TAPE>画面の BATTERY SELECT 項目で Panasonic 製の該当バッテリーに設定します。
くわしくは「第7章 MENU一覧」を参照ください。

使用できる Panasonic 製バッテリー

・ AU-BP402 ・ AJ-BP490

使用できる IDX 製バッテリー

・ BP-H120

使用できるソニー製バッテリー

・ BP-90 (BATTERY SELECT 項目は、“AU-BP402”に設定します。)

第5章 準備

NPタイプのバッテリーパックをご使用の場合

1 バッテリーホルダーを、取り外します。

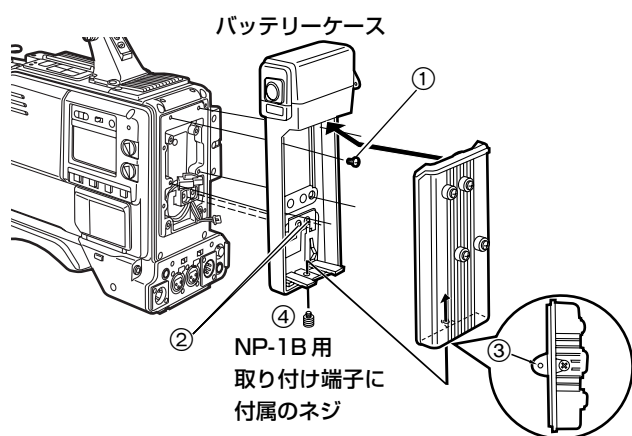
2 本機バッテリーケースを取り付けます。

<ソニー製バッテリーケース>

- ① 取り付け用ネジを締めます。
- ② 電源接触用ネジを締めます。
- ③ 取り外したフタの上部を、矢印の方向に差し込みます。
- ④ フタ下部（金属部分）の穴と、ケース部の穴を合わせてネジで取り付けます。

<ノート>

バッテリーホルダーを取り付ける時は、接続コードがカミ込まないように注意して取り付けてください。

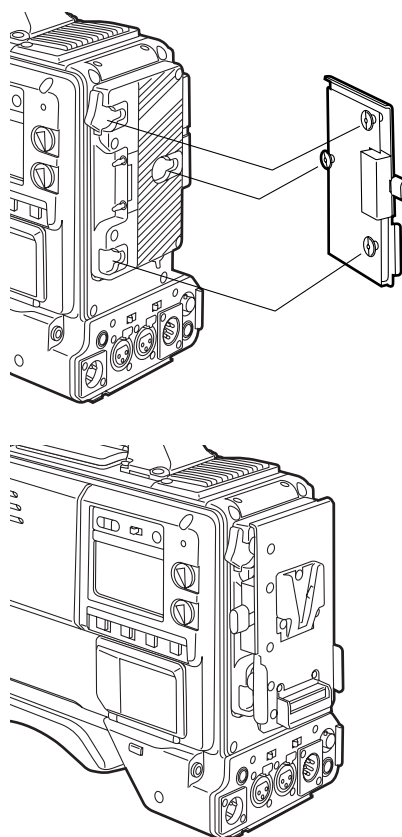


3 バッテリーの種類を設定します。
<BATTERY/TAPE>画面のBATTERY SELECT項目でソニー製の該当バッテリーに設定します。
くわしくは「第7章 MENU一覧」を参照ください。

Vマウントタイプのバッテリーパックをご使用の場合

1 V-マウントアダプタープレートを取り付けます。
矢印の方向に差し込んでからスライドさせてください。
NP/BPアダプタープレートやV-マウントアダプタープレートに関するお問い合わせは、お買い上げの販売店までお願いします。

2 バッテリーの種類を設定します。
<BATTERY/TAPE>画面のBATTERY SELECT項目でソニー製および他社製の該当バッテリーに設定します。



使用できるIDX製バッテリー

- ・ NP-L50
- ・ NP-L50D
- ・ ENDURA50
- ・ ENDURA80

使用できるソニー製バッテリー

- ・ NP-1B
- ・ BP-L60
- ・ BP-L90

使用できるPACO製バッテリー

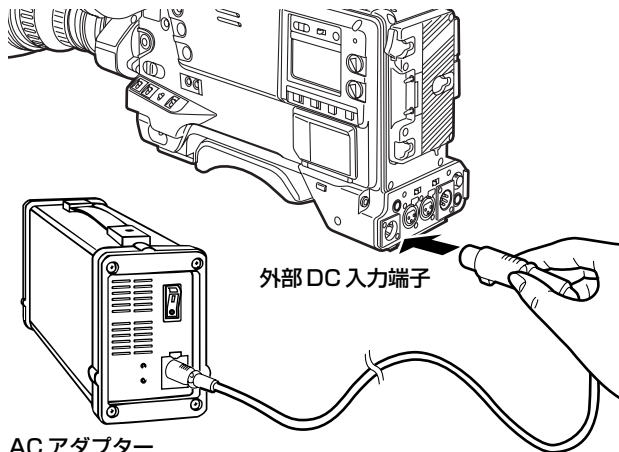
- ・ HP-30A

第5章 準備

5-1-2 AC電源の使用

Panasonic製ACアダプターAJ-B75をご使用の場合

1 本機の外部DC入力端子とACアダプターAJ-B75のDC OUT端子をつなぎます。

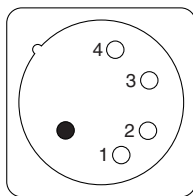


ACアダプター
●AJ-B75 (別売品)

2 ACアダプターの電源をONにします。

3 本機のPOWERスイッチをONにします。

ACアダプターAJ-B75以外の外部電源を使用するときは、外部DC入力端子のピン信号を確認して極性を正しくご使用ください。



外部DC入力端子

ピン No.	信号
1	GND
2, 3	-
4	+12V

<ノート>

- バッテリーパックとACアダプターを両方接続した場合、ACアダプターからの電源供給が優先されます。ACアダプター使用中のバッテリー着脱も可能です。
- ACアダプターを使用するときは、必ずACアダプターの電源をONにした後、本機のPOWERスイッチをONにしてください。逆の操作を行った場合、ACアダプターの出力電圧がゆっくり立ち上がるため、本機が誤動作することがあります。

5-2 ビューファインダーの取り付けおよび位置調整

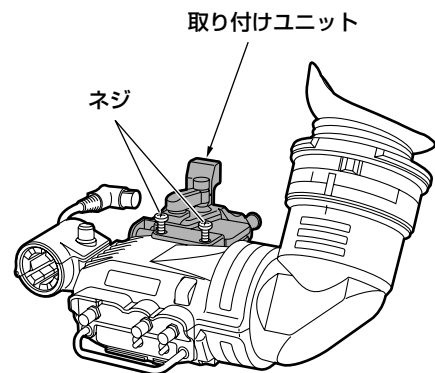
ビューファインダーの取扱説明書をご覧ください。

ただし、AJ-VF15Bまたは、AJ-VF20WB以外のビューファインダー(AJ-VF15または、AJ-VF20W)を取り付ける場合は、スライドレールが必要になります。

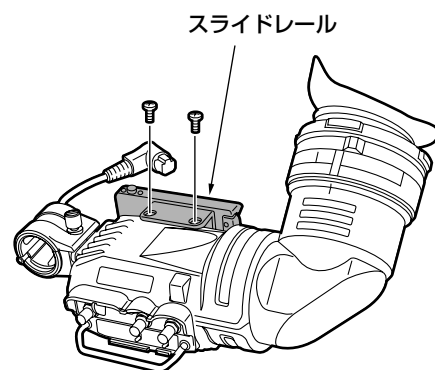
- スライドレールをお求めになる場合は、補修部品としてお買い上げの販売店にお申し付けください。
スライドレール (VFC3995)
取り付けネジ (XSB3+8VZ)

スライドレールの取り付け方

1 AJ-VF15、またはAJ-VF20Wの上部のネジ2本を外し、取り付けユニットを外します。このときネジは、取り付けユニットに付いたままになります。



2 スライドレールを取り付け、ネジ2本で固定します。

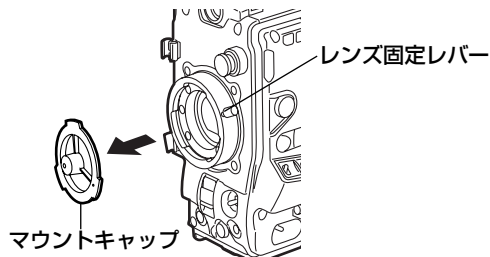


第5章 準備

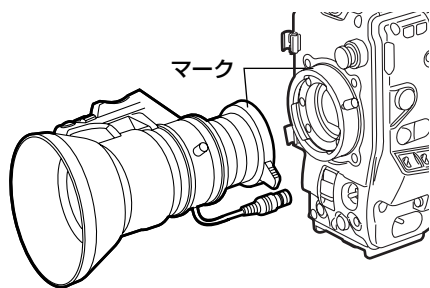
5-3 レンズの取り付けおよびフランジバック調整とホワイトシェーディング調整

レンズの取り付け

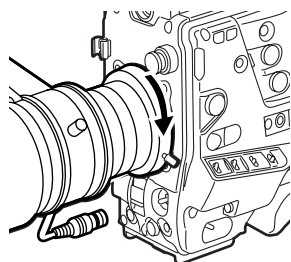
1 レンズ固定レバーを上げ、マウントキャップを外します。



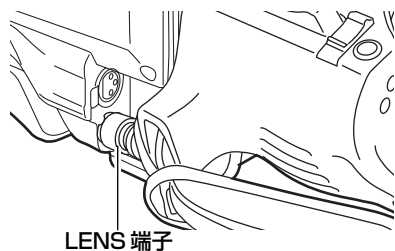
2 レンズマウント上部中央の凹部にレンズのセンターマークを合わせ、レンズを取り付けます。



3 レンズ固定レバーを下げて、レンズを固定します。



4 ケーブルをケーブルクランプに押し込み、LENS 端子に接続します。



5 レンズのフランジバックの調整を行います。

<ノート>

- レンズの取り扱いについては、レンズの取扱説明書をお読みください。
- レンズを取り外しているときは、機器保護のためにマウントキャップを取り付けてください。

レンズのフランジバック調整

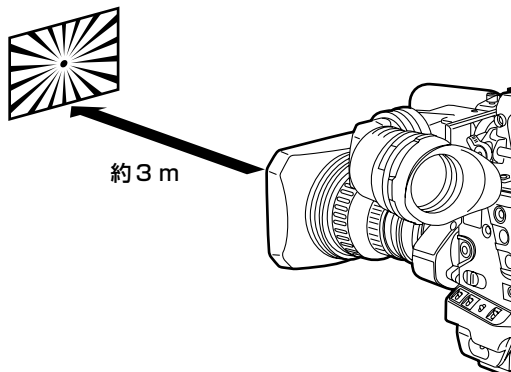
ズーム操作の際に望遠・広角の両方で焦点が正確に合わない場合は、フランジバック（レンズの取り付け面から結像面までの距離）の調整をします。

一度調整すると、レンズの交換をしない限り再調整の必要はありません。

<ノート>

調整方法やレンズの各部位置については、レンズの取扱説明書も参照してください。

- 1 カメラにレンズを取り付けます。
レンズケーブルも忘れずに取り付けてください。
- 2 レンズの絞りを手動にし、絞りを開放にします。



- 3 フランジバック調整用チャートから3mぐらい離れた距離で、適正な映像出力レベルが得られるように照明を設定します。
映像レベルが高すぎるときは、フィルターやシャッターを使用してください。

- 4 F.f（フランジフォーカス）リングの固定ネジをゆるめま

<ノート>

レンズによって、F.b（フランジバック）リングと表示されている場合もあります。

- 5 手動または、電動でズームリングを望遠の位置にします。
- 6 フランジバック調整用チャートを写し、距離リングを回して焦点を合わせます。
- 7 ズームリングを広角の位置にし、F.fリングを回して焦点を合わせます。
このとき、距離リングは動かさないように注意します。
- 8 望遠と広角の両方の位置で焦点が合うようになるまで、5～7の操作を繰り返します。
- 9 F.fリングの固定ネジを、しっかりと閉めます。

レンズのホワイトシェーディング調整

ホワイトシェーディングの調整は以下のように行います。

<ノート>

ホワイトシェーディング調整を行っても、レンズ絞りが開放（open）付近で上下方向の色つきが発生することがありますが、この現象はレンズや光学系の特性で、故障ではありません。

- 1 カメラにレンズを取り付けます。
レンズケーブルも忘れずに取り付けてください。
- 2 電子シャッターを「OFF」にし、ゲインを「L（OdB）」にします。
- 3 レンズにエクステンダがついている場合は、エクステンダ機能を外してください。
- 4 メニュー操作でPAINTページから<GAMMA>画面を開き、GAMMA MODE SEL項目が「STD」であることを確認し、さらにVFページから<VF DISPLAY>画面を開き、ZEBRA1 DETECT項目、ZEBRA2 DETECT項目、ZEBRA2項目が下図の通りであるか確認し、違っている場合は変更してから、メニュー画面を閉じます。

->< VF DISPLAY >	
DISP CONDITION	: NORMAL
DISP MODE	: 3
VF OUT	: Y
VF DTL	: 3
ZEBRA1 DETECT	: 070%
ZEBRA2 DETECT	: 085%
ZEBRA2	: SPOT
LOW LIGHT LVL	: 35%
ECU MENU DISP.	: OFF
50M INDICATOR	: OFF
MARKER/CHAR LVL	: 50%

- 5 ビューファインダーのZEBRAスイッチを「ON」にします。
- 6 色ムラの無い白い紙を撮影します。

<ノート>

蛍光灯や水銀灯などの照明では、フリッカー（ちらつき現象）が発生しやすいので、太陽光やハロゲンランプなどの、フリッカーが発生しにくい光源を用いてください。

第5章 準備

7 レンズ絞りをマニュアルにして、画面全体に ZEBRA がかかるように、レンズ絞りを調整します。
レンズ絞りが、F4～F11の間になっていることを確認してください。

<ノート>

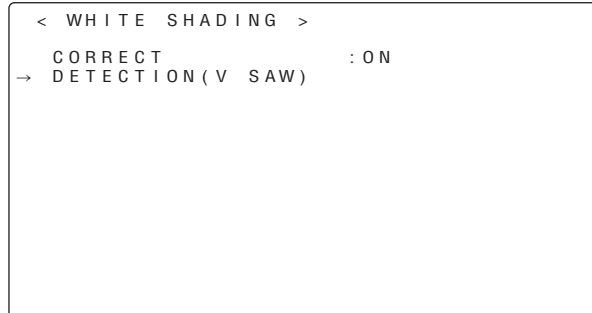
- 照明にムラがあると、画面の一部に ZEBRA がかからなくなりますので、照明の位置などを調整してください。
- レンズ絞りが、F4～F11の間になっていない場合も、照明の位置などを調整してください。
- 電子シャッターは、必ず「OFF」のままにしておいてください。

8 ① WHITE BAL 切り替えスイッチを「A」または「B」にして、AUTO W/B BAL スイッチでホワイトバランスの自動調整 (AWB) を行います。
② AUTO W/B BAL スイッチでブラックバランスの自動調整 (ABB) を行います。
③ 再度 AUTO W/B BAL スイッチでホワイトバランスの自動調整 (AWB) を行います。

9 再度7の操作を行います。

10 メニュー操作を行い、MAINTENANCE ページから <WHITE SHADING> 画面を開きます。

11 JOG ダイアルボタンを回して、矢印 (カーソル) を「DETECTION (V.SAW)」の項目に移動し、JOG ダイアルボタンを押してホワイトシェーディング補正を実行します。



12 JOG ダイアルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。



13 JOG ダイアルボタンを回して、カーソルを「YES」の位置に移動し、JOG ダイアルボタンを押します。
画面上に「ACTIVE」が表示され、ホワイトシェーディングの自動調整を行っていることを示します。
調整が終了すると「W-SHD OK」が表示されます。

<ノート>

二一の設定によっては「LEVEL OVER」が表示され、補正できない場合があります。その際はレンズを絞るか、OUTPUT スイッチの AUTO KNEE を OFF にし、メニュー動作で PAINT 画面から、<KNEE/LEVEL> 画面を開き、MANUAL KNEE 項目を「OFF」にして、再度**4**～**9**の操作を行ってください。「W-SHD OK」と表示された後は再度 MANUAL KNEE を「ON」に再設定してください。

14 レンズにエクステンダがついている場合は、エクステンダ機能を入れて、またレシオコンバータがついている場合はレシオコンバータ機能を入れ、それぞれの場合で再度**7**～**13**の操作を行います。

レンズエクステンダがある場合、レシオコンバータがある場合、どちらもない場合の3パターンの補正值が1つのレンズファイルデータとして本機に記憶されます。

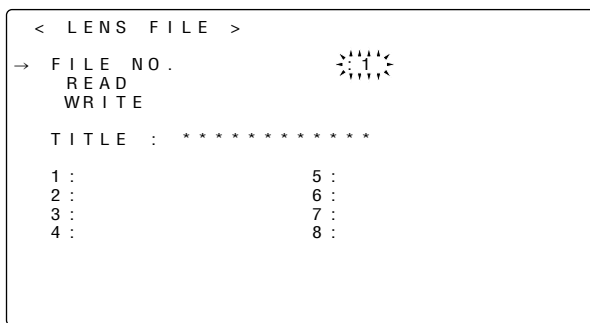
以上でホワイトシェーディング調整が完了します。
調整値は、不揮発性メモリーに保存されますので、本機の電源を切っても、再度ホワイトシェーディング調整を行う必要はありません。

レンズファイルデータを記憶するには

ホワイトシェーディングの調整値は、レンズファイルデータとして本機に記憶可能です。

ファイルNO.を選択するには

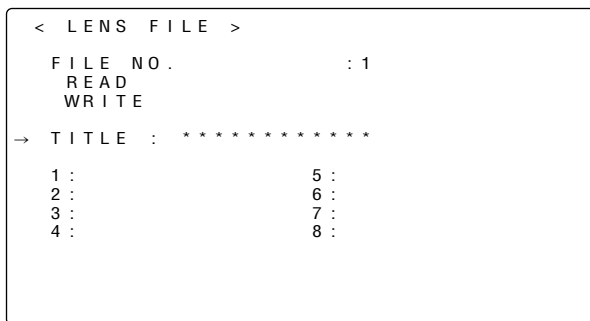
- メニュー操作を行い、FILE ページから <LENS> 画面を開き、JOG ダイアルボタンを回して矢印（カーソル）を FILE NO.項目に移動します。
- JOG ダイアルボタンを押すと、ファイル番号が点滅しますので、JOG ダイアルボタンを回して記憶するレンズファイル（1～8）を選択します。



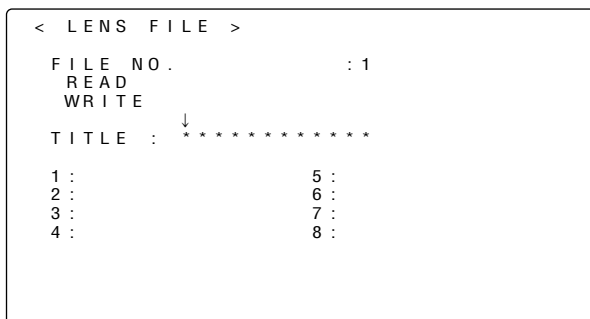
- JOG ダイアルボタンを押し、レンズファイルを確認します。

選択したファイルNO.にタイトルを付けるには

- JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を TITLE : 項目に移動します。



- JOG ダイアルボタンを押すと、タイトル入力エリアに矢印（カーソル）が移動して入力モードになります。



- 再度ダイヤルボタンを押し設定したい文字が現れるまで、JOG ダイアルボタンを回します。
JOG ダイアルボタンを回すと、文字表示が
スペース： □
↓
アルファベット： A～Z
↓
数字： 0～9
↓
記号： `、>、<、/、-、.、×
の順に切り替わります。

- JOG ダイアルボタンを押して、文字を確定します。

- JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、6～7の操作を繰り返して、文字を設定します。（12文字以内）

- タイトルの入力が終わると JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動します。

- JOG ダイアルボタンを押すと、矢印（カーソル）が TITLE : 項目に戻ります。

- JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を WRITE 項目に移動します。

- JOG ダイアルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。



- JOG ダイアルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOG ダイアルボタンを押します。
書き込みが終了すると「WRITE OK」が表示され、設定したデータとタイトルが、本機の内部メモリーのレンズファイルエリアに記憶されます。

- メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

レンズファイルデータを読み出すには

- 1 「レンズファイルデータを記憶するには」の1～3を参照して、読み出すレンズファイルNo.を選択します。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をREAD項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。



- 4 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。読み出しが終了すると「READ OK」が表示され、記憶されているレンズファイルのデータが読み出されます。
- 5 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押します。

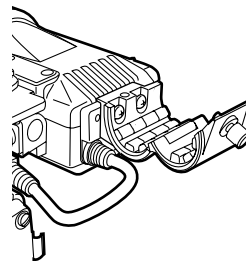
5-4 音声入力準備

本機に入力する音声機器の接続の準備をします。

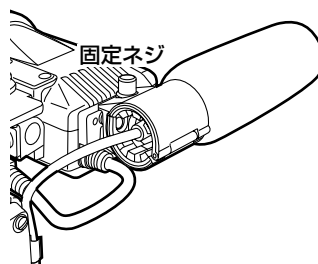
5-4-1 フロントマイクを使用する場合

マイクキット AJ-MC700P（別売品）のマイクを取りつけることができます。

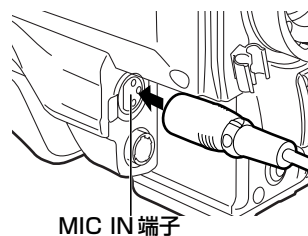
- 1 マイクホルダーを開きます。



- 2 マイクを取りつけ、固定ネジを締めます。



- 3 マイクの接続ケーブルをカメラのMIC IN端子に接続します。



- 4 記録する音声チャンネルに応じて、AUDIO INスイッチを「FRONT」に切り替えます。



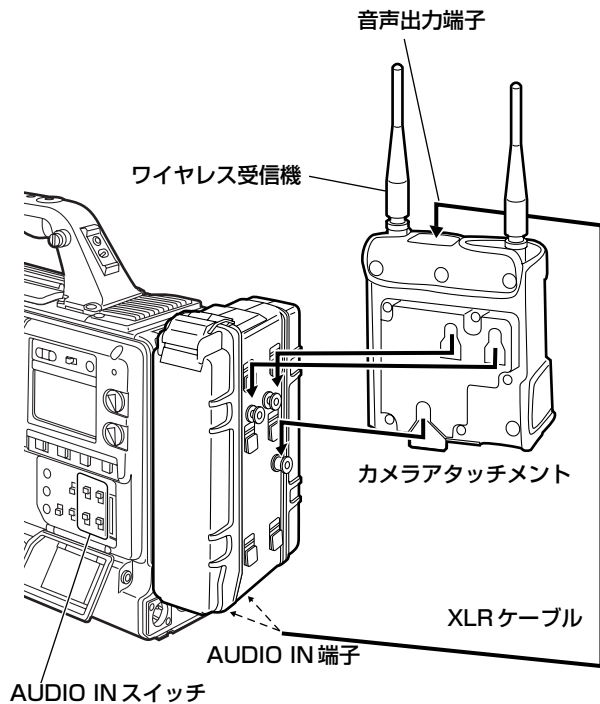
第5章 準備

5-4-2 ワイヤレスレシーバーを使用する場合

外付けワイヤレスレシーバーを使用する場合

ワイヤレスシステムを使用するときは、ワイヤレス受信機を取り付けます。

- 1 ワイヤレス受信機をカメラアタッチメントに取り付けます。
- 2 バッテリーケース等のピンにカメラアタッチメントの溝を合わせて、ワイヤレス受信機を取り付けます。



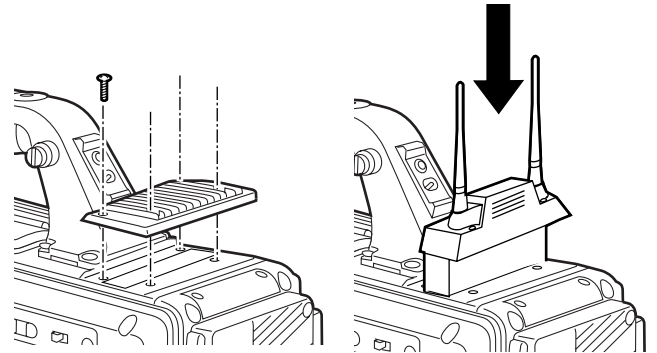
- 3 ワイヤレス受信機とカメラのAUDIO IN端子をXLRケーブルで接続します。
- 4 XLRケーブル接続したチャンネルのAUDIO INスイッチを「REAR」に切り替えます。
- 5 後面のLINE/MIC/+48V切り替えスイッチを「MIC」に切り替えます。
ワイヤレス受信機を取り外すときは、カメラアタッチメント底面のレバーを押し上げて取り外します。

<ノート>

ワイヤレス受信機の操作などについては、ワイヤレス受信機の取扱説明書をお読みください。

Unislot ワイヤレスレシーバーを使用する場合

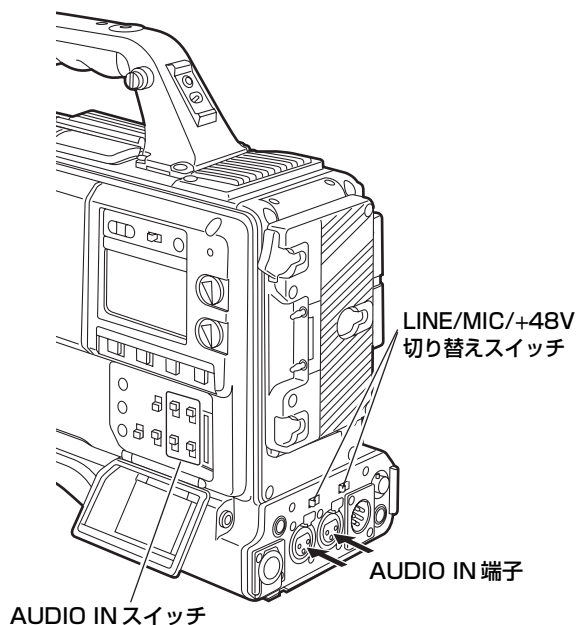
- 1 ふたを取り外してワイヤレスレシーバーを挿入し、ビス止めします。



- 2 記録する音声チャンネルに応じて、AUDIO INスイッチを「WIRELESS」に切り替えます。

5-4-3 オーディオ機器を使用する場合

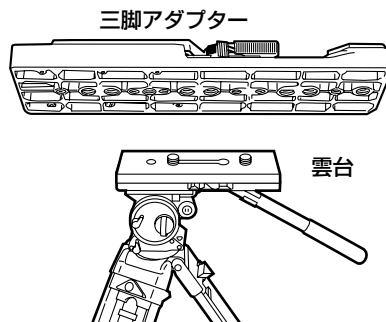
- 1 オーディオ機器とカメラのAUDIO IN端子をXLRケーブルで接続します。
- 2 XLRケーブルを接続したチャンネルのAUDIO INスイッチを「REAR」に切り替えます。
- 3 後面のLINE/MIC/+48V切り替えスイッチを「LINE」に切り替えます。



5-5 三脚への取り付け

本機を三脚へ取り付ける場合は、付属の三脚アダプターを使います。

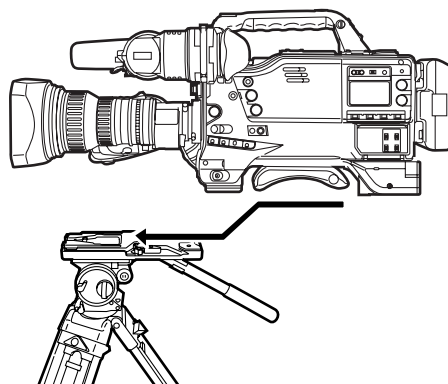
- 1 三脚アダプターを、三脚に取り付けます。



<ノート>

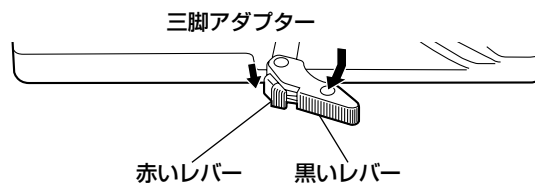
本機と三脚アダプターの重心を考慮して、アダプターの穴を選んでください。
また、選んだ穴の径が、雲台のネジの径と合うことを確認してください。

- 2 本機を三脚アダプターに取り付けます。



溝に沿って、カチッと音がするまで本機を前方へ滑らせます。

三脚アダプターから取り外す



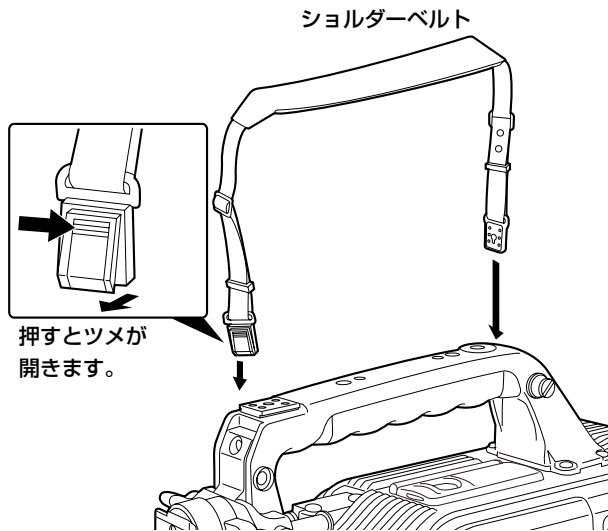
赤いレバーを押しながら、黒いレバーを矢印の方向へ動かし、本機を後方に滑らして外します。

<ノート>

本機を取り外した後、三脚アダプターのピンが元に戻らないときは、再度赤いレバーを押しながら、黒いレバーを矢印の方向へ動かして、ピンを元の位置に戻します。
ピンが中央に残ったままでは、本機の取付ができませんのでご注意ください。

第5章 準備

5-6 ショルダーベルトの取り付け



ショルダーベルトを外す場合は、取り付け部のツメを開いてから外します。

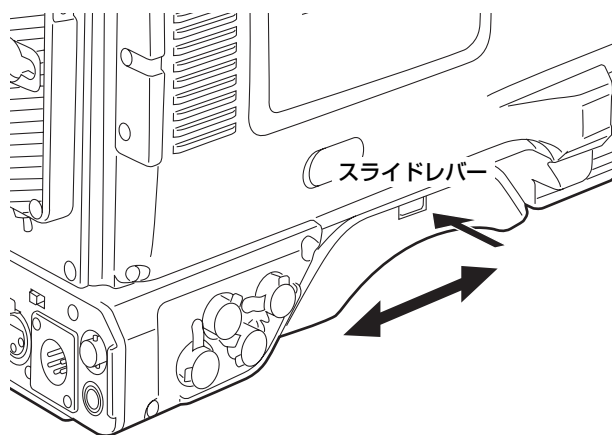
<ノート>

ショルダーベルトがしっかりと取り付けられていることを、確認してください。

5-7 ショルダーパッドの位置調整

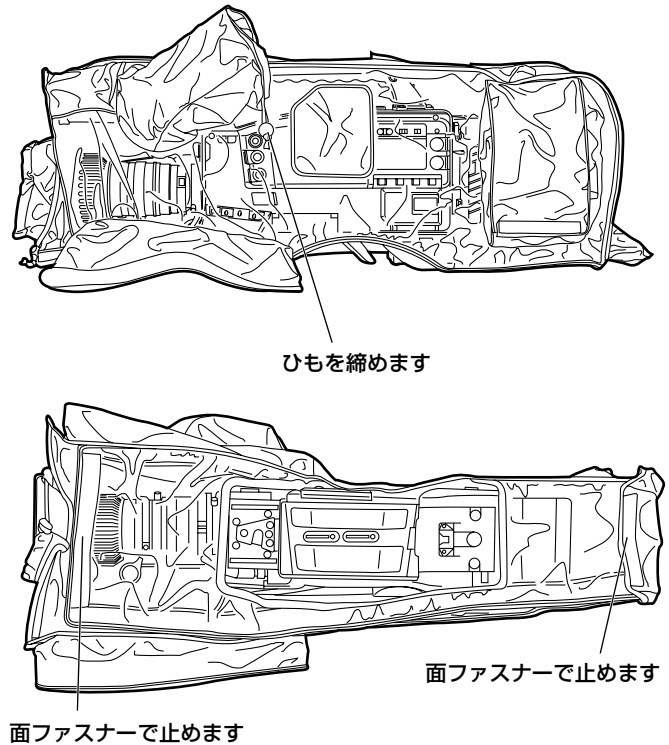
ショルダーパッドは、スライドレバーを押した状態で移動させることができます。前後方向にそれぞれ3 mm ステップで、10段階ずつ（最大30 mm）の位置調整が可能です。

スライドレバーを押さえたまま、ショルダーパッドを撮影しやすい位置まで前後させます。



5-8 レインカバーの取り付け

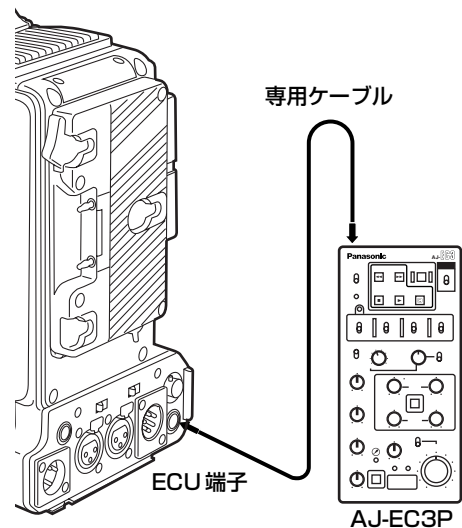
レインカバー SHAN-RC700 の使用例



5-9 エクステンションコントローラ (AJ-EC3P) の接続

エクステンションコントロールユニットAJ-EC3P（別売品）を接続して、機能の一部をリモートコントロールすることができます。

AJ-EC3Pを接続して本機および、AJ-EC3PのPOWERスイッチを「ON」にすると、本機は自動的にリモートコントロールモードに入ります。



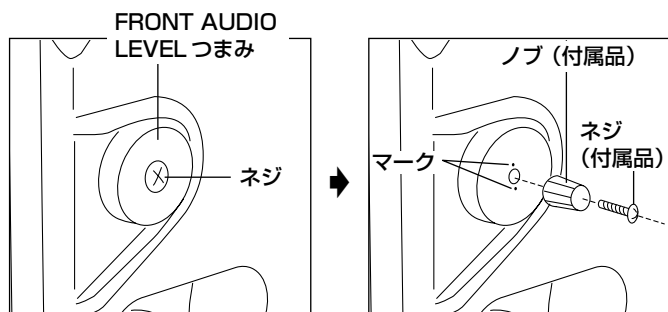
<ノート>

- 専用ケーブルを接続するときや外すときは、本機とAJ-EC3PのPOWERスイッチを必ず「OFF」にしてください。
- <SW MODE>画面でECU DATA SAVE項目の設定がOFFの場合、AJ-EC3Pを使って行った調整や設定は、本機のPOWERスイッチを「OFF」にするとカメラ関連の設定値は取り消されます。また、セットアップカードへの書き込みもできません。
ただし、メニュー内容の設定は、セットアップカードへの書き込みが可能です。
再度、AJ-EC3Pと接続されると、AJ-EC3Pの設定値に戻ります。
- <SW MODE>画面でECU DATA SAVE項目の設定がONの場合、AJ-EC3Pを使って行った調整や設定は、本機のPOWERスイッチを「OFF」にしても消えません。
- 本機のUSERスイッチ機能はAJ-EC3P接続時には動作できません。
- AJ-EC3PからSHUTTERをコントロールしたとき、シャッタースピードはAJ-EC3Pに刻印されたシャッタースピードではなく、本機のメニューで設定されたシャッタースピードに対応します。対応は以下の通りです。

AJ-EC3P シャッタースピード表示	本機シャッタースピード
100 (60)	POSITION1
120	POSITION2
250	POSITION3
500	POSITION4
1000	POSITION5
2000	POSITION6

5-10 FRONT AUDIO LEVEL つまみ みノブの取り付け

FRONT AUDIO LEVEL つまみを頻繁に使用する場合、付属のノブを取り付けて、つまみをより操作しやすくすることができます。



FRONT AUDIO LEVEL つまみ中央のネジを外し、本機に付属のノブを、同じく付属品のネジで止めます。このとき、つまみ側のマークと、ノブ側のマークを合わせてください。

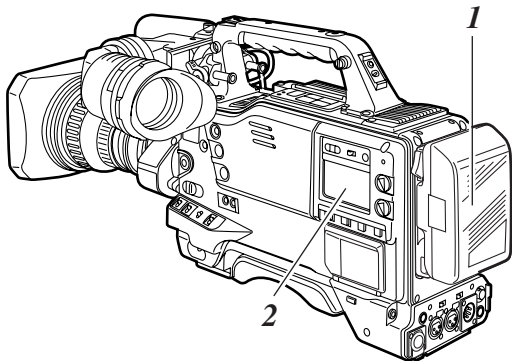
第6章 保守・点検

6-1 撮影前の点検

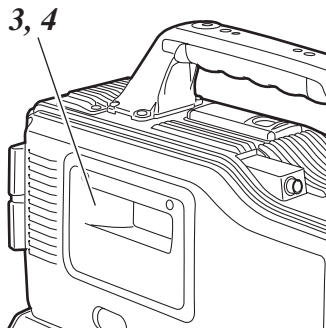
撮影に出発する前に次の点検を行い、システムが正常に動作することを確認してください。カラービデオモニターを使って画像のチェックをすることをおすすめします。

6-1-1 点検の準備

- 1 充電済みのバッテリーパックを取り付けます。
- 2 POWER スイッチを ON にし、HUMID 表示が現れないこと、BATT 表示が5個以上点灯していることを確認します。
 - HUMID 表示が現れたときは、表示が消えるまで待ちます。
 - BATT 表示が5個以上点灯していないときは、十分に充電したバッテリーと交換します。



- 3 カセットホルダーフタ周辺にケーブルなど障害物がないことを確認してから、EJECT ボタンを押してカセットホルダーを開けます。
- 4 次の点を確認してからカセットを入れ、カセットホルダーを閉めます。
 - カセットが誤消去防止状態になっていないこと。
 - テープにたるみがないこと。
 - テープに結露がないこと。



6-1-2 カメラ部の点検

- 1 ズームを電動ズームモードにして、電動ズームの確認をします。
画像が望遠、広角と変わることを確認します。
- 2 ズームを手動ズームモードにし、手動ズームの確認をします。
手動ズームレバーを回し、画像が望遠、広角と変わることを確認します。
- 3 絞りを自動調整モードにし、明るさの違う被写体にレンズを向け、自動絞り調整が働くことを確認します。
- 4 絞りを手動調整モードにし、絞りリングを回し、手動絞りの調整を確認します。
- 5 瞬間絞り自動調整ボタンを押しながら、明るさの違う被写体にレンズを向け、瞬間絞り自動調整機能の確認をします。
- 6 絞りを自動調整モードに戻し、GAIN スイッチの設定をし、M、Hと切り替えて次の点を確認します。
 - 設定の切り替えに応じて、同じ明るさの被写体に対し絞りが調整されます。
 - 設定の切り替えに応じて、ビューファインダー画面のゲイン値表示が切り替わります。
- 7 エクステンダ付きのレンズを装着しているときは、エクステンダを使用位置にし、正常に働くことを確認します。

第6章 保守・点検

6-1-3 VTR 部の点検

「1. テープ走行の点検」から「4. イヤホン、スピーカーの点検」までは連続して行ってください。

1. テープ走行の点検

- 1 VTR SAVE/STBY スイッチを「SAVE」にし、ビューファインダー内の VTR SAVE ランプが点灯することを確認します。
- 2 VTR SAVE/STBY スイッチを STBY にして、VTR SAVE ランプが消灯することを確認します。
- 3 TCG スイッチを「R-RUN」にします。
- 4 DISPLAY スイッチを「CTL」にします。
- 5 本機の VTR START ボタンを押し、次の項目を確認します。
 - テープのリールが回転する。
 - カウンター表示部数値が変わる。
 - ビューファインダー内の REC ランプが点灯する。
 - 表示窓の RF、SERVO 表示が点灯しない。
- 6 本機の VTR START ボタンをもう一度押します。テープが止まり、ビューファインダー内の REC ランプが消えることを確認します。
- 7 レンズの VTR ボタンを使って、5～6 と同じ動作を確認します。
- 8 RESET ボタンを押し、カウンター表示部の数値が「00 : 00 : 00 : 00」になることを確認します。
- 9 LIGHT ボタンを押して、表示窓が照明されることを確認します。
- 10 REW ボタンを押し、しばらく巻き戻してから PLAY/PAUSE ボタンを押します。記録、再生、巻き戻しが正常に動作することを確認します。
- 11 FF ボタンを押し、早送りが正常に行われることを確認します。

2. 音声レベル自動調整機能の点検

- 1 AUDIO SELECT CH1/CH2 スイッチを「AUTO」にします。
- 2 AUDIO IN CH1/CH2 スイッチを「FRONT」にします。
- 3 MIC IN 端子に接続したマイクを適当な音源に向け、CH1/CH2 両方のレベル表示が、音の大きさに合わせて変わることを確認します。

3. 音声レベル手動調整機能の点検

- 1 AUDIO IN CH1/CH2 スイッチを「FRONT」にします。
- 2 AUDIO SELECT CH1/CH2 スイッチを「MAN」にします。
- 3 AUDIO LEVEL CH1/CH2 つまみを回します。右に回すと、レベル表示が増えることを確認します。

4. イヤホン、スピーカーの点検

- 1 VTR SAVE/STBY スイッチを「STBY」にします。
- 2 MONITOR つまみを回し、スピーカーの音量が変わることを確認します。
- 3 イヤホンを PHONES 端子に接続します。スピーカーからの音が消え、イヤホンからマイクの音が聞こえることを確認します。
- 4 MONITOR つまみを回し、イヤホンの音量が変わることを確認します。

第6章 保守・点検

5. 外部マイクを使う場合の点検

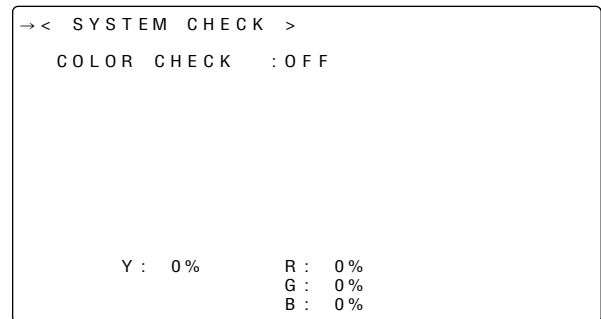
- 1 外部マイクを AUDIO IN CH1、CH2 コネクタに接続します。
- 2 AUDIO IN CH1/CH2 スイッチを「REAR」にします。
- 3 後面の LINE/MIC/+48V 切り替えスイッチを、外部マイクの電源供給方式に応じて「MIC」と「+48V」に切り替えます。
MIC : 内部電源供給方式のマイク
+48V : 外部電源供給方式のマイク
- 4 マイクを音源に向け、表示窓の音声レベルメーターやビューファインダー内の音声レベル表示が、音の大きさに合わせて変わることを確認します。
1本のマイクを各チャンネルに接続して、チャンネルごとに点検することもできます。

6. タイムコード、ユーザズビットに関する点検

- 1 必要に応じてユーザズビットを設定します。
設定のしかたについては「4-5-1 ユーザズビットの設定」をお読みください。
- 2 タイムコードを設定します。
設定のしかたについては「4-5-3 タイムコードの設定」をお読みください。
- 3 TCG スイッチを「R-RUN」にします。
- 4 VTR START ボタンを押します。
テープ走行とともに、カウンター表示部の数値が変わることを確認します。
- 5 再度、VTR START ボタンを押します。
テープが止まり、カウンター表示部の数値が変わらなくなることを確認します。
- 6 TCG スイッチを「F-RUN」にします。
カウンター表示部の数値が、テープ走行に関係なく変わることを確認します。
- 7 DISPLAY スイッチを「UB」にします。
HOLD ボタンを押すごとに VTCG → DATE → TIME → 無表示 (タイムゾーン) → TCG の値が表示されることを確認します。

6-1-4 自己診断機能

カラービデオモニターがないときなどに、簡易に本機のシステムチェックをすることができます。
メニュー操作で MAINTENANCE ページの <SYSTEM CHECK> 画面を開き COLOR CHECK 項目で、カメラの出カレベルの確認ができます。



第6章 保守・点検

6-2 メンテナンス

6-2-1 結露

本機を冷たい場所から暖かい場所に移したり、湿気の多い場所で使用すると、空気中に含まれる水蒸気が、ヘッドドラムに水滴となって付着することがあります。これを「結露」と言い、このような状態のときにテープを走行させると、テープがドラムに貼り付きやすくなります。

次のような点にご注意ください。

- 結露の可能性のある状況で本機を起動するときは、テープを取り出しておいてください。
- テープを入れる前に、電源スイッチを「ON」にして、表示窓に HUMID 表示が点灯していないことを確認してください。

<ノート>

結露検出解除後も安全のため、80 分間 HUMID を点滅表示させて、ドラムを回転させます。

この間は、操作ボタンを受け付けません。

6-2-2 ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングが必要な場合には、クリーニングカセット AJ-CL12MP をお使いください。

使用方法を誤りますとビデオヘッドを傷めることもありますので、ご使用の際は、クリーニングテープの取扱説明書をお読みください。

6-2-3 ビューファインダー内のクリーニング

- 汚れを取るとき、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
- レンズを拭くときは、市販のレンズクリーナーを使用してください。
- ミラーは絶対拭かないでください。
ゴミなどが付着しているときは、市販のエアーブローで取り除いてください。

6-2-4 CCD カメラ特有の現象について

スミア

高輝度の被写体を撮影した場合に発生することがあります。この現象は、電子シャッタースピードが速くなるほど発生しやすくなります。

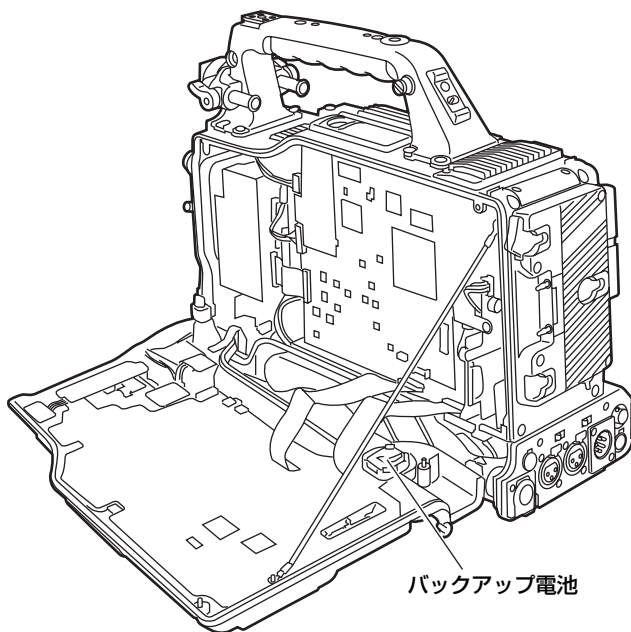
6-2-5 バックアップ電池の交換

バックアップ電池は、すでに取り付けた状態で出荷していません。

電池が消耗すると、POWER スイッチを ON にしたとき、ビューファインダー画面に「BACK UP BATT EMPTY」の表示が 3 秒間表示されます。

また、TCG のタイムコード値が「00 : 00 : 00 : 00」になり、タイムコード値のバックアップができなくなりますので、バックアップ電池の交換が必要です。

最寄りのサービスセンターにご相談のうえ、新しい電池 (CR2032) と交換してください。



<ノート>

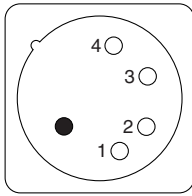
電池交換の際は、必ず販売店、または販売店指定のサービス店にご相談ください。

第6章 保守・点検

6-2-6 コネクタ信号の内容

DC IN	
1	GND
2	NC
3	NC
4	+12V

松下品番 K1AA104H0024
 メーカー品番 HA16RX-4P (SW1)
 (ヒロセ電機)

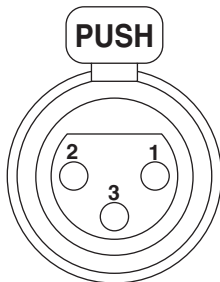


<ノート>

外部からの供給電源は、極性を正しくご使用ください。

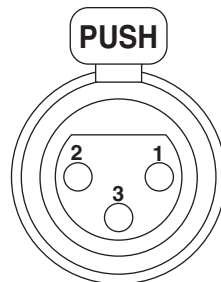
FRONT MIC IN	
1	GND
2	AUDIO IN(H)
3	AUDIO IN(C)

松下品番 K1AB103B0013
 メーカー品番 NC3FBH2
 (ノイトレック)



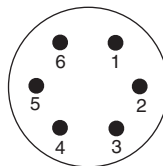
AUDIO IN	
1	GND
2	AUDIO IN(H)
3	AUDIO IN(C)

松下品番 K1AB103A0007
 メーカー品番 HA16PRM-3SG
 (ヒロセ電機)



GPS	
1	GPS TXA
2	GPS RXA
3	GPS VBAT
4	START
5	GPS VCC
6	GPS GND

松下品番 K1AB106J0010
 メーカー品番 HR10A-7R-6SC
 (ヒロセ電機)

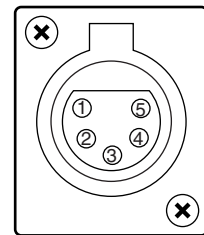


<ノート>

4番端子には本機のVTR START /STOP を割り付けています。

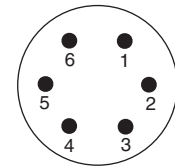
AUDIO OUT	
1	GND
2	L CH OUT (H)
3	L CH OUT (C)
4	R CH OUT (H)
5	R CH OUT (C)

松下品番 K1AA105H0007
 メーカー品番 HA16RD-5P
 (ヒロセ電機)



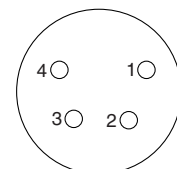
ECU	
1	CAM CONT
2	CAM DATA
3	NC
4	ECU ON
5	UNREG 12V
6	GND

松下品番 K1AB106J0010
 メーカー品番 HR10A-7R-6SC
 (ヒロセ電機)



DC OUT	
1	GND
2	NC
3	NC
4	+12V OUT

松下品番 VJS3824A004
 メーカー品番 HR10A-7R-4SC
 (ヒロセ電機)



第6章 保守・点検

6-3 警告システム

6-3-1 警告内容一覧

電源を入れた直後や操作中に異常が検出されると、WARNING ランプ、ビューファインダー内のランプ、およびアラームが異常発生を知らせます。

<ノート>

各項目は WARNING ランプ、タリーランプ、ビューファインダー内警告の優先順となっていて、同時に複数のエラーが起こった場合、順位が上のものが表示されます。ただし「WIRELESS RF」はメニュー設定により、表示されない場合があります。


1. SLACK

LCD内表示	SLACK 表示とエラーコードが点滅します。
WARNING ランプ	1 秒間に 4 回点滅します。
タリーランプ	1 秒間に 4 回点滅します。
ビューファインダー	SLACK 表示とエラーコードが点灯します。
アラーム	連続して鳴ります。
警告内容	モータ、ソレノイドなどのメカニズム関連の異常です。
VTR 部の動作	停止します。 ソレノイドの異常を検出したときは、電源が切れます。
対 策	「6-3-2 エラーコード」を確認し、最寄りのサービスセンターにご相談ください。

2. BATTERY END

LCD内表示	バッテリー残量を示すバー表示が点滅します。
WARNING ランプ	点灯します。
タリーランプ	1 秒間に 1 回点滅します。
ビューファインダー	BATT LED が点灯します。
アラーム	連続して鳴ります。
警告内容	バッテリーの消耗です。
VTR 部の動作	全ての動作を停止して、テープをアンロードします。 カセットテープのイジェクト動作のみを受け付けます。
対 策	バッテリーを交換します。

3. TAPE END

LCD内表示	テープの残量を示すバー表示が点滅します。
WARNING ランプ	点灯します。(停止中とスタンバイオフ時)
タリーランプ	1 秒間に 4 回点滅します。(停止中とスタンバイオフ時)
ビューファインダー	 END が点滅します。(停止中とスタンバイオフ時)
アラーム	連続して鳴ります。(停止中とスタンバイオフ時)
警告内容	テープの終端です。
VTR 部の動作	記録、再生、早送り中は、動作を停止します。
対 策	テープを巻き戻します。 または、カセットテープを交換します。

4. REC WARNING

LCD内表示	コード 11 の表示が点灯します。
WARNING ランプ	1 秒間に 4 回点滅します。(記録中に 3 秒間以上)
タリーランプ	1 秒間に 4 回点滅します。(記録中に 3 秒間以上)
ビューファインダー	REC WARNING 表示が点灯します。(記録中に 3 秒間以上)
アラーム	1 秒に 4 回鳴ります。(記録中に 3 秒間以上)
警告内容	記録制御信号の異常です。
VTR 部の動作	記録を継続しますが、警告が表示されている間は、正しく記録できない場合があります。
対 策	テープを巻き戻します。 または、カセットテープを交換します。

第6章 保守・点検

5. HUMID

LCD内表示	結露を検出したときにHUMID表示が点灯します。結露検出解除後、10分から90分の間はHUMID表示が点滅します。
WARNINGランプ	結露検出から結露検出解除後、90分間は点灯します。
タリールンプ	結露検出解除後、90分間は1秒に4回点滅します。
ビューファインダー	結露検出から結露検出解除後90分まではHUMID表示が点灯します。
アラーム	連続して鳴ります。(記録中は1秒間に4回)
警告内容	結露が発生しています。
VTR部の動作	記録動作は継続しますが、テープ貼り付きを起こすと、記録を停止します。結露検出解除後80分間は、ドラムを回転させ動作を受け付けません。
対 策	テープ走行を停止し、電源を切ってください。再度電源を入れても、HUMID表示が消えない場合は、消えるまでお待ちください。

7. RF

LCD内表示	RF表示が点滅します。(待機中、記録中)
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。(記録中)
タリールンプ	1秒間に4回点滅します。(記録中)
ビューファインダー	RF表示が点灯します。(記録中)
アラーム	1秒間に4回鳴ります。(記録中)
警告内容	ビデオヘッドの目詰まりです。記録系に異常があります。
VTR部の動作	クリーニングローラーが作動し、ヘッドをクリーニングします。(最大3秒間) 記録を継続しますが、正しく記録できない場合があります。 LCD内の表示は、REC/PAUSE状態まで保持します。REC/PAUSEからモードが移行した時点で消灯します。
対 策	ヘッドクリーニングをします。 クリーニング後も正しく記録できない場合は、電源を切り、最寄りのサービスセンターにご相談ください。

9. BATTERY NEAR END

LCD内表示	バッテリー残量を示すバー表示が点滅します。
WARNINGランプ	1秒間に1回点滅します。
タリールンプ	1秒間に1回点滅します。
ビューファインダー	BATT LEDが点滅します。
アラーム	1秒間に4回鳴ります。
警告内容	バッテリーの消耗間近です。
VTR部の動作	動作を継続します。
対 策	必要に応じて、バッテリーを交換します。


6. SERVO

LCD内表示	SERVO表示が点灯します。(記録中と再生中)
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。(記録中と再生中)
タリールンプ	1秒間に4回点滅します。(記録中と再生中)
ビューファインダー	SERVO表示が点灯します。(記録中と再生中)
アラーム	1秒間に4回鳴ります。(記録中と再生中)
警告内容	サーボが乱れています。
VTR部の動作	動作を継続しますが、正しく動作しない場合があります。
対 策	電源を切り、販売店にご相談ください。 テープ走行開始時に、警告表示が一瞬点滅して消える場合がありますが、異常ではありません。

8. WIRELESS RF

LCD内表示	表示しません。
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。(待機中、記録中)
タリールンプ	1秒間に4回点滅します。(記録中)
ビューファインダー	記録中は3秒間以上、WIRELESS RF表示が点灯します。(待機中、記録中)
アラーム	1秒間に4回鳴ります。(記録中)
警告内容	ワイヤレス受信状態が悪いことを示します。
VTR部の動作	動作を継続しますが、ワイヤレスマイク受信ができていません。
対 策	マイクの電源や、レシーバーの受信状態をチェックしてください。

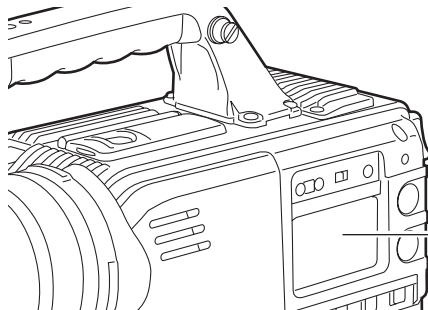
10. TAPE NEAR END

LCD内表示	テープ残量を示すバー表示が点滅します。
WARNINGランプ	1秒間に1回点滅します。(記録中)
タリールンプ	1秒間に1回点滅します。(記録中)
ビューファインダー	●テープ残量表示が点滅します。(EEモード時) ●  がテープエンドの1分前に3秒間点滅します。
アラーム	1秒間に1回鳴ります。
警告内容	テープの終端間近(残り2分)です。
VTR部の動作	動作を継続します。
対 策	必要に応じて、カセットテープを交換します。

第6章 保守・点検

6-3-2 エラーコード

何らかの原因で本機にエラーが発生したときには、表示窓に下記のエラーコードを表示します。



コードNo.	内容
04	ピンチソレノイド異常
08	クリーニングソレノイド異常
0B	供給リールの異常
0C	巻き取りリールの異常
0D	キャプスタン異常
0E	シリンダーの異常
0F	ローディング異常
3B	サーボ通信異常
3F	カメラ通信異常
6F	基準信号異常
11	ビデオ初期化異常

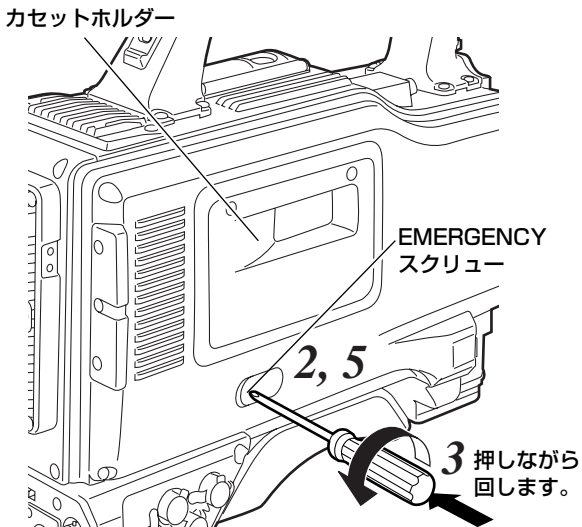
6-3-3 EMERGENCY イジェクト

EJECT ボタンを押してもカセットを取り出せないときは、ドライバー等で EMERGENCY スクリューを押しながら回すと、カセットを取り出すことができます。

- 1 電源を「OFF」にします。
- 2 図のようにゴムキャップを外し、プラスドライバーを EMERGENCY スクリュー（赤色）の十字部に挿入します。
- 3 ドライバーを押しながら、テープがイジェクトするまで EMERGENCY スクリューを反時計方向に回転させます。
 - 回し始めてからアンローディングを開始するまで、約 20 回転が必要です。
 - 回し始めてからテープがイジェクトするまで、約 90 回転が必要です。
- 4 カセットを取り出します。
- 5 ゴムキャップを元に戻します。

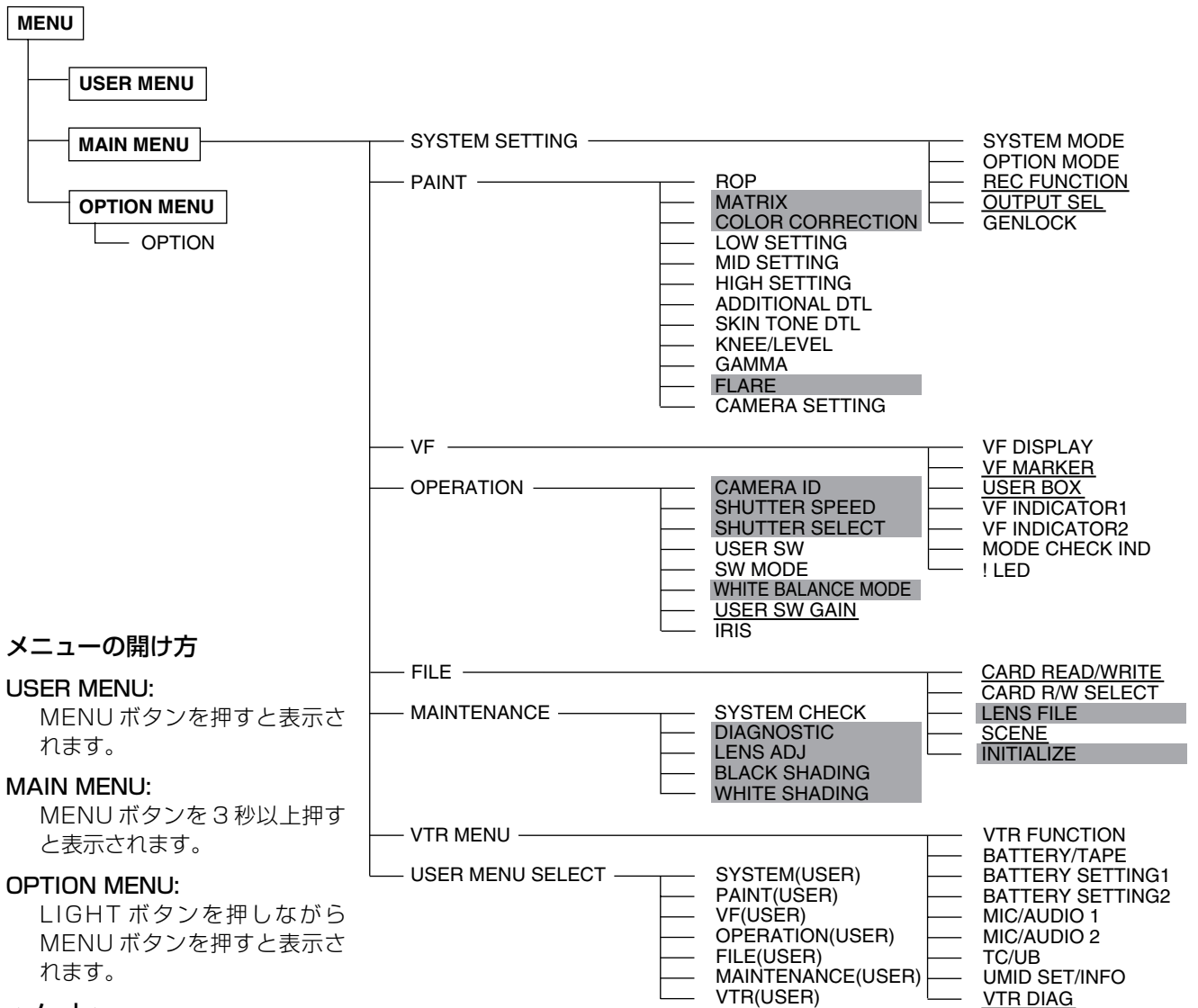
<ノート>

- 緊急以外はこの EMERGENCY スクリューを回さないようにしてください。
- スクリューは時計方向に回さないでください。また、テープがイジェクトした後はそれ以上回転させないでください。メカニズム部を破損させるおそれがあります。
- テープがイジェクトした後は、カセットホルダーを閉めてもロックしません。必ず電源を再投入し、メカニズムの動作をリセットさせてから、カセットホルダーを閉めてください。
- EMERGENCY スクリューを回す際、クリック（カチカチ）音がしますが、リール駆動の動作音であり、異常ではありません。



第7章 MENU一覧

7-1 メニュー構成



メニューの開け方

USER MENU:

MENU ボタンを押すと表示されます。

MAIN MENU:

MENU ボタンを3秒以上押すと表示されます。

OPTION MENU:

LIGHT ボタンを押しながら MENU ボタンを押すと表示されます。

<ノート>

- 設定可能な項目はカメラ関連が3ページ分、 $14 \times 3 = 42$ 項目と、VTR関連1ページ分14項目となります。
- のある項目は、<USER MENU SELECT> で選択できません。
- のある項目は、<USER MENU SELECT> で項目全体（1ページ分）でのみ選択できます。各項目別で個別に選択できません。

メニュー一覧の見方

メニュー変更した内容が、それぞれのデータに記憶、またはデータから読み出しがされるかどうかを示します。
/ の場合は、記憶/読み出しできません。

S = シーンファイルデータとして記憶/読み出し可能です。
C = CARD READ/WRITE で記憶/読み出し可能です。
U = ユーザーデータとして記憶/読み出し可能です。
「7-6-4 SCENE」と「7-6-5 INITIALIZE」を参照してください。

F = READ FACTORY DATA で読み出し可能です。
「7-6-5 INITIALIZE」を参照してください。

E = ECU DATA SAVE で記憶が可能です。
「5-9 エクステンションコントローラ (AJ-EC3P) の接続」を参照してください。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
REC SIGNAL	CAM VIDEO	ビデオ入力信号を切り換えます。 CAM: カメラからの信号を記録 VIDEO: GENLOCK IN 端子からの信号を記録
C U F E		<ノート> 一度電源をOFFにすると、次回電源ON時は必ずCAMに設定されます。

この項目の設定値の可変範囲や、選択できる設定項目を示します。

この項目で設定できる内容の説明です。

第7章 MENU一覧

7-2 SYSTEM SETTING

7-2-1 SYSTEM MODE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
REC SIGNAL	CAM VIDEO	ビデオ入力信号を切り換えます。 CAM: カメラからの信号を記録 VIDEO: GENLOCK IN 端子からの信号を記録 <ノート> 一度電源を OFF にすると、次回電源 ON 時は必ず CAM に設定されます。
／ C U F E		
CAMERA MODE	60i 30P 24P 24PA	カメラの動作モードを切り換えます。 60i: カメラが 60i で動作します。 30P: カメラが 30P で動作します。 24P: カメラが 24P で動作します。 (2:3) 24PA: カメラが 24PA で動作します。 (2:3:3:2)
S C U F E		
V.RES (24/30P)	INTRLCE PROG.	24P、24PA、30P 選択時の垂直解像度を設定します。 INTRLCE: ラインミックスします。自然な画像が得られます。 PROG.: ラインミックスしません。撮影後の編集時に完全なプログレッシブ映像が得られます。 <ノート> PROG.が選択された場合、プログレッシブセグメントフレーム画像となり、完全なプログレッシブ編集が可能です。ただし垂直方向のディテール (V.DTL) を付加すると不自然な画になりますので、V.DTL を 0 にして使用されることをおすすめします。(V.DTL が 0 でも、プログレッシブ編集後の画像には十分な垂直レスポンスが確保されています)
S C U F E		
REC MODE	16:9/50M 4:3/50M 16:9/25M 4:3/25M	VTR に記録するモードを選択します。 16:9/50M: <16:9> 信号を 50 Mbps で記録します。 4:3/50M: <4:3> 信号を 50Mbps で記録します。 16:9/25M: <16:9> 信号を 25 Mbps で記録します。 4:3/25M: <4:3> 信号を 25Mbps で記録します。
／ C U F E		
SET UP 50	0% 7.5%A	セットアップの切り換えを行います。(50M 記録のとき) 0%: カメラ出力、テープ上ともセットアップ 0% 7.5%A: カメラ出力はセットアップ 7.5%、テープ上はセットアップ 0%
／ C U F E		
SET UP 25	0% 7.5% 7.5%A	セットアップの切り換えを行います。(25M 記録のとき) 0%: カメラ出力、テープ上ともセットアップ 0% 7.5%: カメラ出力、テープ上ともセットアップ 7.5% 7.5%A: カメラ出力はセットアップ 7.5%、テープ上はセットアップ 0%
／ C U F E		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
PB MODE	MANUAL AUTO	再生モードを切り換えます。 MANUAL: REC MODE の 25M/50M 状態に従います。 16:9 か 4:3 はテープから読みとった状態で動作します。 AUTO: 記録モードを自動検出して再生するモードです。
／ C U F E		
REC TALLY	RED GREEN CHAR	延長装置などを使ったシステムを構築し、かつリモートで使用時、26pin CONTROL が BOTH の時に本機の記録を知らせる方法を選択します。 RED: 赤色タリールランプが点灯します。 GREEN: 緑色タリールランプが点灯します。 CHAR: VF にキャラクタで「REC」を表示します。
／ C U F E		

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧

7-2-2 OPTION MODE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
P.OFF GPS DATA	HOLD CLEAR	電源 OFF 時、UMID の GPS 位置情報 を HOLD しておいて、次に電源を ON にしてから新たに測定できるまでの間、 前値ホールド状態のデータとして記録 するかどうかを選択します。 HOLD: ホールドして記録します。 CLEAR: 電源 OFF と同時にクリアし、 次の電源 ON から測定までの 間はオールゼロ (No-Info) を記録します。
COMPONENT OUT	M2 BETACAM OFF	周辺機器へのコンポーネント出力のパ ワーセーブを行うかどうかを選択しま す。 M2: M2 レベルで出力します。 BETACAM: BETACAM レベルで出力し ます。 OFF: パワーセーブし、出力を停 止します。(ただし、カメラ アダプター接続時、および 26pin タリーを検出時は強 制 ON に、それ以外は OFF になります)
26PIN CONTROL	OFF BOTH	26 ピン制御モードを設定します。 OFF: 本機のみコントロールします。 (26 ピンの制御はしない) BOTH: 本機と 26 ピンの両方をコン トロールします。タリー LED は 26pin のタリー信号の状態を 表示します。(本機の記録は、 SYSTEM MODE の REC TALLY で設定できます)
26PIN CTL DEFAULT	NORMAL SPECIAL	使用するポータブルの選択 (VTR S/S 初期状態の切り替え) を行います。 NORMAL: 初期 "L" (Panasonic M II、AJ- D92) SPECIAL: 初期 "H" (Panasonic VHS/S-VHS)
SDI METADATA	ON OFF	SDI にメタデータを出力する/しないを 設定します。
SDI EDH	ON OFF	SDI 出力にエラーディテクションフラ グを付けるかどうかを設定します。

7-2-3 REC FUNCTION

項目/ データ保存	可変範囲	備考
INTERVAL REC MODE	ON ONE SHOT OFF	INTERVAL REC 機能を設定します。 ON: メモリーを使用した間欠記録で は、1 フレーム単位まで可能です。 (AJ-YA903G 装着時) メモリーを使用しない間欠記録の 場合、記録時間は 2 秒以上です。 (AJ-YA903G 非装着時) ONE SHOT: REC TIME で設定された時間、一回 だけ記録し、停止します。 OFF: インターバル REC は行いません。
REC TIME	00s01f 59s29f	記録時間 (1 カット) を設定します。 メモリー非使用時の最短記録時間は 2 秒になります。 <ノート> 24P、24PA のときは 5 フレーム単位 に切り捨てた動作になります。最短動 作は 5 フレーム (設定値が 9 フレーム 以下の場合) です。
PAUSE TIME	00h00m00s01f 00h04m59s29f 23h59m59s29f	記録一時停止時間の設定をします。 <ノート> 24P、24PA のときは 5 フレーム単位 に切り捨てた動作になります。最短動 作は AJ-YA903G 装着時は 5 フレーム (設定値が 9 フレーム以下の場合)、非 装着時は 4 秒 (設定値が 4 秒 4 フレーム 以下の場合) です。
TAKE TOTAL TIME	NONE 5day	撮影に要する時間の設定をします。 NONE (手動で停止するまで続ける) か ら 5DAY (5 日間) の中から選択します。
TOTAL REC TIME	00m00s01f 90m59s29f OVER 100min NONE	総記録時間を表示します。ここでの設 定変更はできません。REC TIME、 PAUSE TIME、TAKE TOTAL TIME の計算結果を表示します。 <ノート> 24P、24PA のときは 5 フレーム単位 に切り捨てた動作になります。TAKE TOTAL TIME は 5 フレーム単位の実動 作に基づいた値を表示します。
AUDIO REC	OFF ON	音声記録の有無を設定します。
START DELAY	0SEC 10SEC	INTERVAL REC で REC スタートを押 してから、記録を開始するまでの時間 を設定します。
PRE REC MODE (AJ-YA903G 装着時)	OFF 0SEC 7SEC 15SEC	プリレックの設定をします。 OFF: プリレックは動作しません。 0 ~ 15SEC: REC START ボタンを押してから、 さかのぼって記録できる時間の設定 をします。
NEWS REC MODE (AJ-YA903G 非装着時)	OFF 0.2SEC 2.0SEC	NEWS REC 時間の設定をします。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧

7-2-5 GENLOCK

項目/ データ保存	可変範囲	備考
RETAKЕ MODE	ON OFF	リテイク動作 (MODE CHECK スイッチ + RET スイッチ) を行うかを選択します。 電源 OFF で OFF に戻ります。
///C///U///F///		

<ノート>

REC TIME、PAUSE TIME および TOTAL REC TIME は、ドロップフレーム動作中はドロップフレーム換算に、ノンドロップ動作中はノンドロップフレーム換算になります。TAKE TOTAL TIME は実時間です。したがって設定によっては TOTAL REC TIME に端数がつきます。

ドロップフレーム時の例

REC TIME	02s00f
PAUSE TIME	02s00f
TAKE TOTAL TIME	40min
TOTAL REC TIME	19m59s06f

7-2-4 OUTPUT SEL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
VIDEO OUT SEL	VBS VF Y SDI	VBS: 通常のコンポジット出力 VF: VF の Y をそのまま出力します。マーカー表示付き Y: コンポーネント Y を出力します。 SDI: SDI 出力 (SDI オプションがあるときのみ選択可能)
///C///U///F///		
OUTPUT CHAR	TC STATUS MENU ONLY	ビデオアウト (ANALOG または SDI)、およびモニターアウトに MIX するキャラクタ内容を設定します。 TC: タイムコードを表示します。 (メニューの時はメニューを表示) <ノート> TC 表示位置はカメラ ID の位置に応じて上下します。 STATUS: VF に重畳しているキャラクタと、同じものを全て表示します。 (メニューの時はメニューを表示) MENU ONLY: メニューの時のみ表示します。通常は何も表示しません。
///C///U///F///		
MONITOR OUT CHAR	ON OFF	モニターアウトにキャラクタを重畳するかどうかを選択します。(キャラクタの内容はビデオアウトと同一) ON: 重畳します。(VIDEO OUT CHARACTER スイッチには連動しません) OFF: 重畳しません。(VIDEO OUT CHARACTER スイッチには連動しません)
///C///U///F///		
VF MODE	EE/PB EE	EE/PB: 再生モードでは再生画になります。 EE: 常にカメラ画像になります。
///C///U///F///		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
GENLOCK	INT EXT 26P EXT	カメラ信号の同期信号を切り換えます。 INT: GENLOCK IN 端子に入力された基準信号に関係なく内部の基準信号に同期します。 EXT: GENLOCK IN 端子に入力された基準信号に同期します。 26P EXT: 26 ピン端子に入力された信号に同期します。
///C///U///F///E		
H PHASE COARSE	- 50 + 00 + 50	システムを組む際に水平同期の位相合わせの粗調整を行いません。
///C///U///F///E		
H PHASE FINE	- 160 + 000 + 160	システムを組む際に水平同期の位相合わせの微調整を行いません。 <ノート> 本調整で SC 位相も同時に動きます。
///C///U///F///E		
SC PHASE COARSE	0 1 3	GENLOCK 時の SC PHASE の粗調整を行いません。
///C///U///F///E		
SC PHASE FINE	- 75 + 00 + 75	GENLOCK 時の SC PHASE の微調整を行いません。 <ノート> 本機の GENLOCK 調整は、H PHASE 調整後 SC PHASE の調整を行ってください。
///C///U///F///E		

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧

7-3 PAINT

7-3-1 ROP

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MASTER PED	-200 .. +020	マスターペダスタルのレベル設定をします。
S U F E	+200	
MASTER DTL	-31 .. +00	Hディテール/Vディテールのレベル設定をします。
S C U F E	+31	
MASTER GAMMA	0.35 .. 0.45	マスターガンマの設定を0.01STEPで行います。
S U F E	0.75	
KNEE POINT	70.0% .. 85.0%	KNEE POINTの位置設定を0.5%STEPで行います。
S U F E	107.0%	
KNEE SLOPE	0 .. 50	KNEEの傾きを設定します。
S U F E	99	
R GAIN	-200 .. +000	Rchのゲイン設定を行います。
S C U F E	+200	
G GAIN	-200 .. +000	Gchのゲイン設定を行います。
S C U F E	+200	
B GAIN	-200 .. +000	Bchのゲイン設定を行います。
S C U F E	+200	
R PEDESTAL	-100 .. +000	Rchのペダスタルレベルの設定をします。
S C U F E	+100	
G PEDESTAL	-100 .. +000	Gchのペダスタルレベルの設定をします。
S C U F E	+100	
B PEDESTAL	-100 .. +000	Bchのペダスタルレベルの設定をします。
S C U F E	+100	

7-3-2 MATRIX

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MATRIX TABLE	A B	色補正テーブルを選択します。
S C U F E		
MATRIX R-G	-31 .. +00	色調整を行います。
S C U F E	+31	
MATRIX R-B	-31 .. +00	色調整を行います。
S C U F E	+31	
MATRIX G-R	-31 .. +00	色調整を行います。
S C U F E	+31	
MATRIX G-B	-31 .. +00	色調整を行います。
S C U F E	+31	
MATRIX B-R	-31 .. +00	色調整を行います。
S C U F E	+31	
MATRIX B-G	-31 .. +00	色調整を行います。
S C U F E	+31	
L MATRIX TABLE	OFF A B	GAIN LOW時の色補正テーブルを選択します。
S C U F E		
M MATRIX TABLE	OFF A B	GAIN MID時の色補正テーブルを選択します。
S C U F E		
H MATRIX TABLE	OFF A B	GAIN HIGH時の色補正テーブルを選択します。
S C U F E		

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧

7-3-3 COLOR CORRECTION

項目/ データ保存	可変範囲	備考
R (SAT/PHASE)	-63 : +00	赤の色補正（飽和度・色相）を行います。
S C U F E	+63	
R-Mg (SAT/PHASE)	-63 : +00	赤とマゼンタの間の色補正（飽和度・色相）を行います。
S C U F E	+63	
Mg (SAT/PHASE)	-63 : +00	マゼンタの色補正（飽和度・色相）を行います。
S C U F E	+63	
Mg-B (SAT/PHASE)	-63 : +00	マゼンタと青の間の色補正（飽和度・色相）を行います。
S C U F E	+63	
B (SAT/PHASE)	-63 : +00	青の色補正（飽和度・色相）を行います。
S C U F E	+63	
B-Cy (SAT/PHASE)	-63 : +00	青とシアンの間の色補正（飽和度・色相）を行います。
S C U F E	+63	
Cy (SAT/PHASE)	-63 : +00	シアンの色補正（飽和度・色相）を行います。
S C U F E	+63	
Cy-G (SAT/PHASE)	-63 : +00	シアンと緑の間の色補正（飽和度・色相）を行います。
S C U F E	+63	
G (SAT/PHASE)	-63 : +00	緑の色補正（飽和度・色相）を行います。
S C U F E	+63	
G-YI (SAT/PHASE)	-63 : +00	緑と黄色の間の色補正（飽和度・色相）を行います。
S C U F E	+63	
YI (SAT/PHASE)	-63 : +00	黄色の色補正（飽和度・色相）を行います。
S C U F E	+63	
YI-R (SAT/PHASE)	-63 : +00	黄色と赤の間の色補正（飽和度・色相）を行います。
S C U F E	+63	

7-3-4 LOW SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MASTER GAIN	-3dB : 0dB	マスターゲインを-3, 0, 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30dBから選択します。
S C U F E	30dB	
H.DTL LEVEL	00 : 28	H.DTL LEVEL の設定を行います。
S C U F E	63	
V.DTL LEVEL	00 : 12	V.DTL LEVEL の設定を行います。
S C U F E	31	
DTL CORING	00 : 02	DTL CORING の設定を行います。
S C U F E	15	
H.DTL FREQ.	00 : 20	H.DTL FREQ の設定を行います。
S C U F E	31	
LEVEL DEPEND.	0 : 1	LEVEL DEPEND の設定を行います。
S C U F E	5	
MASTER GAMMA	0.35 : 0.45	MASTER GAMMA の設定を 0.01 STEPで行います。
S C U F E	0.75	
BLACK STRETCH	-3 : OFF	暗部のγカーブの設定を行います。
S C U F E	+3	
MATRIX TABLE	OFF : A	色補正 TABLE の選択を行います。
S C U F E	B	
COLOR CORRECT	ON : OFF	色補正の ON/OFF の選択を行います。
S C U F E		

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧

7-3-5 MID SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MASTER GAIN	-3dB : 9dB : 30dB	マスターゲインを-3, 0, 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30dBから選択します。
S C U F E		
H.DTL LEVEL	00 : 20 : 63	H.DTL LEVEL の設定を行います。
S C U F E		
V.DTL LEVEL	00 : 10 : 31	V.DTL LEVEL の設定を行います。
S C U F E		
DTL CORING	00 : 03 : 15	DTL CORING の設定を行います。
S C U F E		
H.DTL FREQ.	00 : 20 : 31	H.DTL FREQ の設定を行います。
S C U F E		
LEVEL DEPEND.	0 : 1 : 5	LEVEL DEPEND の設定を行います。
S C U F E		
MASTER GAMMA	0.35 : 0.45 : 0.75	MASTER GAMMA の設定を 0.01 STEP で行います。
S C U F E		
BLACK STRETCH	-3 : OFF : +3	暗部の γ カーブの設定を行います。
S C U F E		
MATRIX TABLE	OFF A : B	色補正 TABLE の選択を行います。
S C U F E		
COLOR CORRECT	ON OFF	色補正の ON/OFF の選択を行います。
S C U F E		

7-3-6 HIGH SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MASTER GAIN	-3dB : 18dB : 30dB	マスターゲインを-3, 0, 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30dBから選択します。
S C U F E		
H.DTL LEVEL	00 : 10 : 63	H.DTL LEVEL の設定を行います。
S C U F E		
V.DTL LEVEL	00 : 10 : 31	V.DTL LEVEL の設定を行います。
S C U F E		
DTL CORING	00 : 08 : 15	DTL CORING の設定を行います。
S C U F E		
H.DTL FREQ.	00 : 20 : 31	H.DTL FREQ の設定を行います。
S C U F E		
LEVEL DEPEND.	0 : 3 : 5	LEVEL DEPEND の設定を行います。
S C U F E		
MASTER GAMMA	0.35 : 0.55 : 0.75	MASTER GAMMA の設定を 0.01 STEP で行います。
S C U F E		
BLACK STRETCH	-3 : OFF : +3	暗部の γ カーブの設定を行います。
S C U F E		
MATRIX TABLE	OFF A : B	色補正 TABLE の選択を行います。
S C U F E		
COLOR CORRECT	ON OFF	色補正の ON/OFF の選択を行います。
S C U F E		

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

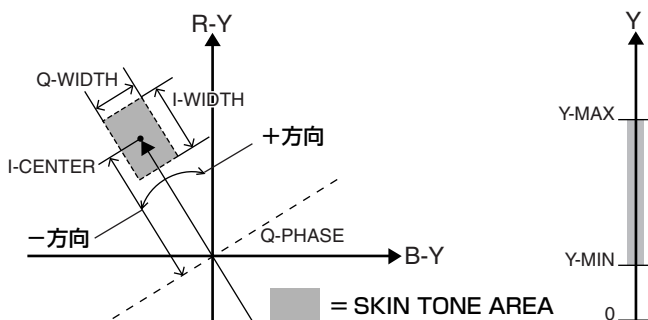
第7章 MENU一覧

7-3-7 ADDITIONAL DTL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
KNEE APE LVL	OFF 1 2 5	KNEE APE LEVEL の設定を行います。
S C U F E		
CHROMA DTL	OFF 0 5	CHROMA DTL の設定を行います。 クロマエッジを検出し、それを Y にのせて H.DTL を強調します。数値が大き いほど、補正が大きくなります。
S C U F E		
DTL GAIN(+)	-31 +00 +31	DTL の + 方向のレベルを変えます。
S C U F E		
DTL GAIN(-)	-31 +10 +31	DTL の - (下) 方向のレベルを変えます。
S C U F E		
DTL CLIP	00 63	DTL 信号の + 方向のクリップを変えま す。
S C U F E		
DTL SOURCE	(R+G)/2 (G+B)/2 2G+R+B /4 (3G+R)/4 R G	DTL 信号成分の信号源の設定を行いま す。
S C U F E		
H.DTL LINE MIX	0H 1H 2H	H.DTL 信号を生成する為の走査線の設 定を行います。
S C U F E		
CORNER DTL	ON OFF	画面周辺の解像度を向上させるモード の ON/OFF の選択を行います。
S C U F E		

7-3-8 SKIN TONE DTL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SKIN TONE DTL	ON OFF	肌色 DTL の ON/OFF の選択を行いま す。
S C U F E		
SKIN TONE ZEBRA	ON OFF	SKIN TONE 範囲での ZEBRA の ON/OFF の選択を行います。
S C U F E		
SKIN DTL CORING	0 5 7	SKIN TONE DTL コアリングの効果設 定を行います。
S C U F E		
Y MAX	000 190 255	SKIN TONE を効かせる輝度信号最大 値の設定を行います。
S C U F E		
Y MIN	000 010 255	SKIN TONE を効かせる輝度信号最小 値の設定を行います。
S C U F E		
I CENTER	000 030 255	I 軸上の中心位置の設定 (SKIN TONE を効かせるエリアの設定) を行 います。
S C U F E		
I WIDTH	000 035 255	I CENTER を中心とした I 軸上の SKIN TONE を効かせるエリア幅の設定を行 います。
S C U F E		
Q WIDTH	000 010 255	I CENTER を中心とした Q 軸上の SKIN TONE を効かせるエリア幅の設 定を行います。
S C U F E		
Q PHASE	-31 +00 +31	Q 軸を基準とした SKIN TONE を効か せるエリアの位相の設定を行います。
S C U F E		



可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧

7-3-9 KNEE/LEVEL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MASTER PED	-200 :020 +200	マスターペダスタルの設定を行います。
S C U F E		
MANUAL KNEE	ON OFF	AUTO KNEE スイッチが OFF 時のモード設定を行います。ON 時に KNEE POINT/SLOPE の設定値が有効になります。
S C U F E		
KNEE POINT	70.0% :85.0% :107.0%	KNEE POINT の位置設定を 0.5% ステップで行います。
S C U F E		
KNEE SLOPE	00 :50 :99 (98)	KNEE の傾き設定を行います。0 で KNEE OFF と同じになります。 <ノート> AJ-EC3P からの可変範囲は 00 ~ 98 になります。
S C U F E		
WHITE CLIP	ON OFF	WHITE CLIP 機能の ON/OFF を選択します。ON 時に WHITE CLIP LVL の設定値が有効になります。
S C U F E		
WHITE CLIP LVL	90% :105% :109%	WHITE CLIP LEVEL の設定を行います。
S C U F E		
A.KNEE POINT	80% :85% :107%	AUTO KNEE POINT の位置設定を 0.5% ステップで行います。OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチが CAM.AUTO KNEE ON の時に有効になります。
S C U F E		
A.KNEE LVL	100 :105 :109	AUTO KNEE LEVEL の設定を行います。
S C U F E		
A.KNEE RESPONSE	1 :4	AUTO KNEE 応答速度の設定を行います。
S C U F E		

7-3-10 GAMMA

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MASTER GAMMA	0.35 :0.45 :0.75	MASTER GAMMA の設定を 0.01 ステップで行います。
S / U F E		
R GAMMA	-15 :00 :15	Rch の GAMMA 設定を行います。
S C U F E		
B GAMMA	-15 :00 :15	Bch の GAMMA 設定を行います。
S C U F E		
GAMMA MODE SEL	STD FILM LIKE1 FILM LIKE2	GAMMA の選択を行います。 STD: 標準のビデオガンマ特性です。 FILM LIKE1: ビデオ用シネマガンマ特性です。工場出荷時にシーンファイル 4 に設定されています。 FILM LIKE2: ビデオ用シネマガンマ特性です。FILM LIKE1 に比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。 <ノート> FILELIKE1 または 2 が選択されると、「7-3-9 KNEE/LEVEL」の KNEE SLOPE の設定を変更しても反映されない値が存在します。
S C U F E		

7-3-11 FLARE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
R FLARE	000 :100	R FLARE の設定を行います。
S C U F E		
G FLARE	000 :100	G FLARE の設定を行います。
S C U F E		
B FLARE	000 :100	B FLARE の設定を行います。
S C U F E		

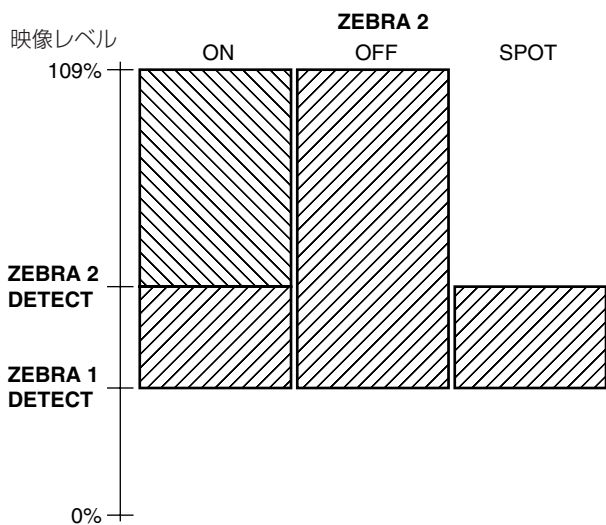
可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧

7-3-12 CAMERA SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
DETAIL S C U F E	ON OFF	DTL (H, V) のON/OFFの選択を行います。
2D LPF S C U F E	ON OFF	クロスカラーを低減させる2次元LPFのON/OFFの選択を行います。
HIGH COLOR S C U F E	ON OFF	色のダイナミックレンジを拡大するモードのON/OFFの選択を行います。
GAMMA S C U F E	ON OFF	ガンマ回路のON/OFFの選択を行います。
TEST SAW S C U F E	ON OFF	テスト信号のON/OFFの選択を行います。
FLARE S C U F E	ON OFF	フレア補正のON/OFFの選択を行います。
H-F COMPE. S C U F E	ON OFF	広域のDTLをあげるモードのON/OFFの選択を行います。

ゼブラパターンの表示



7-4 VF

7-4-1 VF DISPLAY

項目/ データ保存	可変範囲	備考
DISP CONDITION C U F E	NORMAL HOLD	NORMAL: ステータスを常時表示 HOLD: MODE CHECK SWを押した時のみ表示
DISP MODE C U F E	1 2 3	DISP MODEの設定を行います。 カメラの警告/通報表示を切り替えます。 くわしくは「4-7-4 表示モードと設定変更/調査結果メッセージ」を参照ください。
VF OUT C U F E	Y NAM R G B	VF出力の選択を行います。 Y: 輝度信号 NAM: R,G,Bの中で一番レベルの大きい信号を出力します R: Rch信号 G: Gch信号 B: Bch信号
VF DTL C U F E	0 : 3 : 5	VF DTLの選択を行います。 VF用信号のDTLをさらに強調します。 0の場合は本線と同じDTLになります
ZEBRA1 DETECT C U F E	0% : 70% : 109%	ZEBRA1 検出レベル(IRE値)の設定を行います。
ZEBRA2 DETECT C U F E	0% : 85% : 109%	ZEBRA2 検出レベル(IRE値)の設定を行います。
ZEBRA2 C U F E	ON SPOT OFF	ZEBRA2のON/OFF切換え、およびSPOTの選択を行います。
LOW LIGHT LVL C U F E	OFF 10% 15% 20% 25% 30% 35%	カメラの入力光量がどのくらい低い時に、“LOW LIGHT”を表示するかの設定を行います。
ECU MENU DISP. C U F E	ON OFF	ECU接続時、VF上へのMENU表示のON/OFFの選択を行います。
50M INDICATOR C U F E	ON OFF	50M録画時の表示のON/OFFの選択を行います。
MARKER/ CHAR LVL C U F E	50% 60% 70% 80% 90% 100%	VFのマーキーとキャラクタの輝度設定を行います。

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧

7-4-2 VF MARKER

項目/ データ保存	可変範囲	備考
TABLE	A B	VF MARKER 設定テーブルの選択を行います。 以下の項目で選択した A/B の現在の値と設定を行います。
☑ C U F E		
CENTER MARK	OFF 1 2 3 4	センターマークの切り替えを行います。 OFF: 表示しません。 1: + (大) 2: 中空き (大) 3: + (小) 4: 中空き (小)
☑ C U F E		
SAFETY ZONE	OFF 1 2	セフティゾーンの枠の種類を選択します。 OFF: 表示しません。 1: BOX 2: コーナー枠
☑ C U F E		
SAFETY AREA	80% 90% 100%	セフティゾーンの位置の設定を行います。
☑ C U F E		
FRAME SIG	4:3 13:9 14:9 VISTA	フレームマーカの設定を行います。 ただし REC MODE が 16 : 9 の時のみ有効になります。 VISTA は 16 : 8.65 です。
☑ C U F E		
FRAME MARK	ON OFF	フレームマーカの ON/OFF の選択を行います。
☑ C U F E		
FRAME LVL	0 15	フレームマーカの外側のレベルの設定を行います。 0: 信号 OFF に相当 15: 中央部と同じ明るさになります。 ただし FRAME SIG で VISTA を選択していると動作しません。
☑ C U F E		

7-4-3 USER BOX

項目/ データ保存	可変範囲	備考
USER BOX	ON OFF	USER BOX を表示するかどうかの設定を行います。
☑ C U F E		
USER BOX WIDTH	1 13 100	USER BOX の横幅の設定を行います。
☑ C U F E		
USER BOX HEIGHT	1 13 121	USER BOX の縦幅の設定を行います。
☑ C U F E		
USER BOX H POS	-50 +00 +50	USER BOX のセンターの水平位置の設定を行います。
☑ C U F E		
USER BOX V POS	-121 +000 +121	USER BOX のセンターの垂直位置の設定を行います。
☑ C U F E		

7-4-4 VF INDICATOR1

項目/ データ保存	可変範囲	備考
EXTENDER	ON OFF	エクステンダ表示の ON/OFF の選択を行います。
☑ C U F E		
SHUTTER	ON OFF	シャッタースピード表示の ON/OFF の選択を行います。
☑ C U F E		
FILTER	ON OFF	フィルター No. 表示の ON/OFF の選択を行います。
☑ C U F E		
WHITE	ON OFF	AWB PRE/A/B 表示の ON/OFF の選択を行います。
☑ C U F E		
GAIN	ON OFF	現在の選択ゲイン、S.GAIN、DS.GAIN 表示の ON/OFF の選択を行います。
☑ C U F E		
IRIS	OFF IRIS S+IRIS S	OFF: スーパーアイリス ON 状態、絞り値両方を表示しません。 IRIS: 絞り値のみを表示します。 S+IRIS: スーパーアイリス ON 状態、および絞り値を表示します。 S: スーパーアイリス ON 状態を表示します。 (絞り値の表示とアイリスオーバーライドの表示する/しないは連動します)
☑ C U F E		
CAMERA ID	BAR CAM ALWAYS OFF	記録時の ID ミックスの設定を行います。 BAR: カラーバーの時に記録します。 CAM: カメラ映像の時に記録します。 ALWAYS: 常に記録します。 OFF: 記録しません。
☑ C U F E		
ID POSITION	UPPER R UPPER L LOWER R LOWER L	カメラ ID を記録する場所を設定します。 UPPER R: 右上 UPPER L: 左上 LOWER R: 右下 LOWER L: 左下
☑ C U F E		
DATE/TIME	ON OFF	CAMERA ID を記録するとき、年月日、時分秒を同時にミックスして記録するかどうかの選択を行います。
☑ C U F E		
ZOOM LVL	ON OFF	ズームポジション表示の ON/OFF の選択を行います。
☑ C U F E		
COLOR TEMP	ON OFF	色温度表示の ON/OFF の選択を行います。
☑ C U F E		
CAMERA MODE	ON OFF	カメラの動作モード表示の ON/OFF の選択を行います。
☑ C U F E		

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧

7-4-5 VF INDICATOR2

項目/ データ保存	可変範囲	備考
TAPE	ON OFF	テープ残量表示の ON/OFF の選択を行います。
△ C U F E		
BATTERY	ON OFF	バッテリー電圧表示の ON/OFF の選択を行います。
△ C U F E		
AUDIO LVL	ON OFF	オーディオレベルメーター表示の ON/OFF の選択を行います。
△ C U F E		
TC	TCG TCR TCG/TCR OFF	表示するタイムコードの選択を行います。 TCG: E-E 時にタイムコードジェネレータ値を表示します。 TCR: V-V 時にタイムコードリーダー値を表示します。 TCG/TCR: E-E 時はタイムコードジェネレータ値を表示し、V-V 時はタイムコードリーダー値を表示します。 OFF: タイムコードを表示しません。
△ C U F E		
VTR WARNING	ALWAYS NORMAL OFF	VTR の警告を表示します。 ALWAYS: ワーニングが発生した場合、常に表示します。 NORMAL: ワーニングが発生後、3 秒間と REC 開始後や REC 終了後の 3 秒間に表示します。 OFF: 表示しません。
△ C U F E		
SAVE LED	SAVE & TAPE TAPE SAVE	SAVE ランプの動作を設定します。 SAVE&TAPE: VTR SAVE/STBY スイッチを SAVE にした時に点灯します。記録中は、消灯します。また、テープの終端間近には、テープの終端間近になる警告アラームに連動して点滅します。 SAVE: VTR SAVE/STBY スイッチを SAVE にした時に点灯します。記録中は、消灯します。
△ C U F E		

7-4-6 MODE CHECK IND

項目/ データ保存	可変範囲	備考
STATUS	ON OFF	MODE CHECK の時、ステータス表示を出すかどうかを設定します。
△ C U F E		
!LED	ON OFF	MODE CHECK で、!LED 点灯しているときの要因表示画面を出すかどうかを設定します。
△ C U F E		
FUNCTION	ON OFF	MODE CHECK で、FUNCTION 表示画面を出すかどうかを設定します。
△ C U F E		
AUDIO	ON OFF	MODE CHECK の時、AUDIO 表示画面を出すかどうかを設定します。
△ C U F E		
P.ON IND	ON OFF	電源 ON 後にステータス表示画面を出すかどうかを選択します。
△ C U F E		

7-4-7 !LED

項目/ データ保存	可変範囲	備考
GAIN(0dB)	ON OFF	GAIN が 0dB 以外の時に点灯するかどうかの選択を行います。
△ C U F E		
GAIN(-3dB)	ON OFF	GAIN が -3dB 以外の時に点灯するかどうかの選択を行います。
△ C U F E		
DS.GAIN	ON OFF	DS.GAIN (蓄積ゲイン) が入っている時に点灯するかどうかの選択を行います。
△ C U F E		
SHUTTER	ON OFF	シャッター ON 時に点灯するかどうかの選択を行います。
△ C U F E		
WHITE PRESET	ON OFF	AWB の CH が PRESET の時に点灯するかどうかの選択を行います。
△ C U F E		
EXTENDER	ON OFF	レンズが EXTENDER モードの時に点灯するかどうかの選択を行います。
△ C U F E		
BLACK STR	ON OFF	BLACK STRETCH が使用されている時に点灯するかどうかの選択を行います。
△ C U F E		
MATRIX	ON OFF	MATRIX が ON の時に点灯するかどうかの選択を行います。
△ C U F E		
COLOR CORRECTION	ON OFF	COLOR CORRECTION が ON の時に点灯するかどうかの選択を行います。
△ C U F E		
FILTER	ON OFF	フィルターが 3200K と CLEAR の組合せ以外の時に点灯するかどうかの選択を行います。
△ C U F E		
SUPER V	ON OFF	SUPER V が ON の時に点灯するかどうかの選択を行います。
△ C U F E		
25M/50M	OFF 25M 50M	25M または 50M の時に点灯するかどうかの選択を行います。
△ C U F E		
ATW	ON OFF	ATW ON の時に点灯するかどうかの選択を行います。
△ C U F E		
D.ZOOM	ON OFF	デジタルズーム動作中に点灯するかどうかの選択を行います。
△ C U F E		

<ノート>

GAIN (0 dB)、GAIN (-3 dB) の両方を ON に設定したときは、GAIN が 0 dB、-3 dB 以外のときに点灯します。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧

7-5 OPERATION

7-5-1 CAMERA ID

項目/ データ保存	可変範囲	備考
ID1: C U	*****	CAMERA IDの設定 1
ID2: C U	*****	CAMERA IDの設定 2
ID3: C U	*****	CAMERA IDの設定 3

<ノート>

READ FACTORY DATA を選択すると、内容がクリアされます。

7-5-2 SHUTTER SPEED

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SYNCHRO SCAN C U F E	ON OFF	使用するシャッタースピードとして SYNCHRO SCAN を選択します。
SUPER V C U F E	ON OFF	使用するシャッタースピードとして SUPER V を選択します。
POSITION1 C U F E	ON OFF	使用するシャッタースピードとして POSITION1 を選択します。
POSITION2 C U F E	ON OFF	使用するシャッタースピードとして POSITION2 を選択します。
POSITION3 C U F E	ON OFF	使用するシャッタースピードとして POSITION3 を選択します。
POSITION4 C U F E	ON OFF	使用するシャッタースピードとして POSITION4 を選択します。
POSITION5 C U F E	ON OFF	使用するシャッタースピードとして POSITION5 を選択します。
POSITION6 C U F E	ON OFF	使用するシャッタースピードとして POSITION6 を選択します。

7-5-3 SHUTTER SELECT

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SUPER V MODE C U F E	FRM1 FRM2	SUPER V のモード切換えの選択を行います。 FRM1: 通常モード FRM2: 残像低減モード <ノート> SUPER V は CCD の垂直方向のフォトダイオードの信号を混合せずに出力させて垂直方向の解像度を向上させるモードです。FRM1 は 1/30 秒の蓄積、FRM2 は 1/60 秒の蓄積となり、感度が半分になります。
POSITION1 SEL C U F E	1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000	シャッター選択を行います。
POSITION2 SEL C U F E	1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000	シャッター選択を行います。
POSITION3 SEL C U F E	1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000	シャッター選択を行います。
POSITION4 SEL C U F E	1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000	シャッター選択を行います。
POSITION5 SEL C U F E	1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000	シャッター選択を行います。
POSITION6 SEL C U F E	1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000	シャッター選択を行います。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧

7-5-4 USER SW

項目/ データ保存	可変範囲	備考
USER MAIN SW	INH S.GAIN DS.GAIN S.IRIS I.OVR S.BLK B.STR AUDIO CH1 AUDIO CH2 REC SW Y GET RET SW ATW D.ZOOM	USER MAIN ボタンの割り付けを行います。
／ C U F E		
USER1 SW	INH S.GAIN DS.GAIN S.IRIS I.OVR S.BLK B.STR AUDIO CH1 AUDIO CH2 REC SW Y GET RET SW ATW D.ZOOM	USER1 ボタンの割り付けを行います。
／ C U F E		
USER2 SW	INH S.GAIN DS.GAIN S.IRIS I.OVR S.BLK B.STR AUDIO CH1 AUDIO CH2 REC SW Y GET RET SW ATW D.ZOOM	USER2 ボタンの割り付けを行います。
／ C U F E		

7-5-5 SW MODE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
RET SW	REC CHECK CAM RET	RET スイッチの機能を選択します。 REC CHECK: REC CHECK 動作を行います。 CAM RET: リターン信号出力の動作を行います。
／ C U F E		
S.BLK LVL	OFF -10 -20 -30	スーパーブラックのレベルを設定します。
／ C U F E		
AUTO KNEE SW	ON OFF	AUTO KNEE スイッチを使用するかしないかの選択を行います。
／ C U F E		
SHD.ABB SW CTL	ON OFF	ABB スイッチの長押し (5 秒以上) でブラックシェーディングを自動調整させるか、させないかの選択を行います。
／ C U F E		
COLOR BARS	SMPTE FULL BARS SPLIT ARIB	使用するカラーバーの選択を行います。 SMPTE: SMPTE カラーバー FULL BARS: フルカラーバー SPLIT: SPLIT カラーバー ARIB: ARIB マルチフォーマットカラーバー
／ C U F E		
S.GAIN OFF	L/M/H S.GAIN	スーパーゲインモードを解除する方法を選択します。 L/M/H: ゲイン切り換えスイッチの変化で解除します。 S.GAIN: S.GAIN スイッチ (USER ボタン) でのみ解除します。
／ C U F E		
DS.GAIN OFF	L/M/H DS.GAIN	デジタルスーパーゲインモード (蓄積ゲイン) を解除する方法を選択します。 L/M/H: ゲイン切り換えスイッチの変化で解除します。 S.GAIN: S.GAIN スイッチ (USER ボタン) でのみ解除します。
／ C U F E		
D.ZOOM SEL	ZOOM FOCUS	デジタルズームの実行方法を選択します。 ZOOM: 常時デジタルズームアップします。 FOCUS: フォーカスアシスト機能として約5秒デジタルズームアップします。ただし5秒以内でも、記録にはいると強制的にD.ZOOM機能は解除されます。
／ C U F E		
ECU DATA SAVE	ON OFF	ON: ECUをカメラレコーダーから切り離れた時、ECUでコントロールした設定値を記憶します。 OFF: カメラ関連の設定値は記憶されません。
／ C U F E		

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧

7-5-6 WHITE BALANCE MODE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
FILTER INH	ON OFF	各フィルター毎にAWBメモリー(Ach、Bch)のデータを持つか持たないかの選択を行います。 ON: フィルターに無関係にAch、Bchメモリー(2メモリー)でデータを持ちます。 OFF: 各フィルターごとに持ちます。
△C U F E		
SHOCKLESS AWB	OFF FAST NORMAL SLOW1 SLOW2 SLOW3	SHOCKLESS AWBのON (FAST/NORMAL/SLOW1-3) /OFFの選択を行います。 SHOCKLESS AWBは、ホワイトバランスSWのPRST/A/Bを切替えた時のショックがありません。また、切り替え時間を選択できます。
△C U F E		
AWB AREA	25% 50% 90%	AWB 検出エリアの切換えを行います。 25%: 画面中央付近 25%のエリアを検出します。 50%: 画面中央付近 50%のエリアを検出します。 90%: 画面の 90%のエリアを検出します。
△C U F E		
AWB & ABB OFFSET	ON OFF	AWB、ABB 実行時にROPメニューのGAINとPEDの値をRESETするかしないかの選択を行います。 ON: RESETしません。 OFF: RESETします。
△C U F E		
COLOR TEMP PRE	3200K 5600K	AWB PREの色温度を設定します。
△C U F E		
AWB A	MEM VAR	WHITE BALスイッチ位置、Achの割当を選択します。 MEM: AWB 実行時のメモリーとして割り当てます。 VAR: Aの色温度をCOLOR TEMP Aで可変設定できます。
△C U F E		
COLOR TEMP A	3200K 5600K	AWB AをVARにした時の色温度を設定します。
△C U F E		
AWB B	MEM ATW VAR	WHITE BALスイッチ位置、Achの割当を選択します。 MEM: AWB 実行時のメモリーとして割り当てます。 ATW: ATW開始スイッチとして割り当てます。 VAR: Bの色温度をCOLOR TEMP Bで可変設定できます。
△C U F E		
COLOR TEMP B	3200K 5600K	AWB BをVARにした時の色温度を設定します。
△C U F E		
ATW SPEED	NORMAL SLOW FAST	ATWの制御スピードの選択を行います。
△C U F E		

7-5-7 USER SW GAIN

項目/ データ保存	可変範囲	備考
S.GAIN 30 dB	*	SUPER GAINに、30 dBを有効にするかどうかの選択を行います。 *: 有効にします。 .: 無効にします。
△C U F E		
36 dB	*	SUPER GAINに、36 dBを有効にするかどうかの選択を行います。 *: 有効にします。 .: 無効にします。
△C U F E		
42 dB	*	SUPER GAINに、42 dBを有効にするかどうかの選択を行います。 *: 有効にします。 .: 無効にします。
△C U F E		
48 dB	*	SUPER GAINに、48 dBを有効にするかどうかの選択を行います。 *: 有効にします。 .: 無効にします。
△C U F E		
DS.GAIN 6 dB ↑	*	DS.GAINに、6 dB ↑を有効にするかどうかの選択を行います。 *: 有効にします。 .: 無効にします。
△C U F E		
12 dB ↑	*	DS.GAINに、12 dB ↑を有効にするかどうかの選択を行います。 *: 有効にします。 .: 無効にします。
△C U F E		
20 dB ↑	*	DS.GAINに、20 dB ↑を有効にするかどうかの選択を行います。 *: 有効にします。 .: 無効にします。
△C U F E		

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧

7-5-8 IRIS

項目/ データ保存	可変範囲	備考
A.IRIS LEVEL C U F E	000 : 035 : 100	A.IRIS の目標値の設定を行います。
A.IRIS PEAK/AVE C U F E	000 : 040 : 100	A.IRIS の基準に対するピークの占める割合を決定します。 大きいほど、IRIS 検出ウィンドウ内のピークに対して反応し、小さいほど、IRIS 検出ウィンドウ内の平均値に対して反応します。
A.IRIS MODE C U F E	NORM1 NORM2 CENTR	AUTO IRIS 検出ウィンドウを選択します。 NORM1: 画面中央よりのウィンドウ NORM2: 画面下よりのウィンドウ CENTR: 画面中央のスポット状のウィンドウ
S.IRIS LEVEL C U F E	000 : 080 : 100	SUPER IRIS の目標値を設定します。
IRIS GAIN C U F E	CAM LENS	IRIS GAIN 調整側の選択を行います。 <ノート> FUJINON 製の DIGI POWER タイプ以前に発売されたエクステンダー付き (×2, ×0.8 など) のレンズでは、エクステンダーを入れた状態のままレンズ側で IRIS 補正制御を動作させるため、CAM 側に設定すると本機の IRIS 制御が正常に動作しなくなります。
IRIS GAIN VALUE C U F E	01 : 08 : 20	IRIS GAIN 調整値の設定を行います。 IRIS GAIN が CAM を選択時、この設定は有効になります。

7-6 FILE

7-6-1 CARD READ/WRITE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
R.SELECT F	1 : 8	読み出す (READ) ファイルの番号を選択します。
READ		セットアップカードのデータを読み出します。
W.SELECT F	1 : 8	書き込むファイルの番号を選択します。
WRITE		カメラのデータをセットアップカードへ書き込みます。
CARD CONFIG		セットアップカードをフォーマットします。
TITLE READ		セットアップカードのデータに付けられているタイトルを読み出します。
TITLE1~8:		8文字までのタイトル名が設定できます。

7-6-2 CARD R/W SELECT

項目/ データ保存	可変範囲	備考
ID READ/WRITE F	ON OFF	CARD READ/WRITE 時に、CAMERA ID を、取り扱うかどうかを選択します。
USER MENU SELECT R/W F	ON OFF	CARD READ/WRITE 時に、FILE MENU の設定を、取り扱うかどうかを選択します。
SYSTEM MENU R/W F	ON OFF	CARD READ/WRITE 時に、SYSTEM SETTING の項目を、取り扱うかどうかを選択します。
PAINT MENU LEVEL R/W F	ON OFF	CARD READ/WRITE 時に、PAINT MENU の調整値を、取り扱うかどうかを選択します。
PAINT MENU SW(■) R/W F	ON OFF	CARD READ/WRITE 時に、PAINT MENU の設定を、取り扱うかどうかを選択を行います。
VF MENU R/W F	ON OFF	CARD READ/WRITE 時に、VF MENU の設定を、取り扱うかどうかを選択します。
OPERATION MENU R/W F	ON OFF	CARD READ/WRITE 時に、OPERATION MENU の設定を、取り扱うかどうかを選択します。
MAINTENANCE MENU R/W F	ON OFF	CARD READ/WRITE 時に、MAINTENANCE MENU の設定を、取り扱うかどうかを選択します。
VTR MENU R/W F	ON OFF	CARD READ/WRITE 時に、VTR MENU の設定を、取り扱うかどうかを選択します。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧

7-7 MAINTENANCE

7-6-3 LENS FILE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
FILE NO.	1 : 8	レンズファイルの番号を選択します。
READ		レンズファイルのデータを読み込み (READ) ます。
WRITE		レンズファイルのデータを書き込み (WRITE) ます。
TITLE1-8	*****	12文字までのタイトル名が設定できません。

7-6-4 SCENE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
READ USER DATA		メモリーのユーザーエリアデータを読み込みます。
SCENE SEL	1 : 4	シーンファイルを選択します。
READ		シーンファイルを読み込みます。
WRITE		シーンファイルを書込みます。
RESET		SCENE FILE の値を初期値に戻します。
TITLE 1-3	*****	シーンファイルのタイトルを作成します。
TITLE 4	FILMLIKE	シーンファイルのタイトルを作成します。初期値およびリセット後は、データも含めフィルムライクに設定されています。

7-6-5 INITIALIZE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
READ FACTORY DATA		MENU (USER MENU、 MAIN MENU、 OPTION MENU) 値が全て工場出荷状態になります。
WRITE USER DATA		ユーザ固有のメニューデータをカメラのメモリにセーブします。

7-7-1 SYSTEM CHECK

項目/ データ保存	可変範囲	備考
COLOR CHECK	ON OFF	カメラレコーダが正常かどうかのチェックのON/OFFを切り換えます。センターのYとRGBのレベルをVFに表示し、それぞれの系統が正常に光学系からデジタル系まで伝送され処理されているかどうかを示します。

7-7-2 DIAGNOSTIC

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CAMSOFT (IN)		マイコン内蔵FLASH用ソフトのバージョンを表示します。
CAMSOFT (OUT)		外付けFLASH用ソフトのバージョンを表示します。
CAM TABLE		テーブルのバージョンを表示します。
FONT ROM		キャラクタのフォントのバージョンを表示します。
PLD (CHAR)		CHARACTER用プログラムソフトのバージョンを表示します。
PLD (MEM)		MEMORY用プログラムソフトのバージョンを表示します。
PLD (TG)		CCD駆動用プログラムソフトのバージョンを表示します。

7-7-3 LENS ADJ

項目/ データ保存	可変範囲	備考
F2.8 ADJ	ON OFF	ONになっている時のみIRISをF2.8にします。
F16 ADJ	ON OFF	ONになっている時のみIRISをF16にします。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧

7-8 VTR MENU

7-7-4 BLACK SHADING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CORRECT C U F E	ON OFF	デジタルブラックシェーディング補正のON/OFFを切り換えます。
DETECTION (DIG)	-	デジタルブラックシェーディング補正を実行します。

7-7-5 WHITE SHADING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CORRECT C U F E	ON OFF	ホワイトシェーディング補正のON/OFFを切り換えます。
DETECTION (V SAW)	-	ホワイトシェーディング補正を実行します。

7-8-1 VTR FUNCTION

項目/ データ保存	可変範囲	備考
HUMID OPE C U F	ON OFF	HUMID 発生時に動作を継続するかどうかを選択します。
REC START C U F	ALL NORMAL	記録開始の受け付けを選択します。
PAUSE TIMER C U F	10min 20min 30min 60min	REC/PAUSE を継続する時間を選択します。
ECU REC CHK SW C U F	R.REVIEW RETAKE	ECUのRECチェックボタンによる本機の動作を設定します。 R.REVIEW: レックレビューを行います。 RETAKE: リテイクを行いその後自動的に再生します。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧

7-8-2 BATTERY/TAPE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
BATTERY SELECT	AJ-BP490 AU-BP402 HP-30A PRO14 TRIM14 HYTRN50 HYTRN100 DIGITAL14 DIGITAL13 DIONIC BP-H120 NP-L50 NP-L50D ENDURA50 ENDURA80 BP-L60/90 NP-1B TYPE A TYPE B	使用するバッテリーを選択します。また、選択したバッテリーに合わせた残量検出が行われます。 可変範囲は「7-7-3 BATTERY SETTING1」、および「7-7-4 BATTERY SETTING2」の設定により、変化します。 なお、TYPE Aの初期値はアントンバウアー社製のPROFORMERに、TYPE Bの初期値はHYTRON100に合わせ設定されています。
EXT DC IN SELECT	AC ADPT AJ-BP490 AU-BP402 HP-30A PRO14 TRIM14 HYTRN50 HYTRN100 BP-H120 NP-L50 BP-L60/90 NP-1B ENDURA50 ENDURA80 TYPE A TYPE B	EXT DC INを使用時、残量検出の種類を設定します。また、選択した種類に合わせた残量検出が行われます。 可変範囲は「7-7-3 BATTERY SETTING1」、および「7-7-4 BATTERY SETTING2」の設定により、変化します。
BATT NEAR END ALARM	ON OFF	バッテリーニアエンドで、警告音を出力するかどうかを設定します。
BATT NEAR END CANCEL	ON OFF	ONに設定すると、バッテリーニアエンドでMODE CHECK ボタンを押すことにより、出力されている警告音や警告表示をキャンセルすることができます。
BATT END ALARM	ON OFF	バッテリーエンドで警告音を出力するかどうかを設定します。
BATT REMAIN FULL	100% 70%	デジタルバッテリー使用時に、LCD残量表示バーの表示を設定します。 100%: 100%でFULL表示します。 70%: 70%でFULL表示します。
TAPE NEAR END ALARM	ON OFF	テープニアエンドで、警告音を出力するかどうかを設定します。
TAPE NEAR END TIME	3min 2min	テープニアエンド警告を出すテープ残量時間を設定します。
TAPE END ALARM	ON OFF	テープ終端で警告音を出力するかどうかを設定します。
TAPE REMAIN	5min/■ 3min/■	LCDのテープ残量表示バーの1セグメント(■)の時間を設定します。 5min: 1セグメントが5分 3min: 1セグメントが3分

7-8-3 BATTERY SETTING1

項目/ データ保存	可変範囲	備考
AJ-BP490 *1	* / AUTO MANUAL 11.0 11.5 15.0	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 /: 選択不可 ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。 上記メニューでMANUAL選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
AU-BP402	* / AUTO MANUAL 11.0 11.5 15.0	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 /: 選択不可 ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。 上記メニューでMANUAL選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
HP-30A	* / AUTO MANUAL 11.0 12.0 15.0	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 /: 選択不可 ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。 上記メニューでMANUAL選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
PRO14	* / AUTO MANUAL 11.0 13.8 15.0	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 /: 選択不可 ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。 上記メニューでMANUAL選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。

*1 PACO社製HP-90、HP-90Aをご使用になるときには、この項目を選択ください。

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧

項目/ データ保存	可変範囲	備考
TRIM14	* /	BATTERY SELECT での選択を可能に します。 *: 選択可能 /: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを 選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 : <u>13.6</u> : 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニ アエンド電圧を 0.1 V ステップで選択 します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
HYTRON50	* /	BATTERY SELECT での選択を可能に します。 *: 選択可能 /: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを 選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 : <u>13.8</u> : 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニ アエンド電圧を 0.1 V ステップで選択 します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
HYTRON100	* /	BATTERY SELECT での選択を可能に します。 *: 選択可能 /: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを 選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 : <u>13.1</u> : 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニ アエンド電圧を 0.1 V ステップで選択 します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
BP-H120	* /	BATTERY SELECT での選択を可能に します。 *: 選択可能 /: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを 選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 : <u>11.7</u> : 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニ アエンド電圧を 0.1 V ステップで選択 します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
NP-L50	* /	BATTERY SELECT での選択を可能に します。 *: 選択可能 /: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを 選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 : <u>13.1</u> : 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニ アエンド電圧を 0.1 V ステップで選択 します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
ENDURA50	* /	BATTERY SELECT での選択を可能に します。 *: 選択可能 /: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを 選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 : <u>12.9</u> : 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニ アエンド電圧を 0.1 V ステップで選択 します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
ENDURA80	* /	BATTERY SELECT での選択を可能に します。 *: 選択可能 /: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを 選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 : <u>13.6</u> : 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニ アエンド電圧を 0.1 V ステップで選択 します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧

7-8-4 BATTERY SETTING2

項目/ データ保存	可変範囲	備考
BP-L60/90	* /	BATTERY SELECT での選択を可能に します。 *: 選択可能 /: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを 選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手で設定します。
	11.0 : 11.0 : 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニア エンド電圧を 0.1 V ステップで選択 します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
NP-1B	* /	BATTERY SELECT での選択を可能に します。 *: 選択可能 /: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを 選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手で設定します。
	11.0 : 11.4 : 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニア エンド電圧を 0.1 V ステップで選択 します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
DIGITAL 14	* /	BATTERY SELECT での選択を可能に します。 *: 選択可能 /: 選択不可
	NEAR END	ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選 択します。
	11.0 : 13.8 : 15.0	
DIGITAL 13	* /	BATTERY SELECT での選択を可能に します。 *: 選択可能 /: 選択不可
	NEAR END	ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選 択します。
	11.0 : 12.7 : 15.0	
DIGITAL 13	* /	BATTERY SELECT での選択を可能に します。 *: 選択可能 /: 選択不可
	END	ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選 択します。
	11.0 : 13.4 : 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニア エンド電圧を 0.1 V ステップで選択し ます。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
DIGITAL 13	* /	BATTERY SELECT での選択を可能に します。 *: 選択可能 /: 選択不可
	NEAR END	ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選 択します。
	11.0 : 12.2 : 15.0	
DIGITAL 13	* /	BATTERY SELECT での選択を可能に します。 *: 選択可能 /: 選択不可
	END	ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選 択します。
	11.0 : 12.2 : 15.0	ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選 択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
DIGITAL 13	* /	BATTERY SELECT での選択を可能に します。 *: 選択可能 /: 選択不可
	NEAR END	ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選 択します。
	11.0 : 13.9 : 14.0	
DIGITAL 13	* /	BATTERY SELECT での選択を可能に します。 *: 選択可能 /: 選択不可
	END	ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選 択します。
	11.0 : 13.3 : 15.0	ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選 択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
DIGITAL 13	* /	BATTERY SELECT での選択を可能に します。 *: 選択可能 /: 選択不可
	NEAR END	ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選 択します。
	11.0 : 13.1 : 15.0	
DIGITAL 13	* /	BATTERY SELECT での選択を可能に します。 *: 選択可能 /: 選択不可
	END	ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選 択します。
	11.0 : 12.2 : 15.0	ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選 択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧

項目/ データ保存	可変範囲	備考
TYPE A	* /	BATTERY SELECT での選択を可能にします。 *: 選択可能 /: 選択不可
FULL	12.0 : 15.0 : 17.0	FULL 表示する電圧を 0.1 V ステップで選択します。
NEAR END	11.0 : 13.5 : 15.0	ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選択します。
END	11.0 : 11.9 : 15.0	エンド電圧を 0.1 V ステップで選択します。
CUF		
TYPE B	* /	BATTERY SELECT での選択を可能にします。 *: 選択可能 /: 選択不可
FULL	12.0 : 15.5 : 17.0	FULL 表示する電圧を 0.1 V ステップで選択します。
NEAR END	11.0 : 13.1 : 15.0	ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選択します。
END	11.0 : 12.6 : 15.0	エンド電圧を 0.1 V ステップで選択します。
CUF		

7-8-5 MIC/AUDIO1

項目/ データ保存	可変範囲	備考
FRONT VR CH1	FRONT W.L. REAR ALL OFF	CH1 に選んだ入力系統に対して、ボリュームを動かせるかどうかを設定します。
FRONT VR CH2	FRONT W.L. REAR ALL OFF	CH2 に選んだ入力系統に対して、ボリュームを動かせるかどうかを設定します。
MIC LOWCUT CH1	FRONT REAR W.L. OFF	マイクロカットフィルターを選択します。
CUF		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MIC LOWCUT CH2	FRONT REAR W.L. OFF	マイクロカットフィルターを選択します。
CUF		
MIC LOWCUT CH3	FRONT REAR W.L. OFF	マイクロカットフィルターを選択します。
CUF		
MIC LOWCUT CH4	FRONT REAR W.L. OFF	マイクロカットフィルターを選択します。
CUF		
LIMITER CH1	ON OFF	リミッタを選択します。
CUF		
LIMITER CH2	ON OFF	リミッタを選択します。
CUF		
AUTO LEVEL CH3	ON OFF	レベル設定方法を選択します。
CUF		
AUTO LEVEL CH4	ON OFF	レベル設定方法を選択します。
CUF		
REC CH3/CH4	SW CH1/2	CH3/4 に記録する信号を選択します。 SW: サイドの CH3、CH4 セレクトスイッチに従います。 CH1/2: CH1/2 と同じものを CH3/4 に記録する。CH3/4 の入力回路はパワーセーブします。
CUF		
CUE REC SELECT	CH1 CH2 CH3 CH4 CH1+CH2 CH3+CH4	CUE に記録する信号を選択します。
CUF		
TEST TONE	NORMAL ALWAYS OFF CHSEL	テスト信号を選択します。 NORMAL: CAM/BAR スイッチが BAR で AUDIO IN スイッチの CH1 が FRONT の時、全 CH にテストトーンを出力します。 ALWAYS: CAM/BAR スイッチが BAR の時は、常に全 CH にテストトーンを出力します。 OFF: テストトーンは出力しません。 CHSEL: CAM/BAR スイッチが BAR の時、AUDIO IN スイッチの CH1 または CH2 が FRONT に設定されているチャンネルにテストトーンを出力します。CH3、CH4 には出力しません。
CUF		

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧

7-8-6 MIC/AUDIO2

項目/ データ保存	可変範囲	備考
FRONT MIC POWER	ON OFF	フロントマイクのファントム電源の選 択をします。
REAR MIC POWER	ON OFF	リアマイクのファントム電源の選 択をします。
AUDIO OUT	ON OFF	オーディオ出力回路の設定をします。 OFF: 出力回路をパワーダウンし、出力 しません。 ON: 出力します。
MONITOR SELECT	STEREO MIX	モニターに出力する信号形式を選 択します。
FRONT MIC LEVEL	-40dB -50dB	フロントマイクの入カレベルを選 択します。
REAR MIC CH1 LVL	-50dB -60dB	リアマイクの入カレベルを選 択します。
REAR MIC CH2 LVL	-50dB -60dB	リアマイクの入カレベルを選 択します。
REAR LINE IN LVL	0dB +4dB	リアライン入力のレベルを選 択します。
AUDIO OUT LVL	0dB +4dB	オーディオ出力レベルを選 択します。
HEADROOM	18dB 20dB	ヘッドルーム（基準レベル）を設 定します。
WIRELESS WARN	ON OFF	ワイヤレスレシーバーの受信状態が悪 い時、警告を出すかどうかを選 択します。

7-8-7 TC/UB

項目/ データ保存	可変範囲	備考
TC MODE	DF NDF	TCモードを選択します。 DF: ドロップフレーム NDF: ノンドロップフレーム
UB MODE	USER TIME DATE EXT TCG FRM RATE REGEN	UBモードを選択します。 USER: LCD部で設定したUB値を選 択します。 TIME: ローカル時刻を選択します。 (時、分、秒) DATE: ローカル日時を選択します。 (西暦下2桁、月、日、時) EXT: TC-INからのUBをスレーブ します。読みとれない場合は USER値を保持します。 TCG: TCGの値がそのままUBに 入ります。 FRM RATE: VAUXのUB (VITC UB) と同じ カメラの撮像情報 (フレームレート など) を選択します。 REGEN: テープに記録されている値を 読み出し、その値を継続して 記録します。
VITC UB MODE	USER/EXT TIME DATE TCG FRM RATE REGEN	VAUX TC (VITC) のUBモードを選 択します。 USER/EXT: UB MODEがEXTのときはその値 に従い、EXT以外のときはUBで 設定されたUSER値を記録します。 TIME: ローカル時刻を選択します。 (時、分、秒) DATE: ローカル日時を選択します。 (西暦下2桁、月、日、時) TCG: TCGの値がそのままUBに 入ります。 FRM RATE: VAUXのUB (VITC UB) と同じ カメラの撮像情報 (フレームレート など) を選択します。 REGEN: テープに記録されている値を 読み出し、その値を継続して 記録します。 <ノート> ただし24P、24PAで動作時は FRAME RATE固定になります。<わ しくは<OPTION>画面の24P VITC UB項目を参照ください。
TCG SET HOLD	ON OFF	電源OFFする前にTCGを設定した場 合、再度電源ONして記録した時、必 ずその設定した値から記録する機能の ON/OFFを切り換えます。
FIRST REC TC	REGEN PRESET	電源ONやカセットイン、PLAYやサ ーチ後の最初の記録で、TCをテープ上 の値にリジエネさせるかどうかを選 択します。 <ノート> 24P/24PAで動作時は、ドロップフ レームで記録されたテープの値にはリ ジエネできません。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧

項目/ データ保存	可変範囲	備考
P.OFF LCD DISPLAY	ON OFF	電源 OFF 状態で、LCD のタイムコード 設定やカウント表示を行うかどうかを 選択します。 ON: 電源 OFF 中でもタイムコードの 設定や表示をします。 OFF: 電源 OFF 中は LCD 部をパワーダ ウンする。設定や表示はできませ ん。
TC OUT	TCG TCG/TCR	タイムコード出力端子に出力されるタ イムコードを選択します。 TCG: 常にタイムコードジェネレー ター値を出力します。 TCG/TCR: E-E 時はタイムコードジェネ レーター値を出力し、V-V 時 はタイムコードリーダー値を 出力します。
TC DISP SEL	30F 24F	タイムコードのフレーム桁の表示形式 を選択します。 30F: タイムコードのフレーム桁を 30 フレームで表示します。 24F: タイムコードのフレーム桁を 24 フレームに変換して表示します。

7-8-8 UMID SET/INFO

項目/ データ保存	可変範囲	備考
COUNTRY	NO-INFO	ユーザーの属する国家を入力します。 入力されるまでは NO-INFO と表示され ます。
ORGANIZATION	NO-INFO	ユーザーの属する組織名・会社名を入 力します。入力されるまでは NO-INFO と表示されます。
USER	NO-INFO	ユーザー名を入力します。入力される までは NO-INFO と表示されます。
DEVICE NODE		製品の ID 番号を表示します。

7-8-9 VTR DIAG

項目/ データ保存	可変範囲	備考
OPERATION		電源が ON になった状態のトータル時 間を表示します。
DRUM RUNNING		ドラム回転時間のトータル値を表示し ます。
THREADING		ローディング回数のトータル値を表示 します。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
DRUM RUNNING r		リセット後のドラム回転時間のトータ ル値を表示します。
THREADING r		リセット後のローディング回数のトータ ル値を表示します。
VTR SYSCON		VTR SYSCON マイコンのソフトバー ジョンを表示します。
SERVO		SERVO マイコンのソフトバージョン を表示します。
FRONT		LCD マイコンのソフトバージョンを表 示します。
VIDEO FPGA		VIDEO FPGA のバージョンを表示しま す。
PRE PROCESS FPGA		プリプロセス FPGA のバージョンを表 示します。

7-9 OPTION MENU

7-9-1 OPTION

項目/ データ保存	可変範囲	備考
ENG SECURITY	ON OFF	メニュー画面の開閉に制限をかけるか どうかの選択をします。 ON: MENU 画面が開けなくなります。 解除するにはサービスセンターに ご相談ください。 OFF: 開閉に制限はありません。
P.HALF SHUT	ON OFF	プログレッシブ動作の時、シャッター OFF でも 1/2 シャッターを入れるかど うかの選択を行います。 ON: 1/2 シャッターを入れます。 OFF: シャッターを入れません。
ID MIX INH	ON OFF	カメラ映像に ID をミックスする機能を 禁止するかどうかを選択します。 ON: 禁止します。カメラ映像には ID はミックスされません。 OFF: 禁止しません。VF INDICATOR1 の CAMERA ID の設定内容が反映 されます。
24P VITC UB	FRM RATE MENU	カメラモードが 24P、24PA のとき、 VITU UB をフレームレート以外で使 用するかどうかを選択します。 FRM RATE: フレームレート固定 MENU: VITC UB MODE に従っ た動作を許可します。 <ノート> 24P、24PA 以外のときは、この設定 には関係なく <TC UB> 画面の VITC UB MODE 項目の設定に従います。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第8章 保証とアフターサービス

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。
※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、下記部品は、保証期間内でも使用時間による保証となります。

ビデオヘッド : 1,000 時間
消耗・摩耗部品 : 1,000 時間

■補修用性能部品

当社では、カメラレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

部品の摩耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

*摩耗部品とは、

- ビデオヘッド
- ピンチローラー
- 各種ブレイキ
- モーター
- ローラー類
- ヘッド類
- その他メカ駆動系部品

8

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

◆保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。

◆保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	カメラレコーダー
品番	AJ-SDX900
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

第9章 定 格

【総合】

電源：	DC 12V (11.0 V～17.0 V)
消費電力：	24 W

 は安全項目です。

動作温度：

0°C～+ 40°C

保存温度：

- 20°C～+ 60°C

動作湿度：

10%～85%以下 (相対湿度)

連続動作時間：

約120分 (アントンHytron50使用時)

外形寸法 (幅×高さ：ハンドル含まず×奥行き)：

129 mm × 204 mm × 313 mm

重量：

3.9 kg (本体のみ、VF取り付け部を除く)

【カメラ部】

撮像素子：

2/3型 CCD × 3

CC/ND フィルター：

CC A：CROSS

B：3200K

C：4300K

D：6300K

ND 1：CLEAR

2：1/4ND

3：1/16ND

4：1/64ND

量子化：

12ビット/18 MHz

デジタル信号処理：

36 MHz

水平駆動周波数：

18 MHz

プログラマブルゲイン：

- 3/0/3/6/9/12/15/18/21/24/27/30 dB

より3ポジションを設定可能 (L/M/H)

S.GAIN 機能：

30/36/42/48 dB から選択可能

DS.GAIN 機能：

+6/+12/+20 dB ↑ から選択可能

シャッタースピード：

1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、

1/2000

シンクロスキャンシャッター：

1/60.3～1/249.7

レンズマウント：

2/3 インチバヨネット型

色分解光学系：

プリズム方式 (F 1.4)

感度：

F13 (2000ルクス、89.9%反射)

最低被写体照度：

0.01ルクス (F1.4、48 dB+20 dB ↑ 時)

映像 S/N：

65 dB (標準)

水平解像度：

750本 (中心、標準)

垂直解像度：

400本/450本 (SUPER V モード)

レジストレーション：

0.05%以下 (全域、レンズ歪みを除く)

幾何学的歪み：

測定限界値以下 (レンズ歪みを除く)

【VTR 部】

映像系

アナログコンポーネントアウト

帯域：

Y： 30 Hz～5.75 MHz+1.0/- 3.0 dB

P_B/P_R： 30 Hz～2.75 MHz+1.0/- 3.0 dB

SN：

55 dB

音声系

サンプリング周波数：

48 KHz (ビデオに同期)

量子化：

16ビット

周波数特性：

20 Hz～20 kHz ± 1.0 dB (基準レベル)

ダイナミックレンジ：

85 dB 以上 (1 KHz、AWTD にて)

ひずみ率：

0.1%以内 (1 KHz、基準レベルにて)

ワウフラッター：

測定限界以下

ヘッドルーム：

20 dB

第9章 定 格

テープ走行系

テープスピード：
67.640 mm/s

記録時間：
33分 (AJ-5P33MP 使用時)

早送り時間：
約1分30秒 (AJ-5P33MP 使用時)

巻き戻し時間：
約1分30秒 (AJ-5P33MP 使用時)

【コネクター部】

音声入力

AUDIO IN CH1/CH2 (XLR × 2、3ピン)：
LINE/MIC/MIC + 48 V 切り換え方式
LINE: 0/+4 dBu のメニュー選択
MIC: - 60/- 50 dBu のメニュー選択
MIC + 48V: ファントム + 48V 対応
- 60/- 50 dBu のメニュー選択

MIC IN (XLR、3ピン)：
ファントム + 48V：メニュー選択で ON/OFF 可、
平衡 3 k Ω 、- 50/- 40
dBu のメニュー選択

WIRELESS IN (25ピン)：
D-SUB、- 40 dBu

音声出力

AUDIO OUT CH1/CH2 (XLR、5ピン)：
+4 dBm (0/+4 dBm のメニュー選択可)
平衡ローインピーダンス
イヤホン (ステレオミニジャック × 2)

映像入力

GEN LOCK IN (BNC)：
1.0 V_{P-P}、75 Ω

映像出力

MON OUT (BNC)：
1.0 V_{P-P}、75 Ω

VIDEO OUT (BNC)：
1.0 V_{P-P}、75 Ω

タイムコード入力

TC IN (BNC)：
0.5 V_{P-P} ~ 8 V_{P-P}、ハイインピーダンス

タイムコード出力

TC OUT (BNC)：
2.0 V_{P-P}、ローインピーダンス

その他

DC IN (XLR、4ピン、オス)：
DC 12 V (DC 11 V ~ 17 V)
DC OUT (4ピン)：
DC 12 V (DC 11 V ~ 17 V)、最大 1 A
PHONE OUT (ステレオミニジャック × 2)
LENS (マルチ 12ピン)
EVF (マルチ 20ピン)
GPS (6ピン、AJ-GPS900G 用端子)
ECU (6ピン、AJ-EC3P 用端子)

【付属品】

ショルダーベルト
FRONT AUDIO LEVEL つまみノブ
つまみノブ用ネジ × 1

松下電器産業株式会社 システム事業グループ

☎ 571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

© 2004 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.

